

文 学 部

英語学英文学科

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14101 14105	英語初級講読 A I 1 ・ A II 1	必	1	各1	前期 後期	鈴木孝夫
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 英詩入門

【講義内容】 次の3点の理解を目標として英米の様々な短詩を精読する。

- 1) 英語の言葉一つ一つが持つ個性的な輝き
- 2) イメージや音の持つ表現力の豊かさ
- 3) 英語のリズム

【講義計画】 毎回、2～3名を無作為に指名して、半頁程度の和訳を求め、質問に答えさせる。

【評価方法】 定期試験の成績を主とするが、授業中の発言内容を加味して評価する。なお、欠席回数が授業予定総時数の3分の1を超えた場合は「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 未定。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14102	英語初級講読 A I 2	必	1	1	前期	鈴木達也
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 人とことば

【講義内容】 言語学研究の入門書として定評のあるFromkin & Rodmanの*An Introduction to Language*を基にして作られたテキストを用い、言語学とは何か、人間にとって言語とは何かといった問題について考えていきます。

【講義計画】 いわゆる訳読式の授業ではなく、ディスカッションを多く取り入れた授業を目指しますので、十分な予習が必要です。

【評価方法】 期末テストの成績、出席点を基に総合的に判断します。なお、欠席時数が授業予定総時数の3分の1を超えた場合、「欠席過多（S）」による不合格とします。

【テキスト】 Fromkin & Rodman（成田一編注）『ことばのエッセンス*Language as Human Essence*』（三修社）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14106	英語初級講読 A II 2	必	1	1	後期	武田悠一
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 英米小説入門

【講義内容】 イギリス文学、アメリカ文学を代表する作家たちによって書かれた短編小説を精読します。英語で小説を読む楽しさを味わいながら、文学テキストを批評的に読む方法にも言及していく予定です。

【講義計画】 Erskine Caldwell, “The Strawberry Season”; Ernest Hemingway, “The End of Something”; James Joyce, “Eveline”; Katherine Mansfield, “An Ideal Family”などの短編を読む予定。

【評価方法】 期末試験の成績と、クラスでの発表の内容、質疑応答や意見交換への積極性などによって、総合的に評価します。

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 Mallory Fromm他編、*Collected Modern Short Stories* Vol. 2（マクミランランゲージハウス）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14111 14115	英語初級講読BⅠ1・BⅡ1	必	1	各1	前期 後期	川 村 陽 子
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 社会と言語

【講義内容】 2つの言語表現が、言語的（令題的）意味は同じであっても、社会的意味が異なる場合がある。これは、社会階級、民族、性別、年齢など話し手にかかわる社会的要因が、話し手の言語使用に反映するからである。本講読においては、これまで行われた社会言語学的研究調査に基づいて、社会的要因と言語使用の関係を見ていく。

【講義計画】 演習形式で行うため、毎週割り当てられた箇所は、前もって読んでおく必要がある。社会言語学的用語については、必要に応じて説明を行なう。

【評価方法】 授業における発表および定期試験などにより総合的に評価する。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 Suzanne Romaine. (1994). *Language in Society* Oxford University Press.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14112 14116	英語初級講読BⅠ2・BⅡ2	必	1	各1	前期 後期	荻 野 昌 利
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 英米文学の読み方入門

【講義内容】 現代イギリス・アメリカの作家の短篇小説を数篇選んで精読し、文学の読み方の基本を習得する。

【講義計画】 前期はアメリカ文学の作品
後期はイギリス文学の作品

【評価方法】 期末試験、平常点、出席などを総合的に判断し、評価する。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 未定

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14121 14125	英語中級講読Ⅰ1・Ⅱ1	必	2	各1	前期 後期	山 崎 勉
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 George Gissingの短編

【講義内容】 Gissingの“A Daughter of the Lodge”等の短編を読む。精読を旨とし、作品を様々な側面から解釈したい。

【講義計画】 毎回、数人の者に割り当てた部分を和訳して貰う。

【評価方法】 筆記試験
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 George Gissing, *A Daughter of the Lodge* (英宝社)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14122 14126	英語中級講読Ⅰ 2・Ⅱ 2	必	2	各1	前期 後期	鈴木孝夫
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 英詩の姿

【講義内容】 元来、英文学の中心的ジャンルは詩であった。本講は、次の3点を目標として英米の平易な短詩を精読する。

- 1) 英語の言葉一つ一つが持つ個性的な輝きを理解する。
- 2) イメージや音の持つ優れた表現効果を理解する。
- 3) 英語のリズムと英詩の朗読法を体得する。

【講義計画】 毎回、2～3名を無作為に指名して、半頁程度の和訳を求め、質問に答えさせる。

【評価方法】 定期試験の成績を主とするが、授業中の発言内容を加味して評価する。なお、欠席回数が授業予定総時数の3分の1を超えた場合は「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 未定

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14131 14133 14135 14137	Sophomore EnglishⅠ・Ⅱ	必	2	各2	前期 後期	L. Guishard A. G. Smith J. Lenihan
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 This course is intended to provide the students with the opportunity for continued practice in developing all their English language skills. Each class will incorporate a variety of interactive exercises designed to involve all communicative skills.

【講義内容】 The specific procedures for each class vary from teacher to teacher.

【講義計画】 Regular attendance and participation in all activities is required.

【評価方法】 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14141 14142	英米文学概論 A 1 ・ A 2	必	2	2	前期 後期	W. Purcell D. Mayer
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重複 履 修 不可

【副 題】 Background to American Literature

【講義内容】 The purpose of this course is to acquaint the students with the historic, cultural and geographic background that is necessary to better appreciate American literature. We will do this through a regional approach. The course will begin with the Native Americans and with the ethnic diversity of the United States. Subsequent classes will focus on a different region of the country, following the arrangement in the basic text, *Spotlight* on the USA. Each week a few writers representative of that region will be introduced, along with passages from their best-known works.

【講義計画】 The class will proceed generally in the following stages:
 1) Roll Call.
 2) Brief presentation by the teacher.
 3) Short video presentation about the region under consideration that day.
 4) Group discussion about the region.
 5) Student reports on states.
 6) Teacher's introduction of writers.

【評価方法】 For a passing grade students need to complete the ten typed-impressions on time, participate in discussions, and take turns being discussion leader. Completion of additional assignments will result in earning credits leading to higher grades.

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の 3 分の 1 を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 Falk, Randee. *Spotlight on the USA*. Oxford, 1993

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14145 14146	英米文学概論 B 2 ・ B 1	必	2	各2	前期 後期	J. Seland
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重複 履 修 不可

【講義内容】 The aim of this course is to come to a general understanding of the life and culture of the people of the United Kingdom in modern times. What are the people like, and what do they value? Why, though small in size, is the United Kingdom such an important country today? What is its culture like? What are some of its contributions to international society? What are some of its problems? We want to examine these questions in detail in an attempt to learn not only about the English, but also about the Welsh, Scotch, and Irish people.

In order to learn something about English literature, we also intend to spend part of the class studying some of the important writers of Britain, particularly, the novelists. We will look at the ideas and lives of some of the more famous writers: the Brontës, Charles Dickens, Thomas Hardy, E.M. Forster, and James Joyce. Often videos will be used as background material, but also to get a clear idea of their more important works.

Spotlight on Britain, by Susan Sheerin, and Others, 2nd edition, Oxford University Press, 1985.

【評価方法】 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の 3 分の 1 を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14151 14155	英語学概論 A I ・ A II	必	2	各2	前期 後期	玉 崎 孫 治
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 英語学の諸領域

【講義内容】 「英語学とはいかなる研究をする学問か」を理解してもらうために、英語を研究対象とするいろいろな領域を概観する。講義の過程で、それらの領域から英語の姿を多面的に眺めるような努力をしたい。

【講義計画】 最初に英語史を概観するが、その中で英語の常識と考えられる英国の地理的歴史的背景にも触れる。続いて、英語の例を用いながら、音声学、音韻論から文法の研究分野に入る。文法の分野では、形態論、統語論、意味論を概観し、更に語用論まで含めた機能的研究にも触れたい。

【評価方法】 小テスト、定期試験の成績等の総合評価。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 早坂・戸田 編注： *Introductory Topics of Linguistics* 英宝社

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14171 14172	英文基礎演習 A 1 a ・ A 1 b	必	2	各2	前期 後期	武 田 悠 一
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 文学批評入門

【講義内容】 Henry Jamesの中編小説 *The Turn of the Screw* をテキストとして読みながら、文学批評の基本的な方法を学びます。文学テキストを「批評的」に読むための訓練をするのが目的です。

【講義計画】 主として、精神分析批評、フェミニズム批評の方法を導入しながらテキストを読み進めて行きます。毎回数人のレポーターの発表と全員による質疑応答、意見交換を行う予定。

【評価方法】 クラスでの発表の内容、質疑応答や意見交換への積極性、期末レポートによって総合的に評価します。欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 Peter G. Beidler, ed. *The Turn of the Screw* (St. Martin's Press)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14173 14174	英文基礎演習 A 2 a ・ A 2 b	必	2	各2	前期 後期	山 崎 勉
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 文学作品の分析方法

【講義内容】 *A Handbook of Critical Approaches to Literature* の伝統的分析方法の章を中心に読む。Nathaniel Hawthorneの短編 “Young Goodman Brown”とAndrew Marvellの詩 “*To His Coy Mistress*”を分析の対象として、伝統的分析方法の諸側面について精通してもらうのがこの授業の目的である。

【講義計画】 グループ毎の発表をしてもらう。テキストの単なる翻訳ではなく、文学的諸事項についての説明を中心とした発表にってもらう予定である。

【評価方法】 各期末のレポート、及び、授業における発表を対象とする。なお、欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 プリント

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14175 14176	英文基礎演習B 1 b・B 1 a	必	2	各2	前期 後期	鈴木 達也
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 言語分析の方法

【講義内容】 3年次・4年次履修の演習に必要な言語分析の知識、方法論を身に付けることを目標とします。従って、頻繁に出す課題について、実際に自分で言語分析を行うことが重要です。積極的な授業参加を期待します。

【講義計画】

1. イントロダクション
2. 人間言語と動物の“言語”
3. 音声学と音韻論
4. 形態論
5. 統語論
6. まとめ

【評価方法】 課題、期末テストの成績、出席点を基に総合的に判断します。なお、欠席時数が授業予定総時数の3分の1を超えた場合、「欠席過多（S）」による不合格とします。

【テキスト】 早坂高則、戸田征男編 *Introductory Topics of Linguistics*（英宝社）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14177 14178	英文基礎演習B 2 b・B 2 a	必	2	各2	前期 後期	日野 水 憲
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 英語学とは何だろう。

【講義内容】 英語学の問題意識と研究方法を身につけるために、この幅広い領域から、語の構造を取り扱う「形態論」を中心に、ゼミ形式で授業を進める。数人の分担を決め、テキストを検討して、「語」とは何か、「語学研究の目的と方法」とは何かを考察し、三年次での演習の選択の指針を得ることを目指す。

【講義計画】 テキストを数人ずつで分担し、その内容の要点と問題点を発表する。クラスによる討論・議論、また、英語の実際の分析を行う。

【評価方法】 授業での発表と討論への参加、分析の成績などの総合評価。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 前期のテキスト：千葉修司編注『現代言語学入門Ⅰ』（形態論／統語論／意味論／言語習得）（松柏社）
後期のテキスト：山田宣夫編注『現代言語学入門Ⅱ』（音声学／音韻論／歴史言語学）（松柏社）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14181 14191	英語上級講読Ⅰ 1・Ⅱ 1	必	3・4	各2	前期 後期	鈴木 孝 夫
14481 14491	英語英文学講読Ⅰ 1・Ⅱ 1	選・必	4	各2	前期 後期	鈴木 孝 夫
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 英詩研究…アイロニーを探る

【講義内容】 優れた詩にはアイロニーを含むものが多い。文学用語としてのアイロニーは皮肉という意味でない。それは、現実を一つの視点から描きつつ、それと矛盾・対立するディテールをさり気なく配して無言のコメントとし、事物の全体性に我々の目を開く手法を指す。本講は、イギリス・ロマン派やホイットマンから現代まで英米詩の名作を精読して、各作品の卓抜なアイロニーを読みとろうとするもの。

【講義方法】 2人ずつのグループ発表を中心とする。指名された2名が協力して1つの作品（ほとんどは1～2ページの短詩）を研究しておき、1）原文の特色を生かした和訳をつけて、2）文体特色や構成、解釈について解説を行い、それに続いて全員で討論を行う。そのために全員に所見や疑問を記した簡単な（1頁程度の）エッセイを書かせ、討論の活性化剤とする。

【評価方法】 定期試験の成績を主とするが、指名時の発表結果と、討論における発言や質問の質を加味して評価する。

【テキスト】 Cleanth Books and Robert Penn Warren, eds., *Understanding Poetry*, 4th ed. (New York: Holt, Rinehart and Winston, 1976).

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14182 14192	英語上級講読Ⅰ 2・Ⅱ 2	必	3・4	各2	前期 後期	山 崎 勉
14482 14492	英語英文学講読Ⅰ 2・Ⅱ 2	選・必	4	各2	前期 後期	山 崎 勉
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 D.H. Lawrence 研究

【講義内容】 Lawrenceの*The White Peacock*を読む。この牧歌的要素に富む彼の最初の小説は、既に、彼のその後の主要作品で扱われることになるテーマを数多く含んでいる。故に、Lawrenceの世界を追求するための入口として受講して貰いたい。

【講義計画】 毎時間、グループによる発表をして貰う。精読を旨とする。

【評価方法】 発表の内容、そして、レポート。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 D.H. Lawrence, *The White Peacock* (Penguin)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14183 14193	英語上級講読Ⅰ 3・Ⅱ 3	必	3・4	各2	前期 後期	久 野 陽 一
14483 14493	英語英文学講読Ⅰ 3・Ⅱ 3	選・必	4	各2	前期 後期	久 野 陽 一
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重複 履 修 可

【副 題】 センティメンタル小説と感受性

【講義内容】 しばしば「理性の時代」とも呼ばれる18世紀の英国は、一方で「感受性の時代」(“an Age of Sensibility”)と捉えることもできる。この世紀後半の感受性に対するカルトはセンティメンタリズム(sentimentalism)の流行を生み出す。当時の“sentiment”は、今日「感傷」と訳されるとき想像されるのとは幾分趣を異にし、まず第一に道徳的・美的価値判断として理解された。virtue, delicacy, modesty, taste, heart, sympathy, pity, benevolence などのキーワードを持ち出すまでもなく、感受性を持っている者にだけ可能な道徳的・美的価値判断が了解事項となったとき、一つの文化的なコミュニティが形成される。この授業では、センティメンタル小説の代表作の一つ、*Laurence Sterne, A Sentimental Journey* を読むことを通じて、感受性によって形成された社会において文学作品が果たした役割と意義を考察したい。

【講義計画】 担当割り当てを決めて、*A Sentimental Journey* を講読する。本書は比較的短いものなので、読了後は、その他のセンティメンタル小説の代表作、Henry Mackenzie, *The Man of Feeling* または Oliver Goldsmith, *The Vicar of Wakefield* を講読する。

【評価方法】 進度に応じて、試験またはレポートを課す。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 Laurence Sterne. *A Sentimental Journey*. Ed. Ian Jack. (The World's Classics) Oxford: Oxford UP, 1984

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14184 14194	英語上級講読Ⅰ 4・Ⅱ 4	必	3・4	各2	前期 後期	中 村 栄 造
14484 14494	英語英文学講読Ⅰ 4・Ⅱ 4	選・必	4	各2	前期 後期	中 村 栄 造
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重複 履 修 可

【副 題】 Nathaniel Hawthorne と想像力の問題

【講義内容】 想像力とは、いかなる作家にとっても最も重要な精神力のひとつである。だが、Hawthorne の場合は、彼個人の資質、歴史的な問題、同時代的な制約などが複雑に作用し、想像力との関わり方は非常に特徴的であると言える。この授業では、Hawthorne と想像力の関係理解を中心課題とし、以下の4作品に触れることにする。まず、批評的にほとんど評価されていないスケッチの“*Monsieur du Miroir*” (1837)と、近親相姦を扱った初期の短編“*Alice Doane's Appeal*” (1835) (以上に関しては、プリントを準備する)を読み、彼が想像力に対して示す特徴的な反応を確認する。次に、そうした彼の特異性が、いかに彼の代表作(短編)の中に変奏されつつも根源的な作品構成力として機能しているのかを、“*Young Goodman Brown*” (1835)と“*Rappaccini's Daughter*” (1844)の精読を通じて理解する。

【講義計画】 英語上級講読Ⅰ 4 英語英文学講読Ⅰ 4 英語上級講読Ⅱ 4 英語英文学講読Ⅱ 4
1. イントロダクション 1. イントロダクション
2. 2. }
3. “*Monsieur du Miroir*” の精読 3. “*Young Goodman Brown*” の精読
4. 4. }
5. 5. }

6. }
 7. } “Alice Doane's Appeal” の精読
 8. }
 9. }
 10. } “Young Goodman Brown” の精読
 11. }
 12. 総括

6. }
 7. } “Rappaccini's Daughter” の精読
 8. }
 9. }
 10. }
 11. }
 12. 総括

【評価方法】 授業への出欠、授業への参加度、および定期試験
 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 『詳注ホーソン短編集Ⅰ』 小山敏三郎編注、南雲堂

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14185 14195	英語上級講読Ⅰ5・Ⅱ5	必	3・4	各2	前期 後期	日 野 水 憲
14485 14495	英語英文学講読Ⅰ5・Ⅱ5	選・必	4	各2	前期 後期	日 野 水 憲
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重複 履 修 可

【副 題】 「複合語：派生と制約」

【講義内容】 複合語の派生に関しては、「項構造」と「移動」による分析がLGB－Lexicalist Hypothesis以後定着しているように思われる。しかし、名詞複合語は必ずしもこの分析によって説明できるとは限らない。むしろ、Lexicalist Hypothesisでは説明できない問題のほうが多いのではないだろうか。果たして近年の「極小理論」、あるいは「最適理論」はこの問題に光明を照らしてくれるのであろうか。このことを検討するために、O'Grady (1998) の論文を土台として考えてみたいとおもう。

【講義方法】 形態論の基礎知識はもっていて欲しいが、必須とは言わない。ゼミ形式で、テキストの論文を担当者が精読し、問題点を全員で考え討論するようにする。用語や概念などは十分に調べることはもとより、論議の展開などに注意を払うようにする。

【評価方法】 発表と討論参加、レポートと学期末試験の総合評価。出席を重視する（四年次生も）。
 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 プリント：O'Grady (1998) “On the Syntax of Idioms,” *Linguistics*.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14186 14196	英語上級講読Ⅰ6・Ⅱ6	必	3・4	各2	前期 後期	天 野 政 千 代
14486 14496	英語英文学講読Ⅰ6・Ⅱ6	選・必	4	各2	前期 後期	天 野 政 千 代
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重複 履 修 可

【副 題】 人間言語の存在形式

【講義内容】 心理言語学に関するテキストを用いて人間の言語習得について学ぶ。もしも不幸にして子供がいかなる言語も学べないとしたら、その子の精神的発育にどのような悪影響がもたらされるかは想像に難くない。子供の言語習得にはなぜいわゆるcritical periodやcritical ageが存在するのであろうか。この授業ではそうした具体例を見ながら、20世紀の言語理論がその問題とどのように向かい合ってきたのかについて論じる。それと深い関連があるのが動物の言語習得であり、最近注目を集めているbonoboの言語習得と人間の言語習得の根本的違いがどこにあるのかも、中心的話題のひとつである。また、自然言語が子供の精神発

達に不可欠な要素であるとするらば、body languageやsign languageは果たしてそれに代わり得るものであるのか、どうかについても考える。

【講義計画】 この授業は講読であるので、基本的には順次章を追ってテキストを読んでいくことになる。大部なテキストではないので、一年間ですべてを読破することを目指す。受講生に読んでもらうこともあるし、こちらで内容を説明するにとどめることもある。どちらになるかは、その章の内容にもよるし、また進度にもよる。いずれにせよ、テキストをきちんと読んでくれることが前提となるし、内容の理解はもちろんのこと、英文の解釈も自信のない箇所は積極的に授業中に質問してほしい。量を読むことは必ずしも目標ではないが、それは重要なことではあるので、一時間で相当の量を読むことになる。極度に専門的になることは避けるが、将来本格的に言語学を学ぶ人が基本的な用語や概念を学べるようにはしたい。

【評価方法】 前期と後期にそれぞれ英文解釈と内容の理解度を見る筆記試験を行う。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 こちらで資料をすべて用意するので、テキストは不要。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14187 14197	英語上級講読Ⅰ7・Ⅱ7	必	3・4	各2	前期 後期	石 原 覚
14487 14497	英語英文学講読Ⅰ7・Ⅱ7	選・必	4	各2	前期 後期	石 原 覚
他の科目 との関連					他学科 履 修 可	重 複 履 修 可

【副 題】 古英語入門

【講義内容】 古英語 (Old English, だいたい700年ごろから1100年ごろまでの英語) の知識は、英文学科の学生にとって言えば目に見えない基礎を形成するものです。古英語を知ることによって、単語の意味や文の構造などに、さらに深い視点を持つことができます。本授業では、市河三喜の入門書の改訂版を用い、古英語の初歩的文法の学習から始めて、最終的には古英語の比較的平易な散文なら読解できるレベルまで行って行きたいと思います。

【講義計画】 前期の授業では、発音から古英語文法の基礎をひととおり学習し、後期はもっぱら古英語の原文を読むことに当てる予定です。原文のテキストとしては、福音書の古英語訳の抜粋など標準的な散文が選ばれています。授業は演習形式で行い、毎回受講者全員に授業に参加してもらう形を取りたいと思います。古英語の学習は、新しく外国語を始めるのと同じであり、毎時間の予習にテキストの巻末にあるグロスリー (語彙集) を引くなどして、相当な時間および忍耐力が必要とされるので、その覚悟がない人の受講はご遠慮ください。

【評価方法】 毎回の授業における平常点 (すなわち出席状況、予習の有無など) および学期末試験ないしはレポートの成績から、総合的に判定します。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 市河三喜・松浪有『古英語・中英語初歩』研究社出版、1986年。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14251 14261	英文演習Ⅰ1・Ⅱ1	必	3	各2	前期 後期	荻 野 昌 利
他の科目 との関連					他学科 履 修 不可	重 複 履 修 不可

14271 「英文演習Ⅲ1」、14281 「英文演習Ⅳ1」を参照。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14252 14262	英文演習Ⅰ 2・Ⅱ 2	必	3	各2	前期 後期	D. Mayer
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 NEIGHBORHOOD NOVEL/*The Assistant*

【講義内容】 America is a country of many peoples whose stories appear in the neighborhood novel, a work about a particular ethnic group (e.g., Irish, Jewish, Japanese) and their customs.

【講義計画】 In the first semester the seminar will cover the theory of the neighborhood novel, and treat Irish, Italian, Japanese, and African American neighborhoods and their writers in Chicago, New York, Oakland, Seattle, and Pittsburgh.

In the second semester, *The Assistant* by Bernard Malamud will be the subject of study. In this story of a Jewish grocer and his Italian assistant one can find the strains and growth which the confrontation of different traditions brings. The problem of whether the grocery can survive or not is related to a love story that crosses long-established traditions.

【評価方法】 The theory of the neighborhood novel will be treated in lecture form and through true-and-false tests. The grade in the second semester will be based on student reports in Class (50%), questions and comments in class (25%), and written examination (25%).

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 *Door Stops and Windowsills: Perspectives on the American Neighborhood Novel*.
Yamaguchi Publishing House, 1992.
Malamud, Bernard. *The Assistant*

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14253 14263	英文演習Ⅰ 3・Ⅱ 3	必	3	各2	前期 後期	鈴木孝夫
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 シェイクスピア劇入門

【講義内容】 『ヴェニスの商人』は比較的初期の作品で、ロマンスあり、おとぎ話の要素ありの喜劇であるが、その一方、人種・信条の対立が悲劇の可能性をはらんでおり、シェイクスピアの対位法的劇作法を知るには絶好の作品である。本ゼミは、この作品を精読し、1) 言葉（特に比喩表現）の暗示効果、2) 登場人物について本人や周囲の人物が述べる言葉と我々が受ける印象とのギャップ、3) 舞台空間の持つ効果（感覚的インパクトや象徴的意味）について徹底した分析を行い、シェイクスピアの「複眼の思想」に迫ろうとするもの。

【講義計画】 授業は一場面（scene）程度の分量を一区切りとして3～4名がグループ発表の形で作品分析を行うが、あらかじめ受講者全員に所見や疑問を記した簡単な（1頁程度の）レポートを提出させ、討論に用いる。全文の訳読は行わないが、構文・語法上もしくは内容上問題のある箇所には適宜訳をほどこし、徹底的に検討する。後期末には、締めくくりとして作品についての10頁程度の英文評論を要約するレポートを提出させる。

【評価方法】 毎回（場面毎）のレポートと期末レポート（後期のみ）を中心とするが、グループ発表と討論における発言内容と積極性を加味して評価する。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 Jay L. Halio, ed., *The Merchant of Venice*, New Oxford Shakespeare (1993) と喜志哲雄編、*The Merchant of Venice*（大修館シェイクスピア双書、1996）を併用。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14254 14264	英文演習Ⅰ 4・Ⅱ 4	必	3	各2	前期 後期	武 田 悠 一
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 アフリカ系アメリカ女性作家

【講義内容】 現代アメリカの黒人女性作家Alice Walkerの*The Color Purple* (1982)とToni Morrisonの*Sula* (1973)をテキストとして、人種とジェンダーの問題について考えます。黒人の女性たちにとって、人種と性による二重の抑圧は、言語表現とどのように関わるのか。また、わたしたちは彼女たちのテキストをどのように読めばいいのか。つまり、人種やジェンダーを、「書くこと」と「読むこと」との関わりにおいて考えることがこの演習の目的です。

【講義計画】 演習Ⅰ（前期）ではAlice Walkerの*The Color Purple*を、演習Ⅱ（後期）ではToni Morrisonの*Sula*を中心に読みながら、批評的な問題、とりわけフェミニズム文学批評とアフロ・アメリカ文学批評についても学ぶ予定です。毎回数人のレポーターの発表と、全員による質疑応答、意見交換を行います。

【評価方法】 クラスでの発表の内容、質疑応答や意見交換への積極性、期末レポートによって総合的に評価します。欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 Alice Walker, *The Color Purple* (Pocket Books)
Toni Morrison, *Sula* (Plume)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14255 14265	英文演習Ⅰ 5・Ⅱ 5	必	3	各2	前期 後期	玉 崎 孫 治
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 機能言語学入門

【講義内容】 機能言語学（正確に機能体系的言語学）の目標、方法を理解し、言語形式そのものの研究というより、言語活動における言語の意味（機能）の研究手法を学ぶ。これを平易なことばに言い換えてみると、人間は何のためにいつ、どこで、どんな風に“ことば”をつかうのか、という問題に、体系的な答えを与えようとする言語研究である。ここでは、節や文の研究も当然機能的な視点で眺め、言語と文化や社会の関係にまで研究のメスを入れようとする。われわれは社会的活動の中で、ことばをコミュニケーションの手段として使っているが、その言語の使用面には機能的な構造が見られる。このクラスで扱う言語研究はそのような機能的構造を研究するイギリス生まれの学問である。

【講義計画】 クラスを3人ぐらいのグループに分け、テキストをグループ毎に分担して発表させる。各グループの発表の後、グループ間の発表内容の連携を確実にするため、他のグループのゼミ生には、（発表グループの）発表内容のまとめと評価をさせる。

【評価方法】 クラスでの発表、小論文の総合判断
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 Eggins: *An Introduction to Systemic Functional Linguistics* (Pinter, 1994)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14256 14266	英文演習Ⅰ 6・Ⅱ 6	必	3	各2	前期 後期	日 野 水 憲
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 Words and How to Do Things with Them

【講義内容】 文を構成する基本単位は「語」であるが、その「語」にも内部構造があるとは余り考えることはないだろう。しかし、“went”は“go”と“Past”という二つの要素から成っているとすれば、これは立派に複雑な内部構造をもっていると言えよう。このゼミでは、このような英語の「語」の内部構造がいかなるものなのかを考察することを目標とするものである。とくに「派生」、つまり「語」の構成法を焦点にして、「形態論」の基本概念と研究方法を身につけるようにしたい。

【講義方法】 テキストを担当者が要約し、問題点を明らかにすることで、全体のディスカッションへと発展させる。最後に、そのまとめとして、講義するという形式で行う。

【評価方法】 発表と討論、学期末試験、レポートによる総合評価。ゼミ討論への参加がとくに重視される。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 未定。（具体的問題を取り扱った論文から全体像を把握できるようにしたいと考えている。）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14257 14267	英文演習Ⅰ 7・Ⅱ 7	必	3	各2	前期 後期	鈴 木 達 也
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 生成文法による言語分析

【講義内容】 〔前期〕
基礎演習で得た言語学の基礎的な知識を基に、生成文法の基本的な言語分析の方法を学んでいきます。まず理論を理解することが大切ですが、知識の蓄積のみを目標とするのではなく、自らの視点で様々な現象について自分で考える習慣を身に付けてもらうことを主眼とします。

〔後期〕
前期に引き続いて生成文法の基礎的な分析方法を学びますが、徐々に最新理論による分析についても研究していきます。同じ現象を分析するのに視点が異なれば分析結果も大きく異なってくるということを理解してもらいます。

【講義計画】 数人のグループに分かれ、それぞれに割り当てられた項目について発表し、全員でディスカッションを行います。特に練習問題の解答には十分時間をかけて全員が納得の行くまで議論を行います。有意義なディスカッションのためにも、テキストに書かれていることだけでなく、各自積極的に参考文献にも目を通すことが大切です。

【評価方法】 発表、ディスカッションへの参加、レポート等の成績を基に総合的に判断します。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 Peter W. Culicover (1997) *Principles and Parameters: An Introduction to Syntactic Theory* (Oxford University Press)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14271 14281	英文演習Ⅲ 1・Ⅳ 1	必	4	各2	前期 後期	荻野昌利
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 「*Huckleberry Finn* を読む」

【講義内容】 「現代アメリカ文学は、Mark Twain の *Huckleberry Finn* という本に発する」というHemingway の言葉にある通り、アメリカ独自の文学を理解するためには、この作品を通過しなくてはならない。この小説を熟読して、小説の面白さを知ると同時に、真のアメリカとは何ぞやという問題についても考察する機会を提供することが今回の目的である。

【講義計画】 三年次の演習Ⅰ・Ⅱの手法を踏襲し、輪番で各章の分担を割当て、発表形式で行う。三年次生は四年次生の発表を参考とし、その指導を受けつつ、徐々に発表に参加する。一年間で全体を通読することを目標とする。発表の前後に教師と学生との活発な討論がなされることを期待している。

【評価方法】 ゼミにおける発表と討論への参加度を加味しつつ、期末のレポートを最終的判断の基準とする。欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 Mark Twain, *Huckleberry Finn* (Norton Critical Edition)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14272 14282	英文演習Ⅲ 2・Ⅳ 2	必	4	各2	前期 後期	D. Mayer
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 ASIAN AMERICAN WRITERS: TAN AND KINGSTON

【講義内容】 The Senior Seminar follows the 1998-1999 Seminar study of Japanese American writers. In this course the focus will be on two Chinese American writers, Amy Tan and Maxine Hong Kingston.

In the first semester each of the members will be either one of the four daughters born in America or one of the four mothers, who were also daughters to their mothers in China in *The Joy Luck Club*. This novel shows mother-daughter relationships within the tensions of Chinese vs. American customs. It consists of sixteen stories; each mother and each daughter gets to tell her story twice. The student representing one of the daughters, for instance, not only explains the daughter's two stories, but also comments on her mother's two stories and whenever she is mentioned in any of the other characters' stories.

In the second semester, reporters will specialize on one of the five sections in *The Woman Warrior*. This novel sparked the current interest in Asian American literature. It is also a significant work for the study of the main theme in this year's course: the place of Chinese American women in their ethnic group and in America.

【評価方法】 Grades will be based on the class reports (50%), questions and comments in class (25%), and examination (20%).

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 Kingston, Maxine Hong. *The Woman Warrior*.
Tan, Amy. *The Joy Luck Club*.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14273 14283	英文演習Ⅲ 3・Ⅳ 3	必	4	各2	前期 後期	J. Seland
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 Seminar Ⅲ and Ⅳ: Love in the Novels of Graham Greene

【講義内容】 We would like to read four of Greene's novels (two in the first semester, two in the second). Our aim is to understand his ideas about love. The novels (all of them Penguin paperbacks) are:

- 1) *The End of the Affair* (1951). An affair between a man and a woman leads to unexpected results.
- 2) *The Quiet American* (1955). This is a novel about America's involvement in the war in Vietnam, and an English correspondent who reported the war.
- 3) *The Honorary Consul* (1973). The story describes a kidnapping that causes a lot of trouble for the kidnappers and for a doctor who tries to help them.
- 4) *The Human Factor* (1978). In this novel we read about an English spy who sends information to the enemy, and how this leads to other difficulties.

【評価方法】 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14274 14284	英文演習Ⅲ 4・Ⅳ 4	必	4	各2	前期 後期	山 崎 勉
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 *Sketches by Boz* 研究

【講義内容】 演習Ⅰ・Ⅱと同様に*Sketches by Boz*を読む。短編を中心にして、Dickensの物書きとしての成長の跡を辿ってみたい。これらの短編を読むことは、彼の長編小説の胚芽となる素材を読むことに等しく、その意味で重要である。

Dickensの人間観、社会観に焦点を当て、何故、彼の文学が世の人々に受け入れられたのかということを考えてみたい。

【講義計画】 グループによる発表をして貰う。

【評価方法】 発表の内容、そして、レポート。

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 前年のテキストを継続して使用。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14275 14285	英文演習Ⅲ 5・Ⅳ 5	必	4	各2	前期 後期	玉 崎 孫 治
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 テキストの機能的分析：テキストは何を語る？

【講義内容】 選択体系的機能言語学の分析最終目標は、テキスト分析であると言っても過言ではない。コミュニケーションのための言語行為は、音声形式ないし文字形成の形を取ったテキストとなって表れるが、それには伝達行為に携わる人間のいろいろの側面（社会的、文化的なコンテキストの要因）を内包している。

このような言語の使用面の分析に適した選択体系的機能言語学の方法論を一通り理解した上で、実際にテキストの分析を試み、分析上の問題点を考察する。

【講義計画】 演習Ⅰで読んできたテキストの残りを終え、その後この言語学派の研究論文を数編講読する。実際にテキスト分析をしながら問題点を検討してもらう。3人程度のグループによる共同研究の形をとり、クラスでの発表をしてもらう。

【評価方法】 クラスでの発表とレポートの総合判断
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 Thompson, Geoff, *Introducing Functional Grammar* (Arnold, 1966) ほかプリント。
参考書として、Halliday: *An Introduction to Functional Grammar*. 2nd Ed. (Edward Arnold, 1994)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14276 14286	英文演習Ⅲ 6・Ⅳ 6	必	4	各2	前期 後期	日 野 水 憲
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 「形態論：複合語の派生と意味」

【講義内容】 昨年度に引き続き、形態論の諸問題を、テキストに沿って検討する。とくに、複合語の派生と解釈を焦点に研究を深めたい。最近の論文をいくつか取り上げ、研究の動向を探りたい。

【講義計画】 個人の発表を中心に行う。後期は、独自研究の発表に時間を割くつもりである。

【評価方法】 クラス発表と討論参加。研究発表とレポートを重視する。

【テキスト】 昨年度を同じ、Katamba (1993): *Morphology*. プリントなど。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14277 14287	英文演習Ⅲ 7・Ⅳ 7	必	4	各2	前期 後期	鈴 木 達 也
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 建設的批判

【講義内容】 [前期] [後期]
3年次演習で学んだ知識を基に、雑誌論文等を用いて各自興味を持った事項について具体的な分析を発表してもらい、全員でディスカッションをします。論文で提案されている分析を理解すると同時に、それらに対して批判的な目を持って問題点を明らかにし、可能な代案を提案するという作業を繰り返していきます。

【講義計画】 それぞれが選ぶトピックに関する適当な論文を材料に、発表、ディスカッションを繰り返します。

【評価方法】 発表、ディスカッションへの参加、レポート等の成績を基に総合的に判断します。

【テキスト】 有村兼彬他『英語学へのファーストステップ—英語構文論入門—』（英宝社）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14401 14405	英語音声学AⅠ・AⅡ	選・必	3・4	各2	前期 後期	日 野 水 憲
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

【副 題】 Why We Speak as We Do

【講義内容】 Phonetics is the study of the sounds of human language and how they are used. We will start with the basic concepts and terminology of phonetic study and apply this knowledge to the analysis of English. The first semester will focus on segmental phonetics, that is, consonants and vowels, and syllables. During the fall semester, suprasegmental phenomena such as stress, intonation, rhythm will be discussed. There will be some discussion on the teaching of pronunciation in the classroom.

【講義方法】 Lecture, with quizzes.

【評価方法】 One 90-minute final examination per semester; quizzes and class participation. One tape recording of text per semester to test understanding of class material.

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 Undecided as of Oct. 31, 1998.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14415 14421	英文法論AⅠ・AⅡ	選・必	3・4	各2	前期 後期	鈴 木 達 也
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

【副 題】 生成文法：規則の集合としての文法から原理・変数アプローチへ

【講義内容】 [前期]
言語の科学的研究を目指す生成文法では、文法=人間の持つ言語能力と考え、文法は規則の集合であると仮定した。本講義では、この仮定のもとで提案された言語分析について振り返り、言語の規則としてどのようなものが考えられるのか、また、このアプローチの問題点などについて講義することとする。

[後期]

生成文法における文法とは、人間の持つ言語能力のことを意味するので、文法研究と言語習得は密接な関係をもっている。本講義では、人間の子供が比較的短期間のうちに非常に限られた言語資料に基づきながらもちゃんとした言語を習得するという事実を説明するために提案された「原理・変数アプローチ」について解説を加えるものとする。

【講義計画】 [前期]
1. イントロダクション：生成文法の基礎
2. 初期（1950年代～60年代中期）
3. 発展期（1960年代後期）
4. 転換期
5. まとめ
[後期]
1. イントロダクションⅠ：規則の集合としての文法
2. イントロダクションⅡ：原理・変数アプローチの概念
3. 1970年代後期
4. 1980年代：統率束縛理論
5. 新理論：ミニマリスト
6. まとめ

【評価方法】 出席点、期末テストの結果を基に総合的に判断する。なお、欠席時数が授業予定総時数の3分の1を超えた場合、「欠席過多(S)」による不合格とする。

- 【テキスト】 なし
参考書として、荒木・小野『英語の輪郭』（英潮社）を推薦。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14431 14435	イギリス文学史AⅠ・AⅡ	選・必	3・4	各2	前期 後期	荻野昌利
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

- 【講義内容】 アングロ・サクソン期から20世紀に至るイギリス文学の歴史を通観する。前期は*Beowulf*に始まって、17世紀まで、後期は18世紀から20世紀初頭まで。主要な作家を重点的に取り上げ、特に作家の生きた時代背景に重点を置いて、個々の作家作品を講ずる予定。

- 【講義計画】 下記の作家作品を主軸にして、講師の主観を随所に挿入し、前・後期同一の形式で継続する。
前期：*Beowulf*, Chaucer, Shakespeare, *The Authorized Version*, Milton, Bunyan, etc.
後期：Dryden, Pope, Swift, Johnson, Richardson, Fielding, Wordsworth and the Romantics, Dickens and the Victorian Novelists, Tennyson and the Victorian Poets, the fin-de-siècle writers, etc.

- 【評価方法】 学期末の筆記試験（持込不可）を唯一絶対の判断基準とする。出席はとらない。

- 【テキスト】 川崎寿彦著『イギリス文学史』成美堂

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14445 14451	アメリカ文学史AⅠ・AⅡ	選・必	3・4	各2	前期 後期	武田悠一
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

- 【講義内容】 植民地時代から現代に至るまでのアメリカ文学の歴史を概観します。もちろん、時間的な制約があるので、網羅的に論じることはできません。重要と思われる作品、作家、流派、あるいは文学運動を重点的に取り上げることになります。その過程で、「アメリカ」、「文学」、「歴史」という概念それ自体が問題になるでしょう。これらの概念は、固定的なものではなく、つねに読み替え可能です。たとえば現在も、人種、ジェンダー、セクシュアリティという観点から、どういう作家・作品が「アメリカ文学」の正典とみなされ、またどういう作家・作品がそこから排除されてきたのかを検討する作業が進行中です。「アメリカ文学史」を、すんでしまった過去として語るのではなく、現在も再構成されつつある言説の場として捉えること、それがこの講義の中心的課題です。

- 【講義計画】 講義はテキストに沿って進めますが、テキストで論じられている作品（あるいは論じられていない作品）の一部を原文（プリントして配布）で読みながら、前期は19世紀半ばまで、後期は19世紀後半から現代に至るまでについて講義する予定です。

- 【評価方法】 学期末試験の成績によって評価します。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

- 【テキスト】 別府恵子・渡部和子編著『アメリカ文学史』（ミネルヴァ書房）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14461	英語表現法Ⅰ 1	選	3・4	1	前期	W. Purcell
14501	上級英語表現法Ⅰ 1	選・必	4	1	前期	W. Purcell
他の科目との関連					他学科履修 不可	重複履修 可

【副 題】 Viewing the News

【講義内容】 Do you watch the regularly? Have you ever tried doing it in English? In this clurse we will be watching reports from American television news programs, as well as discussing, researching, and writing about the topics and issues raised in each report.

【講義計画】 The purpose of the course is to provide the students extensive practice in all language skills. Class time will include intensive and extensive listening practice, small concerning those topics

【評価方法】 Regular attendance and participation in all activities is required. All written assignments must be typed and submitted on time.

欠席時数が授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 Tomalin, Barry. *InnovationWatch* Englewood Cliffs: Prentice Hall Regents.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14471	英語表現法Ⅱ 1	選	3・4	1	後期	D. Mayer
14511	上級英語表現法Ⅱ 1	選・必	4	1	後期	D. Mayer
他の科目との関連					他学科履修 不可	重複履修 可

【講義内容】 This course will consist of discussion and writing. The theme will be “parent-child relationships.” As a basis for study, the first month will be spent on discussing the problems and solutions presented in a book on parenting. In the following weeks, Internet will be used to look for related items. Daedalus will be used for brainstorming the topic, preparing a bibliography, and evaluating other students' papers.

After the basic study, the first half of the class-period will be for discussion and/or Internet use. The second half of the class-period will be for working on one's research paper.

The first printout of the research papers should be finished by the second class in December. Three classes will be for evaluating other students' papers. Then each can revise the paper and print out the final copy.

【評価方法】 Grades will be based on class discussion (30%), written tasks completed in class (20%), first printout and final version of the research paper (40%), and oral examination (10%).

For Juniors and thesis-writing Seniors, the research paper is at least five pages long. For non-thesis Seniors, the research paper is at least ten pages long. (Typing skills and the ability to use some word-processing program such as WORD or WORD PERFECT are pre-requisites for this course. We will be spending a lot of class time in the computer room.)

欠席時数が授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 Texts: The discussion text will be distributed for use during the course. It is to be returned at the time of the Oral Examination.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14462 14472	英語表現法Ⅰ 2・Ⅱ 2	選	3・4	各1	前期 後期	日野 水 憲
14502 14512	上級英語表現法Ⅰ 2・Ⅱ 2	選・必	4	各1	前期 後期	日野 水 憲
他の科目 との関連					他学科 履 修 不可	重 複 履 修 可

【副 題】 The World Around Us: What, Why and How

【講義内容】 We will select various articles from *Time*, *The Economist*, *New Yorker* among others, and consider the topics discussed. Attention will be given to the style of the prose as well as the content itself and try to see how style (form) and content are related. After each class, you are to write a short essay related to the topic. During the course of the semester, you are to select a topic and do independent research on that topic; this will lead to the final Research Paper, of at least ten (10) pages for non-thesis students and at least five (5) pages for thesis students.

【講義方法】 Class discussion and presentation of research paper.

【評価方法】 Class participation and Research paper. It will be presumed that you have a good grasp of Word processing and research paper writing, together with a good active vocabulary for class discussion. If you do not have a good Desk Dictionary, then get one.

【テキスト】 *MLA Handbook for Writers of Research Papers*, Fourth Edition. Weekly articles from *Time*, *The Economist*, *New Yorker*, among others.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14463 14473	英語表現法Ⅰ 3・Ⅱ 3	選	3・4	各1	前期 後期	D. Ramsey
14503 14513	上級英語表現法Ⅰ 3・Ⅱ 3	選・必	4	各1	前期 後期	D. Ramsey
他の科目 との関連					他学科 履 修 不可	重 複 履 修 可

【講義内容】 This advanced-level course will focus primarily on listening and speaking to develop students' confidence in English conversation. Students will work with partners and in class. Lectures will provide the opportunity to sharpen note-taking skills, and reading and writing assignments will help develop fluency and vocabulary.

【講義計画】 While this is primarily a conversation course, all four language skills (listening, speaking, reading and writing) will be integrated throughout the year. In the second semester, more attention will be paid to compositional skills, and students will learn how to write a thesis-driven, academic essay.

【評価方法】 Regular attendance and class participation, quizzes, written reports, and final. The department requires that all seniors must submit a ten-page English composition. This will also be included in the evaluation.

欠席時数が授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(s)」による不合格とする。

【テキスト】 To be announced.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14464 14474	英語表現法Ⅰ 4・Ⅱ 4	選	3・4	各1	前期 後期	D. Ramsey
14504 14514	上級英語表現法Ⅰ 4・Ⅱ 4	選・必	4	各1	前期 後期	D. Ramsey
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可 重 複 履 修 可

【講義内容】 This advanced-level course will focus primarily on listening and speaking to develop students' confidence in English conversation. Students will work with partners and in small groups on topics of discussion and present their ideas to class. Lectures will provide the opportunity to sharpen note-taking skills, and reading and writing assignments will help develop fluency and vocabulary.

【講義計画】 While this is primarily a conversation course, all four-language skills (listening, speaking, reading and writing) will be integrated throughout the year. In the second semester, more attention will be paid to compositional skills, and students will learn how to write a thesis-driven, academic essay.

【評価方法】 Regular attendance and class participation, quizzes, written reports, and final. The department requires that all seniors must submit a ten-page English composition. This will be included in the evaluation.
欠席時数が授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 To be announced.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14465 14475	英語表現法Ⅰ 5・Ⅱ 5	選	3・4	各1	前期 後期	C. A. Volker
14505 14515	上級英語表現法Ⅰ 5・Ⅱ 5	選・必	4	各1	前期 後期	C. A. Volker
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可 重 複 履 修 可

【講義内容】 「授業科目の目標」
Course objectives:
In this class students will learn
1. to present an academic article in English using a correct format and clearly understood formal written English
2. to have a basic knowledge of the use of an English word processing program,
3. to be able to research, evaluate, and synthesize and internet texts, and
4. to avoid plagiarism.

【講義計画】 「授業の内容と進め方」
Class content:
The class will concentrate on the writing of an argumentative research paper. Writing such a paper consists of three stages : pre-writing research compiling and writing the paper, and post-writing editing. Each will be emphasized equally. For students registering for the class as English Communication students, this will be a five to ten page essay. For students registering as Advanced English Communication students, this will be a fifteen to twenty-five page essay.
In the beginning of the first semester, students will learn basic word processing and internet navigation skills. At the same time, the class will examine procedures for evaluating information obtained, and for narrowing the scope of research to an appropriate degree. Students will learn how to defend a thesis and use counterargumentation. By the end of the first semester they will have produced a detailed outline of the paper they propose to write.
In the second semester students will write the paper they have planned, using correct forms of formal written academic English. At the end of the semester students will use peer-editing techniques to improve their writing. All discussion in the class will be in English.

「履修上の注意事項」

Course requirements:

This will be a workshop, rather than lecture, class. Students must attend regularly and participate actively. Work during the summer will be assigned. Regular university regulations regarding attendance will be observed. Plagiarism will not be tolerated.

【評価方法】 「学修成果の評価方法」**Evaluation:**

Assessment will be based on completion of pre-writing tasks, class work, a class project (semester one), the final version of a research paper (semester two), and an examination.

欠席時数が授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 Texts:

Writing Research Papers by Taylor & Kluge (Required; available from Asano Bookshop)

Dummies 101: Word 97 for Windows for Dummies (Optional, available commercially)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14466 14476	英語表現法Ⅰ 6・Ⅱ 6	選	3・4	各1	前期 後期	J. Nosaka
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【講義内容】 COURSE DESCRIPTION: *Cross-Cultural Issues* is a course designed to help students enhance essential English skills needed for successful participation in oral academic discussions and writing at the university level. Students will use the library and internet to locate appropriate materials in order to express and support their oral and written opinions regarding cross-cultural issues. A variety of group activities including formalized competitive debate sessions will be supplemented by a 3-5 page typewritten research paper based on a cross-cultural issue chosen by each student.

COURSE OBJECTIVES: By the end of the course, student should be able to do the following:

- 1) use appropriate sources to support points of view in class discussions, debates and within the research paper.
- 2) sufficiently search the internet for additional sources.
- 3) create an effective thesis statement.
- 4) paraphrase information for use within the context of a brief research paper.
- 5) paraphrase information for use within the context of a formal debate.
- 6) write a proper bibliography or works cited page.
- 7) cite sources appropriately.
- 8) take whatever additional steps deemed necessary to write an effective 3-5page typewritten research paper.
- 9) orally present points of view concerning controversial issues in a clear and persuasive manner.
- 10) develop an increased awareness and sensitivity regarding cross-cultural issues.

CALEDAR (Tentative) :

Orientation to the library and the Internet
Topic Selection
Expectations of the course
Research questions
Debate #1 assignments
Thesis statement introduction
Library work
Debate #1
Thesis statement finalization

Bibliography cards
Quotations
Outlining: circle and roman numeral
Topic sentences
Paraphrasing
Debate #2
Bibliography
First draft due (ungraded)
Evaluations of first draft
Debate #3
Course Review/ Final Paper Preparation/ discussion
Final Paper Due
Summary

RESEARCH PAPER: Students are required to write a satisfactory research paper in order to pass this course. The instructor will guide the student through each step of the process of writing the paper. It is impossible to pass the course without completion of the term paper. The research paper is worth 25% of the course grade.

ATTENDANCE POLICY: Every two absences will equal a drop of one letter grade from the final grade. Two tardies will equal one absence. An excused absence must be justified with a written note of some kind by an official

person (e.g. a doctor's note signed by the doctor). However, students will be held responsible for any notes, homework, and any other classroom preparation assigned during the class(es) that you missed regardless of whether or not the absence was excused. Late work will receive a lower grade than work turned in on time. Regarding group work, each student will be held accountable for the success of their group in and out of class, therefore, students who are absent from group work days and presentation days will receive a "0" (two "F"s) for that project.

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の 3 分の 1 を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

OVERALL BREAKDOWN:

50% Homework, discussion preparation, in-class participation

25% Debates

25% Final Paper

*These percentiles are approximation and are subject to change throughout the course of the semester by the instructor.

【テキスト】 プリント

科目コード	科 日 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14467 14477	英語表現法 I 7・II 7	選	3・4	各1	前期 後期	J. Nosaka
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【講義計画】 COURSE DESCRIPTION: *Culture and Communication* is a course designed to promote discussion and awareness of cultural differences within and between countries and the various forms of communication that occurs. Students will seek out and evaluate differences in culture and communication styles within and outside of their own country through data collection and observations in order to test an array of hypotheses (including their own) regarding cross-cultural communication. The library and the internet will be used to locate appropriate materials in order to express and support their oral and written opinions. A variety of group activities and exercises will be supplemented by a 3-5 page typewritten paper based on their own data collection.

COURSE OBJECTIVES: By the end of the course, students should be able to do the following:

- 1) use appropriate sources to support points of view in class discussions.
- 2) sufficiently search the library and internet for information.
- 3) create an effective hypothesis.
- 4) paraphrase information from outside sources to support various hypotheses and viewpoints
- 5) write a proper bibliography or works cited page.
- 6) cite sources appropriately.
- 7) take whatever additional steps deemed necessary to write an effective 3-5 page final paper.
- 8) orally present points of view concerning controversial issues in a clear and persuasive manner.
- 9) develop an increased awareness and sensitivity regarding cross-cultural issues.

CALENDAR (Tentative):

Introductions
 Definitions of Culture
 Types of Communication
 Communication styles activity / discussion
 Expectations of the course
 Hypotheses formulation and Data Collection methods /discussion
 Group Project #1 assignments
 Baton Rouge activity / discussion
 Group Project #1 Presentations
 Tampopo video clip / Cross-cultural place setting activity / discussion
 Stereotypes and Discrimination activity / discussion
 Group Project #2 Presentations
 Hard eyes/soft eyes activity / discussion
 Language/culture activity / discussion
 Cross-cultural communication activity / discussion
 Group Project #3 Presentations
 Final Paper Due
 Summary / discussion

COURSE PAPERS: Students are required to write a short paper describing individual efforts and thoughts for *each group project*. It is impossible to pass the course without completion of all the papers and projects. Note that the final paper is worth 20% of the course grade.

ATTENDANCE POLICY: Every two absences will equal a drop of one letter grade from the final grade. Two tardies will equal one absence. An excused absence must be justified with a written note of some kind by an official person (e.g. a doctor's note signed by the doctor). However, students will be held responsible for any notes, homework, and any other classroom preparation assigned during the class (es) that you missed regardless of whether or not the absence was excused. Late work will receive a lower grade than work turned in on time. Regarding group work, each student will be held accountable for the success of their group in and out of class, therefore, students who are absent from group work days and presentation days will receive a "0" (two "F"s) for that project.

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の 3 分の 1 を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

OVERALL BREAKDOWN*:

40% Homework, group project preparation, in-class participation

40% Group Presentations

20% Final Paper

*These percentiles are approximations and are subject to change throughout the course of the semester by the instructor.

【テキスト】 プリント

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14521	英語英文学研究法 I 1	選・必	4	1	前期	W. Purcell
他の科目との関連				他学科履修	不可	重複履修 不可

【講義内容】 The purpose of this course is to introduce the student to the research methodology for preparing a thesis on a topic in literary studies. Topics to be covered will include:

- 【講義計画】
- 1) Using the university on-line catalogue (GEMMA) to find resources in our library.
 - 2) Using printed and electronic bibliographic resources (e.g., *MLA Bibliography*, *Reader's Guide to Periodical Literature*).
 - 3) Using the Internet as a search tool.
 - 4) Constructing a working bibliography.
 - 5) Note-taking.
 - 6) Making citations and compiling a list of Works Cited.
 - 7) Constructing a thesis and developing/supporting a point.

【評価方法】 Class time will be divided between hands-on introduction to the methods of carrying out a research project, and small-group work towards actually completing a small research project.

For the small-group work, in groups of approximately four, students will be assigned a rather well-known short story to be read and discussed together. Through the course of the semester each member of the group will work towards preparing a brief (approximately 5 page) research paper on some issue or topic pertaining to that story.

Grades will be determined by attendance and participation, completion of assignments, and completion of the final short paper.

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の 3 分の 1 を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 MLA Handbook. (Most recent edition)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14522 14535	英語英文学研究法Ⅰ 2・Ⅱ 5	選・必	4	各1	前期 後期	玉 崎 孫 治
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重 複 履 修 不可

【副 題】 英語学研究方法と論文作成法

【講義内容】 英語学研究のポイント、方法、研究成果の発表の仕方を年間を通じて段階的に指導する。

【講義計画】 前期は、学生個人の卒業論文テーマにこだわらず、主にすべての学生に共通する研究態度や手順、英語論文作成のポイントを講義と実習で習熟させ、後期は学生個人の卒業論文テーマに合わせて、各自の参考文献の検討を含めた具体的な研究方法の指導を行う。

【評価方法】 小テスト、実習結果の提出、参考論文の理解度等を総合判断して評価する。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 プリント、および市販のテキスト（未定）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14531	英語英文学研究法Ⅱ 1	選・必	4	1	後期	荻 野 昌 利
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重 複 履 修 不可

【講義内容】 英米の小説をテーマに卒論を書くことを希望する者に、論文執筆に必要な諸知識（NotesやBibliographyの作成と、形式上の基礎知識）を具体的に指導する。原稿の点検と添削も必要に応じて行なう。中間報告を義務づける。それ以外に個人的面接指導を随時行なう。

【評価方法】 卒論の評価と比較照合して判断する。

【テキスト】 プリント類。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14532	英語英文学研究法Ⅱ 2	選・必	4	1	後期	D. Mayer
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重 複 履 修 不可

【講義内容】 This course will concentrate on organizing chapters and development of the research topic. Students will report on their work and compare it with work done in previous years. They will also perfect their bibliographical entries, in-text source documentation, and, if necessary, content end notes. Computers will be used for more advanced word processing programs, searching their notes on diskettes, and using selected CD-ROM data bases.

This course presupposes a familiarity with the MLA Style for Research Papers.

【評価方法】 Grades will be based on the degree of accuracy in applying the MLA Style to the various parts of the thesis.

【テキスト】 The same text as Research Methods I.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14533	英語英文学研究法Ⅱ 3	選・必	4	1	後期	J. Seland
他の科目との関連					他学科履修 不可	重複履修 不可

【講義内容】 This course is designed to help students learn how to write a good research paper. Attention will be focused on how to find a good topic, how to organize the essay, how to make an outline, write the footnotes and bibliography, and so on. We will spend some time in learning how to write an Introduction, the Body of the paper, and the Conclusion. We will also spend some time in the library to become more familiar with the Gemma and in order to learn how to use the library to the best advantage.

Some classes will be used to analyze short stories in order to discover how the story is organized.

【評価方法】 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 *Writing Research Paper*, by James Lester, 7th Edition, Harper Collins

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14534	英語英文学研究法Ⅱ 4	選・必	4	1	後期	山 崎 勉
他の科目との関連					他学科履修 不可	重複履修 不可

【副 題】 文学の研究方法

【講義内容】 主たる目的は『MLA英語論文の手引』を参考にして、英語論文を如何に完成させるかということを知ってもらうことである。卒論執筆と平行して指導する予定である。

【講義計画】 主に個人指導の形で行う予定である。卒論を章毎に提出してもらい、その添削等を通じて、論文執筆の規則を覚えてもらうことになる。

【評価方法】 論文への姿勢、そして、論文の中身（規則を守っているかということ）を対象とする。

【テキスト】 『MLA英語論文の手引第3版』（北星堂）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14536	英語英文学研究法Ⅱ 6	選・必	4	1	後期	日 野 水 憲
他の科目との関連					他学科履修 不可	重複履修 不可

【副 題】 卒業論文の書き方

【講義内容】 卒業論文の作成と内容の検討に時間をかける。もっぱら個人指導による各人の問題意識の深化と議論展開を重視する。また近年の研究論文の検討をも重視する。

【講義方法】 個人指導を中心に行う。毎週の面談で進行状況を把握する。

【評価方法】 毎週のレポートと卒業論文との総合評価。

【テキスト】 *MLA Handbook for Writers of Research Papers*, Fourth Edition.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14537	英語英文学研究法Ⅱ 7	選・必	4	1	後期	鈴木 達也
他の科目との関連				他学科履修	不可	重複履修 不可

【講義内容】 読者によって伝わるイメージが大きく異なる文学作品とは違い、論文は、著者の主張がすべての読者に単一的且つ明確に伝わらなくてはならない。論文執筆上の基本的ルールの修得はもとより、いかに明確に議論を進めて行くか、またパソコンなど論文執筆の際に手助けとなる道具をいかに上手に活用するかについて、説明、実習を行います。

【講義計画】 言語学論文作成のためにパソコンを有効利用するノウハウについて説明、実習した後、各自の卒論テーマに関する発表・ディスカッションを行います。

【評価方法】 発表、ディスカッション、レポート等の成績を基に総合的に判断します。

【テキスト】 適宜指定

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14601 14611	英語学特殊講義AⅠ 1・AⅡ 1	選	3・4	各2	前期 後期	玉崎 孫治
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 可

【副 題】 選択体系的機能言語学の研究

【講義内容】 言語の機能的な研究としては、もっとも包括的な言語研究で知られる選択体系的言語学の諸相を考察する。これまでの節や文を中心とした言語の形式的研究とは異なり、広く人間の言語使用の諸相を研究分野とする Systemic Functional Linguistics の研究は、節（伝統的な文に匹敵）にとどまらず、物語や会話なども研究対象とする。この研究の推進者であるHallidayは、このような研究を社会記号論とさえ呼んでいる。本講義では、この言語学が明らかにする社会や文化のコンテクストと言語の関係を考察し、実際の言語分析における問題点を検討するものである。

【講義計画】 前期は、選択体系的機能言語学の基礎的な考え方を全般的に講義し、後期には、実際の研究論文を読み、同時に実際の言語使用から生まれたデータを分析し、個別の問題点を考えていく。
Theme（テーマ）、Genre（ジャンル）、Register（レジスター）、言語の使用面にみられるイデオロギー等の問題を扱い、さらには文学作品などの文体論研究への応用にまで話題を広げたい。

【評価方法】 レポート。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 プリント。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14602 14612	英語学特殊講義AⅠ 2・AⅡ 2	選	3・4	各2	前期 後期	天野 政千代
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 可

【副 題】 現代英語の格と構文

【講義内容】 現代英語にはドイツ語、オランダ語、スカンジナビア語など他のゲルマン語に見られない様々な特徴がある。国際語でありながら、その意味では不思議な言語である。この講義ではそうした特性の具体例

を挙げながら、生成文法理論を背景に、現代英語がなぜそうした特性を持つに至ったのかを論じる。受動態を中心とし、それに関連が深い非対格動詞、能格動詞、中間動詞などを取り上げる。また、そうした特性が英語によるコミュニケーションに、どのような影響を与えているのかも考察する。そうした動詞の本質を知るには、言語理論に基づいた検証が不可欠であり、生成文法理論の解説にも努める。統率・束縛理論、原理・媒介変数アプローチ、最小主義プログラムについても、必要に応じて解説するので、予備知識は必ずしも必要ではない。

【講義計画】 前期、後期ともに講義内容と深い関連がある研究論文を読みながら、能格動詞、対格動詞、非対格動詞の統語特性について論じる。各動詞の類似点と相違点に着目し、これらの動詞がいかなる項構造や格付与能力を持つのかを明らかにする。そこから人間の言語能力や言語習得能力に迫り、言語普遍性の一部をかいま見る。そこで、必要になるのが他のゲルマン語やロマンス語との比較研究であり、古い時代の英語も手助けになる。そうした言語には、様々な動詞の特性が顕在化した形で現れていることがあるからである。最終的には、現代英語がヨーロッパの諸言語の中でいかなる位置付けを持つのかを示し、時間に余裕があれば、日本語と比較検討する。講義が中心となるだけに、積極的な質問を大いに歓迎する。

【評価方法】 各期末にレポートを提出してもらう。講義内容に関連のあるレポートを歓迎するが、独創的な内容を含む研究であれば、他のテーマのレポートも受け入れる。いずれにせよ、講義中に積極的に質問したり、意見を述べたりする人に高い評価を与えることは言うまでもない。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 こちらで資料をすべて用意するので、テキストは不要。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14603	英語学特殊講義AⅠ 3	選	3・4	2	前期	有 元 將 剛
他の科目との関連				他学科履修	可	重 複 履 修 可

外国語学部開講科目31613「英語統語論」を参照。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14613	英語学特殊講義AⅡ 3	選	3・4	2	後期	青 柳 宏
他の科目との関連				他学科履修	可	重 複 履 修 可

外国語学部開講科目31621「日英対照研究」参照。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14604 14614	英語学特殊講義AⅠ 4・AⅡ 4	選	3・4	各2	前期 後期	村 杉 恵 子
他の科目との関連				他学科履修	可	重 複 履 修 可

外国語学部開講科目31625「英語学特殊研究1-1」、および、31626「英語学特殊研究1-2」を参照。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14631 14641	英文学特殊講義 AⅠ 1・AⅡ 1	選	3・4	各2	前期 後期	荻野昌利
14661 14665	比較文化論 AⅠ・AⅡ	選	3・4	各2	前期 後期	荻野昌利
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 さまよえる旅人たち－英米文学に見る近代自我〈彷徨〉の軌跡

【講義内容】 前期 イギリスのゴシック小説を取り上げ、その中で西洋自我意識がどのように変質していくのかを論ずる。

主要作品 Horace Walpole, *The Castle of Otranto*
Ann Radcliffe, *The Mysteries of Udolpho*
William Godwin, *Caleb Williams*
Mary Shelley, *Frankenstein*, etc.

後期 ヴィクトリア朝期から20世紀初頭にかけての小説の中で、近代の西洋自我意識の更なる変容を辿りその悲劇的展望につき論ずる予定。

主要作品 Charles Dickens, *Little Dorrit*
Victor Hugo, *Les Misérables*
Thomas Hardy, *Jude the Obscure*
Joseph Conrad, *Heart of Darkness*, *Lord Jim*, etc.

【評価方法】 期末試験（持込原則可）を唯一絶対の判断基準とする。出問形式は論述式問題である。

【テキスト】 荻野昌利『さまよえる旅人たち－英米文学に見る近代自我〈彷徨〉の軌跡』（研究社出版）とプリント。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14632 14642	英文学特殊講義 AⅠ 2・AⅡ 2	選	3・4	各2	前期 後期	山崎 勉
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 Charles Dickens 研究（*Oliver Twist*から*Hard Times*まで）

【講義内容】 *Oliver Twist* から*Hard Times*までのDickensの小説を取り挙げる。分冊、ないしは、連載形式で発表された彼の小説群は、それらの作品を執筆していた頃に彼の回りで起こっていた出来事を大いに反映している。彼の成長とともに彼の他者との関係も微妙にその様相を変化させるのだが、彼の作品は如実にそれを映し出している。習作期から円熟期に至るまでの人間 Dickens の有り様を語ってみたい。

【講義計画】 （前期）：*Oliver Twist*, *Nicholas Nickleby*, *The Old Curiosity Shop*, *Martin Chuzzlewit* を扱う。
（後期）：*Dombey and Son*, *David Copperfield*, *Bleak House*, *Hard Times* を扱う。

【評価方法】 レポート。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 プリント。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14633 14643	英文学特殊講義AⅠ3・AⅡ3	選	3・4	各2	前期 後期	武田美保子
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 「新しい女」たちのイギリス

【講義内容】 イギリスの19世紀後半から今世紀初頭にかけて登場した、いわゆる「新しい女」たちをめぐる当時のイギリスの時代背景、および、この頃流行の彼女たちをヒロインとする「新しい女小説」を紹介し、その今日的意義を探っていきます。従来のヴィクトリア朝的な性規範が揺らいでいった世紀末は、とりわけ「性的無秩序」の時代と呼ばれ、「新しい女」だけでなく「新しい男」の登場も促すことになります。また、これまで確固とした基盤の上に築かれてきたと思われていた大英帝国が、植民地における独立・反乱運動のうねりによって、その地盤を危うくされるのもこの時代のことです。こうした時代背景の中で、いかに帝國的「男らしさ」が求められ、同性愛が罪悪視され、進化論的人種差別主義の言説が流布されていったかについても、当時の小説の中に探っていきたいと思います。小説を分析する際には、ジェンダー批評についても随時触れていく予定です。

【講義計画】 前・後期を通じて、次のような問題に言及していく予定です。

1. 「家庭の天使」から「新しい女」へ
2. 婦権拡張運動の高まり
3. 女家庭教師植民地へ行く
4. 「新しい女小説」について
5. 小説の中の「新しい男」たち
6. 女のセクシュアリティをめぐる言説
7. 同性愛は罪か病理か?
8. 進化論と人種問題

以下の小説を扱っていきます。

前期：グラント・アレン「やっつてのけた女」、オリーブ・シュライナー「アフリカ農場物語」、ジョージ・エジャトン「キーノート」、トマス・ハーディー「テス」など。

後期：ヘンリー・ジェームズ「ある貴婦人の肖像」、オスカー・ワイルド「サロメ」、E. M. フォースター「眺めのいい部屋」、D. H. ロレンス「虹」など。

【評価方法】 授業中に書いてもらう数回の小レポートと、定期試験に代わる正規のレポートの両方で評価します。欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 資料は随時コピーして配布します。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14634 14644	英文学特殊講義AⅠ4・AⅡ4	選	3・4	各2	前期 後期	小林かおり
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 シェイクスピア上演入門 その2

【講義内容】 昨年に引き続き、シェイクスピアの楽しさを、テキストだけでなく、ビデオ、映画を使って楽しむ。有名な作品や場면을テキストで読んだあと、それらが、それぞれの時代の社会・文化的背景のなかでどのように上演されてきたかをわかりやすく解説する。昨年扱った作品は扱わない予定。

【講義計画】 前期 1) シェイクスピア入門 2) シェイクスピア上演の歴史 3) シェイクスピア上演の歴史 4) 『夏の夜の夢』のテキストと上演史 5) 『夏の夜の夢』のテキストと上演史 6) 『夏の夜の夢』のテキストと上演史	後期 1) 前期のおさらい 2) 『オセロー』のテキストと上演史 3) 『オセロー』のテキストと上演史 4) 『オセロー』のテキストと上演史 5) 『オセロー』のテキストと上演史 6) 『オセロー』のテキストと上演史
---	--

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 7) 『夏の夜の夢』のテキストと上演史 | 7) 『オセロー』のテキストと上演史 |
| 8) 『十二夜』のテキストと上演史 | 8) 『ハムレット』のテキストと上演史 |
| 9) 『十二夜』のテキストと上演史 | 9) 『ハムレット』のテキストと上演史 |
| 10) 『十二夜』のテキストと上演史 | 10) 『ハムレット』のテキストと上演史 |
| 11) 『十二夜』のテキストと上演史 | 11) 『ハムレット』のテキストと上演史 |
| 12) 『十二夜』のテキストと上演史 | 12) 『ハムレット』のテキストと上演史 |
| | 13) 『ハムレット』のテキストと上演史 |

【評価方法】 レポート。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 プリントを使用。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14651	英文学特殊講義B	選	3・4	4	前期	J. Seland
他の科目との関連					他学科履修 可	重複履修 可

【講義内容】 Special Lecture: Literature in England in the 1930s

World War I, in which millions of innocent lives were lost, was a shocking experience for Europe. So, too, was the fall of the stock market in 1929, with its accompanying unemployment and poverty. The rise of fascism and spread of communism were also worrying. The rich unity of Europe's religious and cultural tradition was beginning to crumble and fall into decay. What would happen now? People wanted something that they could believe in, a movement or creed that would give them a sense of continuous tradition, or something of lasting value. Was Communism the way? Socialism? Capitalism? Religion? We would like to learn what some of the most influential writers of the time thought about these issues.

【講義計画】 In the first semester we will read *Brave New World* (1932), by Aldous Huxley, and *Down and Out in Paris and London* (1933), by George Orwell. In the second semester, we will read *A Handful of Dust* (1934), by Evelyn Waugh, and *A Gun for Sale* (1936), by Graham Greene.

【評価方法】 To get a broader perspective of what was happening at this time, we will also examine some poetry and stories by other writers, particularly T.S. Eliot, W.H. Auden, and E.M. Forster.

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 *Brave New World*, Aldous Huxley, Vintage
Down and Out in Paris and London, George Orwell, Penguin
A Handful of Dust, Evelyn Waugh, Penguin
A Gun for Sale, Graham Greene, Penguin

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14681 14685	比較文化特殊講義AⅠ1・AⅡ1	選	3・4	各2	前期 後期	小 池 英 光
他の科目との関連					他学科履修 可	重複履修 可

【副 題】 功利主義とプラグマティズム

【講義内容】 前期 イギリスの功利主義をやや詳しく検討する。功利主義については多くの誤解がある。それら誤解の責任の一部は功利主義自身にもある。イギリス市民社会のイデオロギーとも見做しうる功利主義の光と影を明らかにしたい。

後期 プラグマティズムは功利主義からほぼ1世紀後の19世紀末からアメリカにおいて展開した思想で古典的功利主義と時期的には一部分重なる。功利主義と知識・倫理を行為の場面で把握しようとしたブ

ラグマティズムとの思想の対比を試みたい。

【講義計画】

前期

1. 序論：功利主義の時代背景
2. 先駆者たち
3. J. ベンサム
4. J. S. ミル
5. H. シジウィック
6. G. E. ムアの批判
7. J. ロールズの批判
8. 現代功利主義の動向

後期

1. 序論：プラグマティズムの時代背景
2. 先駆者たち
3. C. S. パース
4. W. ジェイムズ
5. J. デューイ
6. プラグマティズムと現代アメリカ哲学の動向

【評価方法】

期末試験を中心に評価するが、出席も重視する。
 なお、積極的に質疑に参加した場合には高く評価する。
 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】

テキストは使用しない。ほぼ毎回、資料を配布し、それによって授業を進める。参考文献等は授業の中で適宜紹介する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
14682 14686	比較文化特殊講義AⅠ2・AⅡ2	選	3・4	各2	前期 後期	横 山 輝 雄
他の科目 との関連					他学科 履 修 可	重 複 履 修 可

【副 題】

- (AⅠ) 19世紀アメリカの自然文学
 (AⅡ) 自然観・環境観の比較文化

【講義内容】

(AⅠ) 19世紀のアメリカは、それまでのイギリスをはじめとするヨーロッパ文化からの文化的独立の時代であった。エマソンの「アメリカの学者」は、文化的独立宣言とも言われる。その後に、ヨーロッパとは異なるアメリカ独自のものとして重視されたのが「自然」であり、アメリカの原生自然が注目され、それが文学の一つのテーマとなった。

(AⅡ) 19世紀アメリカの「超越主義」などの自然観は、今日地球環境問題などとの関連で再び注目を集めている。今世紀には、文学と自然はあまりかかわらなかったが、「ネイチャーライティング」などの近年の動向は、19世紀の自然文学の復興であり、それは環境倫理や土地倫理などと結びついてきている。

【講義計画】

(AⅠ) 19世紀初期のアメリカの文化状況について述べ、その後、エマソンやソーローらの「超越主義」の文学がカーライルらの影響のもとに、ロマン主義やドイツ観念論、さらには東洋思想をどう吸収して独自の自然観を形成したかを明らかにする。講義中心であるが、代表的な文章を原文で示す。

(AⅡ) 環境問題との関連で、カーソンの『沈黙の春』などの先駆的な作品が、どのように「ネイチャーライティング」に発展したか、それがどの点で19世紀の自然文学の復興であるかを述べ、さらに環境倫理や土地倫理の問題とのつながりを、日本の環境思想などと比較しながら明らかにする。

【評価方法】

定期試験(筆答)を中心とする。
 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

文 学 部

仏語学仏文学科

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15101 他	フランス語Ⅰ・Ⅱ（仏） 〔講読・LL・作文・会話・文法・専門講読〕	必	1	各1	前期 後期	練 尾 毅 D. Courron M.-A. Morita J. Schubert
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 仏語学仏文学科1年生に対するフランス語強化授業

【講義内容】 一年生に対する一連の講義は、フランスで開発された成人初歩学習教材”Panorama”第一巻を共通教科書として用い、外国人教員と日本人教員が協力して、直接教授法をとり入れた週6回の授業により、フランス語基礎運用能力を総合的に養成することを目的とする。

【講義計画】 Panorama は、新しい時代のフランス語教育の教材である。レベル1は18課および6つの「まとめ」で構成され、一週あたり1課（あるいは1つの「まとめ」）を学習する。各課の学習内容については、日本人教師が2コマの授業で語彙ならびに文法を説明する。ついで、二名のフランス人教師が50名程度のクラスを二つのグループに分けてその課を指導し、文法、コミュニケーション、作文などの観点からテキストをもとに学生のフランス語運用能力を訓練する。日本人教師は週の三番目のコマで教科書の各課の最後の二ページに記載されたフランスの文化や社会についての記述について学生にさらに詳細に教授する。LLの授業は、学生のクラスを半分にわけ、それぞれを1名の外国人教師が担当するが、この授業では発音、イントネーション、フランス語の文章のリズミックな読み方を訓練し、フランス語の構造についての知識を確かなものにする。
4人の担当者は各授業を互いによく連関させて、学生諸君を効率的に指導する。

【評価方法】 各科目ごとに、授業における応答、小テスト、練習問題、期末試験、出席状況など全般的な評価を行う。

【テキスト】 *Panorama*, CLE International, 1996
南館英孝、中村典子『エコー：CD付き、例文中心、フランス語初級文法』駿河台出版社、2,300円。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15121	フランスの文化と社会Ⅰ	必	1	1	前期	丸 岡 高 弘
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 フランスの現状

【講義内容】 「フランスの文化と社会」ではフランス文学・語学・思想の生まれた土壌であるフランスの社会と文化を多角的に理解することを目指し、二年間にわたり、フランスの現状・地理・歴史・文化・芸術などを講義する。Ⅰではフランスの政治制度、政治史、経済、外交、フランスの地域の特徴などについて基礎的な知識を習得することをめざす。

【評価方法】 出席を重視する。適宜、小テストやレポートを課して平常点とする。これに定期試験の結果を加えて総合的に判断する。

【テキスト】 とくにないが、清水徹・根本長兵衛『フランス』新潮社を参考資料とするので、各自読んでおくこと。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15125	フランスの文化と社会Ⅱ	必	1	1	後期	倉 田 信 子
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 フランスの歴史

【講義内容】 「フランスの文化と社会」ではフランス文学・語学・思想の生まれた土壌であるフランスの社会と文化を多角的に理解することを目指し、二年間にわたり、フランスの現状・地理・歴史・社会・文化・芸術などを講義する。Ⅱではフランスの歴史を扱う。

【講義計画】 ①先史時代～ガロ・ロマン期、②民族移動期～カロリング朝、③カペー朝～中世後期、④十六世紀、⑤十七世紀、⑥十八世紀、⑦フランス革命、⑧十九世紀その1、⑨十九世紀その2、⑩日仏交流史（幕末・明治期）、⑪二十世紀その1、⑫二十世紀その2

【評価方法】 定期試験（筆記・持ち込み不可）中心。毎回違った内容であり、量的にもかなり多いのでしっかりノートをとること。

【テキスト】 その都度指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15131	仏語学仏文学基礎演習	必	1	2	後期	浜 名 優 美 丸 岡 高 弘
他の科目との関連					他学科履修 不可	重複履修 不可

【講義内容】 （前半）文献（和文・欧文）やデータの調査、資料の収集と整理・加工の仕方、図書館・新聞・雑誌・インターネットの利用法、文献の要約の仕方、引用文、参考文献の扱い方、レポート・論文の作成法（和文・欧文）、口答発表・討論の仕方などを具体的に教授し、実際にレポートを作成させる。

（後半）本演習では毎回、フランス文学・思想・語学に関する2、30ページのテキストが配布され、次回までにそのテキストの要約ないしはコメントを書いて提出することが要求される。またテキストの理解をはかる小試験が毎回行われる。本演習の目的は抽象度の高いテキストを読む能力を養い、明晰な日本語で表現する訓練を行うことである。

【評価方法】 評価は授業ごとに行われるレポート、小試験を総合的に判断して行う。

【テキスト】 プリント

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15141	フランスの文化と社会Ⅲ	必	2	1	前期	栗 須 公 正
他の科目との関連					他学科履修 不可	重複履修 不可

【副 題】 フランス文化史

【講義内容】 「フランスの文化と社会」ではフランス文学・語学・思想の生まれた土壌であるフランスの社会と文化を多角的に理解することを目指し、二年間にわたり、フランスの現状・地理・歴史・文化・芸術などを講義する。Ⅲではフランス文化史を扱う。

【講義計画】 ①文学（1）ルネサンス以前、②文学（2）バロック・古典主義、③文学（3）ロマン主義と近代、④文学（4）近代小説の確立、⑤文学（5）20世紀文学の開拓者たち、⑥文学（6）現代文学の状況、⑦思想（1）デカルト・パスカル、⑧思想（2）啓蒙主義、⑨思想（3）20世紀、⑩言語と生活

【評価方法】 出席を重視する。随時、レポート等を課して平常点とする。これに定期試験の結果を加えて総合的に判断する。「欠席過多」を適用する。

【テキスト】 清水徹・根本長兵衛監修『フランス』（新潮社）岩波文庫別冊『フランス文学案内』

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15145	フランスの文化と社会Ⅳ	必	2	1	後期	倉 田 信 子
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 フランスの芸術

【講義内容】 「フランスの文化と社会」ではフランス文学・語学・思想の生まれた土壌であるフランスの社会と文化を多角的に理解することを目指し、二年間にわたり、フランスの現状・地理・歴史・社会・文化・芸術などを講義する。Ⅳではフランスの芸術を扱う。

【講義計画】 ①古代ーガロ・ロマン時代、②中世Ⅰーロマネスク芸術、③中世Ⅱーゴシック芸術、④十六世紀ールネサンス、⑤十七世紀ーバロックと古典主義、⑥十八世紀その1（ロココ）、⑦十八世紀その2（市民の芸術）、⑧新古典主義とロマン主義、⑨自然主義・写実主義、⑩ジャポニスムとアール・ヌーヴォーと印象派、⑪印象派以後

【評価方法】 定期試験（筆記・持ち込み不可）中心。毎回違った内容であり、量的にもかなり多いのでしっかりノートをとること。

【テキスト】 その都度指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15151 } 15195	フランス語Ⅲ・Ⅳ 文法・作文・会話・講読A・講読B	必	2	各1	前期 後期	栗 村 道 夫 D. Courron J. Schubert
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 仏語学仏文学科2年生に対するフランス語強化授業

【講義内容】 *Café Crème 2* を用いてフランス語の知識を深め、その運用能力を養う。第2巻も第1巻と同様に4部から成る16課構成であるが、*Paroles en liberté* に代わって *Culture en liberté* のページが入り、フランス文化への興味を引くと同時に生きたフランス語の実践力を更に向上させる。学習内容を補充するビデオ教材も利用する。

【講義計画】 フランス人教師が *Café Crème 2* 各課の *Découvertes* の項目および作文・会話の部分に関する授業を担当し、フランス語運用の訓練を行う。

日本人教師により *Vocabulaire* と *grammaire* の項目について授業が行われる。文法の時間には、昨年度使用した文法の教科書後半の未習部分を教材として用い、終了後は中級程度の練習問題中心の教科書を用いる。

【評価方法】 期末定期試験の他、宿題や授業中に行われる小テストも評価の対象となる。「欠席過多」を適用する。

【テキスト】 *Café Crème2* テキストおよび *Cahier d'exercice 2* (Hachette,1998)。
『新初等フランス語教本ー文法編』白水社（昨年の継続）。終了後は他の文法教科書を指定する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15201 15205	フランス語Ⅲ・Ⅳ講読C	必	2	各1	前期 後期	丸 岡 高 弘
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 【中級講読——フランス文学アンソロジーを読む】

【講義内容】 近代フランス作家の平易な作品をアンソロジーで読み、それぞれの作家への理解を深めると共に、関連の文学作品へと関心を広げることを目標とする。

【評価方法】 授業における読解力、定期試験、出席状況などを総合的に評価する。

【テキスト】 山村嘉巳・小川雅也『若者たち』第三書房

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15211 15215	フランス語Ⅲ・Ⅳ和文仏訳	必	2	各1	前期 後期	D. Courron
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 日常生活に密着した表現をフランス語に訳す練習を行なう。語彙を増やす、フランス語の文法のメカニズムを理解する、日本語とフランス語の論理と特徴の違いについて分析力を養うことを3つの柱とする。

【講義計画】 一文につき一つの文法テーマを含んだ短文を毎回10題ほどフランス語に訳してきてもらい、教室で添削を行うのに加え、新聞記事の翻訳を毎回1段落ずつ行う。

【評価方法】 ふだんの授業態度と学期末試験による。「欠席過多」を適用する。

【テキスト】 中村栄子『新フランス語作文実習Ⅱ』駿河台出版社に加え、プリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15221	フランス研究序説	必	2	2	前期	浜 名 優 美 丸 岡 高 弘
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 (前半 浜名優美担当部分)
フランス現代思想入門として、サルトル、ボーヴォワール、レヴィ＝ストロース、フーコー、デリダの主な仕事を紹介し、現代における思想的課題を明らかにする。
(後半 丸岡高弘担当部分)
佐藤信夫『レトリック感覚』をテキストにし、修辞学、とりわけフィギュールに関して、フランス語の文例を補いながら、学習して、3、4年次におけるより深い文学研究の基礎について学ぶ。

【講義計画】 (前半) 授業では一回に一人の思想家を取り上げる。従って6回目はフランス現代思想の総括を行う。

【評価方法】 (前半) 出席ならびにレポートによる。
(後半) 学期末に筆記試験を課する。

【テキスト】 (前半) 未定。
(後半) 佐藤信夫『レトリック感覚』講談社学術文庫

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15231 15235	フランス語Ⅴ・Ⅵ文法	必	3	各2	前期 後期	練 尾 毅
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 フランス文法の諸問題

- 【講義内容】 ◇前期：文の構造（単文と複文）、名詞句、限定辞、代名詞に関わる諸事実の考察を通じて、現代フランス語の仕組みの理解を目指す。
◇後期：動詞のテンス（時制）、アスペクト（相）、ムード（法）とモダリティ、ヴォイス（態）、文のタイプ（疑問文、感嘆文、命令文、否定文、遊離文など）に関わる諸事実の考察を通じて、現代フランス語の仕組みの理解を目指す。

- 【講義計画】 ◇前期：
1. 文の構造
2. 名詞句
3. 限定辞（特に定冠詞と不定冠詞）
4. 限定辞の省略
5. 普通名詞と固有名詞
6. 人称代名詞と指示代名詞
◇後期：
7. 動詞の時制とアスペクト（完了相、未完了相など）
8. 未来時制
9. 条件法
10. 文のタイプ（特に疑問文と感嘆文）
11. 受動態と能動態
12. 非人称構文

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 Anne MONNERIE, *Le français au présent : grammaire, français langue étrangère*. Paris : Didier / Hatier. 1987. 88 F (約2,000円)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15251 15261 15271 15281	仏語学仏文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	必	3・4	各2	前期 後期	浜 名 優 美
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 近代フランス女性思想の歴史、ルソーから現代まで

【講義内容】 ジャン＝ジャック・ルソーによる良妻賢母を理想とする女性論はフランス革命以後近代の女性観を長らく支配してきた。しかし1960年代の女性解放運動によって男女平等の思想が広まり、ルソー的な女性観は廃棄されたかに見えたが、90年代になって女性解放運動が衰退し、女性の社会的地位の一定の上昇後、再びルソー的な女性観の見直しが行われている。
演習ではピエール・ブルデューの『男性支配について』を読みながら、男性優位の考え方がいかに根深いか、またその根っこを断ち切ることがいかに困難であるかを考える。

【評価方法】 ふだんの演習への参加の仕方ならびにレポートによって評価する。

【テキスト】 Pierre Bourdieu, *La Domination masculine*, Minuit, 1998.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15273 15283	仏語学仏文学演習Ⅲ・Ⅳ	必	4*	各2	前期 後期	栗 村 道 夫
他の科目 との関連	*注) 2000年3月 卒業予定者のみ			他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 ボール・クロードルの演劇研究（三）

【講義内容】 1. 昨年度に取り上げたクロードルの畢生の大作『繻子の靴』に続いて、そのテーマの延長かつ仕上げとも言える『クリストファ・コロンブスの書物』（1927年作）を講読しながら、「神の大地の統合」、

- 世界を一つに結ぶ communion（霊的交わり）の展開という作品の深意を探究する。
2. また、「神に献げる生贄」という観点から上記の作品と同列に置かれる劇的オラトリオ『火刑台上のジャンヌ・ダルク』（1933年作）を11～12月頃に比較考察する。

- 【講義計画】
1. ダリウス・ミヨー作曲、ジャン＝ルイ・バロー演出の『クリストファ・コロンブスの書物』研究においては、上演の際の録音テープを鑑賞すると共に、バローの「全体演劇」理論の成果を見ることにしたい。
 2. アルチュール・オネゲル作曲『火刑台上のジャンヌ・ダルク』研究においては、小沢征爾監督・指揮、ジョルジュ・ウィルソン演出による上演（1993年松本市文化会館）の録画ビデオを作品講読と平行して鑑賞する。
- 以上の二つの作品において、クロデルの世界像の『演劇』的表現と音楽との密接な結びつきの問題を併せて考究する。

【評価方法】 出席状況、発表、期末筆記試験等により総合的に評価する。

- 【テキスト】
- 1 .Paul CLAUDEL, *Le Livre de Christophe Colomb*, Collection Blanche, Gallimard. (ISBN 2-07-021493-1)
 - 2 .Paul CLAUDEL, *Jeanne d'Arc au bûcher*. (後期に指示する)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15254 15264 15274 15284	仏語学仏文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	必	3・4	各2	前期 後期	栗 須 公 正
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 バルザック研究

【講義内容】 本演習では、フランス近代小説研究の一環として、バルザック『ゴリオ爺さん』を読み、構成、技法、叙述など小説の諸問題を検討する。

【講義計画】 授業日程（初回配布）に基づき、テキスト講読を行う。それとともに、フランス近代小説史の概要、バルザック『人間喜劇』の構想など講義する。

上記の講読、講義と同時に、卒業論文指導、レポート指導も行う。

【評価方法】 授業における訳読、発表、レポート、出席状況など総合的に評価する。

【テキスト】 Balzac, *Le Père Goriot*, Folio.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15256 15266 15276 15286	仏語学仏文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	必	3・4	各2	前期 後期	M.-A. Morita
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 Nous avons choisi, pour cette année, VOYAGE DE NOCES de Patrick MODIANO. L'écrivain, né en 1945, est l'un de plus marquants de sa génération. Dans ce roman, le narrateur, double de MODIANO, tente de reconstituer l'histoire d'un jeune couple qu'il a rencontré quand il avait vingt ans et, en particulier, d'écrire une biographie d'Ingrid" (p. 49), la jeune femme mystérieuse. De nombreux allers et retours entre le présent et le passé, ainsi que dans le Sud de la France et dans la ville de Paris, permettront à l'auteur de mener son enquête.

【講義計画】 Nous nous proposons de lire chaque semaine environ quatre pages de ce roman, choisies dans les passages les plus intéressants.

MODIANO a été plusieurs fois traduit en japonais, mais il n'existe pas encore de traduction japonaise de ce roman.

Nous demandons aux étudiants qui auront choisi ce séminaire de préparer les pages à l'avance et de participer activement au cours. Il leur sera, en outre, demandé de rédiger un compte rendu en français à la fin de chaque semestre.

【評価方法】 La note globale de l'examen tiendra compte de la présence et de la participation au cours, ainsi que des notes obtenues aux deux comptes rendus.

Seuls sont autorisés à s'inscrire en quatrième année les étudiants capables de rédiger EN FRANÇAIS leur mémoire de fin d'études (minimum 30 pages).

【テキスト】 Patrick MODIANO, VOYAGE DE NOCES, Gallimard, coll. "Blanche", 1990, 157 pages.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15257 15267	仏語学仏文学演習Ⅰ・Ⅱ	必	3	各2	前期 後期	練 尾 毅
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 フランス語学の諸問題

【講義内容】 ◇前期は、日本語で書かれたテキスト(『フランス語を考える—フランス語学の諸問題Ⅱ』、三修社、1998年)により、言語を構成する大きな骨組みに従って、主に音韻論、統語論、意味論、語彙論、文体論等に関する具体的な問題を概観すると同時に、フランス語学への導入を図る。

◇後期は、フランス語のテキストを読みながら、主にフランス語の時制、アスペクト、モダリティの問題をより深く考察する。

【講義計画】 ◇前期：

1. フランス語音韻論
2. 冠詞
3. 前置詞
4. 代名詞 (間接補語代名詞)
5. 照応
6. 属詞構文
7. 認知動詞
8. 時制とアスペクト (直説法半過去)
9. 時制とアスペクト (単純未来と近接未来)
10. モダリティ
11. ヴォイス (日本語とフランス語)
12. ヴォイス (受動態と受動的代名動詞)

◇後期：

1. 法 (ムード)
2. 直説法
3. 接続法
4. 命令法
5. アスペクト
6. 時制
7. 現在形
8. 半過去形
9. 単純過去形
10. 複合過去形
11. 単純未来形
12. 条件法

【評価方法】 平常点と筆記試験。

【テキスト】 ◇前期：『フランス語を考える—フランス語学の諸問題Ⅱ』、三修社、1998年、3、600円。

◇後期：Dominique MAINGUENEAU, *L'énonciation en linguistique française*. Paris : Hachette, 1991. [必要箇所をコピーして配布する]

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15258 15268 15278 15288	仏語学仏文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	必	3・4	各2	前期 後期	J. Schubert
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重 複 履 修 不可

【副 題】 François Mauriac, moraliste intuitif

【講義内容】 Ce séminaire s'adressera à tous les étudiants en troisième et quatrième année qui désirent participer au dialogue spirituel du 20e siècle.

【講義計画】 Après avoir traité en 1998 les romans *Le Mystère Frontenac* et *Le Nœud de vipères*, on continuera en 1999 l'étude du monde mauriacien avec une explication approfondie des deux romans *Thérèse Desqueyroux* et *La Pharissienne*.

【評価方法】 Un test à la fin de chaque semestre ainsi que des présentations au cours de l'année et un mémoire de 3 à 4 pages écrit en français établiront la note globale de ce cours.

【テキスト】 *Thérèse Desqueyroux* et *La Pharissienne* dans *Le Livre de Poche*.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15402	フランス文学史	選・必	3・4	2	後期	栗 須 公 正
他の科目 との関連					他学科 履 修	可 重 複 履 修 可

【副 題】 フランス文学・散文の系譜をたどる。

【講義内容】 17世紀から20世紀にいたるフランス近代の散文の名篇を鑑賞し、同時に、文学史の流れ、時代の背景を把握する。特に、19世紀小説には力を入れたい。

【講義計画】 ①デカルト・パスカル・ラファイエット夫人
②ヴォルテール・ルソー
③シャトーブリアン・コンスタン・スタンダール・バルザック・ネルヴァル・フローベール・ゾラ
④プルースト・他

【評価方法】 授業への参加状況（訳読、発表など）と期末の定期試験により総合的に評価する。

【テキスト】 朝倉季雄監修
『文学鑑賞』（スタンダード・フランス語講座）大修館書店

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15405 15406	フランス文法論	選・必	3・4	各2	前期 後期	奥 田 智 樹
他の科目 との関連					他学科 履 修	可 重 複 履 修 可

【講義内容】 フランスで出版されている中級程度の問題集を用いて、学生諸君がこれまでに習得してきたフランス文法の知識をより精緻なものにし、同時にいわゆる伝統文法では納得のいく説明が得られない言語現象が多数存在することを知ってもらい、そういった現象にも対応し得る文法記述の枠組みについて検討する。毎回あらかじめ翌週に取り扱う問題集の範囲を指示するので、必ず予習をして来ること。

【講義計画】 前期は指示詞論、後期は時制論を基本的な柱とするが、学生諸君の関心に応じて柔軟に対応したい。

【評価方法】 平常点と定期試験による。

【テキスト】 M. GRÉGOIRE, O. THIÉVENAZ: *Grammaire progressive du français avec 500 exercices*, Clé International, 1995

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15411 15412	フランス語作文	選・必	3・4	各2	前期 後期	J.-F. Soum
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 可

【講義内容】 ENTRAÎNEMENT À L'EXPRESSION ECRITE ET ACQUISITION DES STRUCTURES SYNTAXIQUES, À TRAVERS DES EXERCICES DE COMPOSITION ET DE TRADUCTION DE TEXTES JAPONAIS EN FRANÇAIS.

【評価方法】 Examens.

【テキスト】 教室でコピーを配布します。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15415 15416	フランス語史	選・必	3・4	各2	前期 後期	練 尾 毅
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【講義内容】 ロマンズ諸語の一つであるフランス語が（１）俗ラテン語、ガロ・ロマンズ語から（２）古フランス語〔9世紀～13世紀〕、（３）中（期）フランス語〔14世紀～15世紀〕を経て（４）近代フランス語〔17世紀～18世紀〕、現代フランス語へと進化して行く過程をヨーロッパ史と歴史言語学・社会言語学の観点から概観する。

- 【講義計画】
1. フランス語の起源と形成
 2. 印欧語族とラテン語
 3. ゴール（ガリア）における先住民とその言語状況
 4. 俗ラテン語
 5. ゲルマン民族（フランク族）の侵入とゲルマン語の影響
 6. 現存最古のフランス語テキスト『ストラスブールの誓約』（842）
 7. 古フランス語
 8. 中（期）フランス語
 9. ルネサンス（16世紀）のフランス語
 10. 古典期（17世紀）のフランス語
 11. フランス革命期と19世紀のフランス語
 12. フランス語の現状

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 R. Anthony Lodge, *French : From Dialect to Standard*. London and New York : Routledge. 1993. [必要箇所をコピー].

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15421 15422	フランス思想講読	選・必	3・4	各2	前期 後期	浜 名 優 美
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 「第二の性」を読む

【講義内容】 戦後のフェミニズム運動に多大な影響を与えたボーヴォワールの『第二の性』の読解を通して、現代社会の抱える諸問題、とりわけ女性の問題を考えることを目標とする。新潮社の二種類の翻訳を参照しながら、思想的なテキストの精読の仕方を学び、思想の誤解の根本的な問題についても触れる。

【講義計画】 授業では毎回2、3ページを読む予定。

【評価方法】 各学期ごとの筆記試験による。

【テキスト】 Simone de Beauvoir, *Le Deuxième Sexe*, 1, Folio (Gallimard)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15441 15442	フランス文学講読	選・必	3・4	各2	前期 後期	J. Schubert
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 Dégustation du Théâtre français du 19e et 20e siècle.

【講義内容】 Lecture de scènes choisies dans six pièces et représentation d'une pièce.

【講義計画】 Au 1er semestre on étudiera deux ou trois scènes des oeuvres suivantes:
Victor Hugo: *Hernani*; Musset: *On ne badine pas avec l'amour*; Maeterlinck: *Pelléas et Mélisande*;
Anouilh: *La Sauvage*; Mauriac: *Les Mal Aimés*; Claudel: *L'Annonce faite à Marie*.
Au deuxième semestre on répétera et représentera en abrégé une pièce que les étudiants auront choisie au cours du 1er semestre.

【評価方法】 Chaque étudiant devra faire en français le résumé et l'appréciation d'une des six pièces au cours ou vers la fin du 1er semestre.
Au deuxième semestre, la participation active à la représentation tiendra lieu d'examen.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15443 15444	フランス文学講読	選・必	3・4	各2	前期 後期	長谷川 太郎
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 フランス中世の悲恋物語『ヴェルジ城主夫人』

【講義内容】 フランス13世紀の宮廷騎士道恋愛物語の園に咲いた秀麗な一輪の花ともいうべき『ヴェルジ城主夫人』を味読して、その語り口の美しさや作品構成の見事さに触れてみよう。

【講義計画】 ①テキストに含まれる現代仏語訳を利用して、まず、ストーリーの展開を知り、その妙味を味わう。かなり詳細な註が付けられているので、これも並行して読んでゆく。
②序文として掲げられている解説を読んで、論説批評の文体に馴染みつつ作品の文学論的・文学史的理
解を深める。
③その上で、中世語テキストを用いて、再度ストーリーを辿りなおし、中世フランス語についての初歩
的知識を得ながら、口誦詩としての美しさを発見する。

【評価方法】 期末の筆記試験を中心に評価を行うが、出席状況や当番時の予習の周到さの程度も考慮する。

【テキスト】 *La Châtelaine de Vergy*, éd. Dufournet-Dulac, Collection Folio, 2576 (Gallimard, 1994)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15446	フランス文学講読	選・必	3・4	2	後期	倉 田 信 子
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修可

【副 題】 17世紀フランス文学講読

【講義内容】 17世紀の童話作家ペローの対話篇『恋愛と友情の対話』を読む。内容は当時のサロンで流行していた話題であり、文体は優雅である。

【講義計画】 20ページほどの作品なので、一回に2ページくらいの進度を予想している。早めに読了すれば、ペローの他の作品に移る。

【評価方法】 平常点と定期試験（筆記）

【テキスト】 プリント

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15451 15452	フランス思想特殊講義	選・必	3・4	各2	前期 後期	塚 田 澄 代
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修可

【副 題】 A（前期）ガブリエル・マルセルの人生観－不安および自己についてどのように考えたか
B（後期）ベルクソンの文明論

【講義内容】 20世紀の二人の哲学者－アンリ・ベルクソン（生命の哲学）とガブリエル・マルセル（実存の哲学）の思想のうち、特に文明及び人生（における不安や自己と他者）について論じている部分を取り上げて講義する。前者は人間を社会学、歴史的観点から扱い、21世紀のあるべき人間像を示唆している。後者は時代を超えた、いわば永遠の問題を真のヒューマニズムの立場から論じている。

【講義計画】 A 1. マルセルの紹介、仏思潮での位置づけ
2. マルセルにおける不安、心配、苦悩
3. 不安な人間 我と我身を処刑する獄吏
4. 賢者たちから咎（とが）められた不安
5. 福音の立場から眺められた不安
6. 聖アウグスチヌスにおける不安
7. パスカルにおける不安
8. ニーチェ、ハイデガーにおける不安
9. ハイデガーからサルトルへ
10. アンドレ・ジイドにおける不安
11. 今日の世界における不安

参考書：マルセル『人間この問われるもの』著作集6 春秋社

B 1. ベルクソンの紹介、仏思潮での位置づけ
2. 道徳と宗教の二源泉
3. 閉じた社会と開いた社会
4. 自然的なものの存続
5. 自然的社会の特性
6. 自然的社会と民主制
7. 自然的社会と戦争
8. 戦争と産業時代
9. 諸傾向の進化
10. 歴史の流れ：「二分法」と「二重狂乱」
11. 質素な生活への可能な復帰
12. 機械化と神秘精神

参考書：ベルクソン『道徳と宗教の二源泉』中央公論社 世界の名著

【評価方法】 レポート提出

【テキスト】 コピーして随時渡す。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15471 15472	フランス文学特殊講義	選・必	3・4	各2	前期 後期	栗 村 道 夫
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 フランス文学における聖書
ーポール・クロードルの場合ー

【講義内容】 「カトリック教会の長女」と言われるフランス、その文学を研究するにはキリスト教の伝統や文化的背景の理解が必要であり、そのためには先ず「書物中の書物」である聖書を念頭に置くことが大切である。生涯にわたり心の糧として聖書を愛読し探究し創作に生かした劇詩人ポール・クロードルの作品の中から、特に以下の二つを取り上げ、創作の原動力となった聖書との密接な関わりを追究してみたい。

1. 劇詩『マリアへのお告げ』と『ルカによる福音書』第1章との関わり。
2. 寓意劇『トビアとサラの物語』と旧約聖書の『トビト記』との比較。

【講義計画】 先ず、クロードルの晩年のエッセー *J'aime la Bible* (1955年発行) の冒頭部分を取り上げ、クロードルの大学生時代バリ、ノートルダムで回心した直後に読んだ聖書（特に『箴言』第8章、知恵の勧め、および『ルカ』第24章、エマオに向かう弟子に現れたキリストの話）がその後の文学創作に及ぼした影響を記述したエッセーを分析する。次に、上記二つの劇作品解釈に際して聖書に由来する発想と題材が如何に重要な意味を持っているかを具体的に考究する。

この講義のためにビデオやスライドを有意義に活用する。

【評価方法】 出席状況と期末試験により総合的に評価する。

【テキスト】 追って指示する。最初は教材プリントを配布する。大学図書館内の指定図書コーナーに並べた文献を各自利用すること。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15481 15482	フランス精神	選・必	3・4	各2	前期 後期	栗 須 公 正
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 フランス思想の名文を読む

【講義内容】 フランスの思想家の代表的な文章を読み、人間探究、自由への欲求、理性の尊重など、フランスの思想と文化の特色について考える。

【講義計画】 前期は、主として、モンテーニュ、デカルト、パスカル、モラリストたちなどを対象とし、後期は、啓蒙主義から現代までを対象とする。

【評価方法】 学期末レポートによる。「欠席過多」を適用する。

【テキスト】 プリント

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15491 15492	フランス語会話V・VI (A)	選・必	3・4	各2	前期 後期	D. Courron
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 可

【講義内容】 生徒は2人のグループを作り、与えられた主題で前もって準備してきた対話を発表する。授業では生徒の発表に基づき解説を加え、日常会話でよく使う便利な表現など学ぶ。

【評価方法】 筆記試験。「欠席過多」を適用する。

【テキスト】 倉方秀憲編『フランス語コミュニケーションの方法』基本表現別、第三書房

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15493 15494	フランス語会話Ⅴ・Ⅵ (B)	選・必	3・4	各2	前期 後期	J.-F. Soum
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重複 履 修 可

【講義内容】 INITIATION AUX TECHNIQUES DE L'EXPRESSION ORALE, A PARTIR DE COURTES SÉQUENCES VIDEO METTANT EN SCÈNE DES SITUATIONS DE LA VIE QUOTIDIENNE.

【評価方法】 EXAMENS. 「欠席過多」を適用する。

【テキスト】 『BIENVENUE EN FRANCE』(TOME 1) (HATIER/DIDIER)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15495 15496	フランス語会話Ⅶ・Ⅷ	選・必	4	各2	前期 後期	M.-A. Morita
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重複 履 修 可

【講義内容】 Dans le cadre de ce cours de conversation, nous proposons à l'étudiant de quatrième année de suivre la démarche simple et réaliste du manuel "Le français à Grande Vitesse".

【講義計画】 L'apprentissage efficace de cette méthode place l'étudiant dans des situations réelles (participer à des conversations simples, réagir en français à des situations professionnelles ou non, comprendre et utiliser des documents usuels -- horaires, plans, menus, etc.).

Les dialogues mettent en scène des personnages auxquels l'étudiant peut s'identifier.

Le manuel est composé de 15 unités, mais nous commencerons directement par l'unité 8.

Nous demandons à l'étudiant de préparer à l'avance les pages retenues pour le cours, ainsi que de participer activement à celui-ci.

【評価方法】 La note globale de l'examen tiendra compte de l'assiduité au cours, de la participation active en classe, ainsi que de la note obtenue à l'examen qui aura lieu à la fin de chaque semestre.

【テキスト】 S. TRUSCOTT/ M. MITCHELL/ B.TAUZIN, *Le français à Grande Vitesse*, Hachette Livre, 1994.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15503 15504	和文仏訳	選・必	3・4	各2	前期 後期	清水ベアトリックス
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重複 履 修 可

【副 題】 Acquisition de mécanismes de traduction du japonais en français.

【講義内容】 On abordera une variété de documents; modes d'emploi, publicités, articles de journaux, bandes dessinées, poèmes, récits...

L'accent sera mis sur les points suivants:

-La maîtrise des règles de grammaire,

- L'enrichissement du vocabulaire,
- Les techniques de recherche pour la traduction.

【講義計画】 Ce cours a pour but de permettre aux étudiants de former des parallèles entre le japonais et le français et de mettre en pratique certains automatismes de passage entre les deux langues.

【評価方法】 La notation prend en considération:

- La présence et la participation aux cours,
- La préparation et les devoirs,
- La note à l'examen final.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15511 15512	時事フランス語	選・必	3・4	各2	前期 後期	丸 岡 高 弘
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 フランスの現代を読む

【講義内容】 ル・モンド、ヌーヴェル・オブセルヴァトゥール、エヴェヌマンなどフランスの代表的な新聞、雑誌からフランスの政治、社会に関する記事を選択し、講読する。テキストはそのときどきの最もホットな話題を扱った記事を選択する。講読の授業なので出席はもちろん、教室での討議への積極的な参加が求められる。

【評価方法】 教室での訳読の発表回数と質が考慮にいられる他、期末に筆記の定期試験を行い、教室で扱った記事の理解がはかれる。

【テキスト】 コピーで適宜配布

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
15522	フランス語翻訳法	選・必	3・4	2	後期	浜 名 優 美
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【講義内容】 フランス語から日本語への翻訳の基礎技術を学ぶ。翻訳は技術的に学ぶことができるところもあるが、広く、しかも深い教養が必要となる。実際に翻訳の作業をやりながら、文化の違いなどによって生じる翻訳の諸問題を理論的にも考察する。

【講義計画】 授業の進め方として、学生たちがあらかじめ課題テキストを訳してきたものを添削しながら行う。

【評価方法】 ふだんの翻訳力と筆記試験による。

【テキスト】 プリント配布の予定。

文 学 部

独語学独文学科

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16101 他	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ（文法、会話、作文、講読、L.L.）	必	1	各1	前期 後期	林 田 雄 二 横 田 忍 D. Herberg 生 野 芳 徳
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

ドイツ語学・独文学専攻の諸君は、ドイツ語をABCから始めて僅か4年ばかりの間に、ドイツ語で行われる文学、言語学、ドイツ事情などの講義を理解し、また議論に参加し、最後には文献を相当自由に駆使して卒業論文を書き上げることができなければならない。このことは一見不可能に見えるかもしれない。しかし、学習者が興味と意欲をもってすれば、外国語修得の速度と効果はいくらでも高めることができ、目標を達成することは不可能ではない。

この1年間に、諸君は以後3年間の専門勉学の基礎工事をするのだが、それができるだけ効率よくなされるために、週5回のドイツ語の授業がある。しかし、この授業はあくまで諸君の自立的勉学を助けるものにすぎない。諸君自信の、授業時間の何倍もの自立的学習が無ければ、授業から十分な効果を引き出すことは不可能である。

週5回の授業は、ドイツ人と日本人の担当者によって、一貫した計画の下で行われる。

その目標とする点は、

- (1)教材に含まれる話し言葉と書き言葉を、まず具体的な能力として獲得することを通じて、日常レベルのドイツ語の構造と基礎的文法体系を把握すること。
- (2)ドイツ人によって話されるドイツ語を、正しく聞き取り、その意味を理解し、その対してドイツ語で反応する能力を身につける。
- (3)正しい発音とイントネーションで、想定された日常的状況での会話能力を得ること。
- (4)話し言葉、書き言葉のいずれにおいても、音声と文字として正しく書く能力を得ること（ディクレーション能力）。
- (5)教材の中で提供される文や言い回しを、それに対応する日本語の文、言い回しに、できるだけ厳密に対応させる能力を得ること。
- (6)提供された文を、語の入れ換え、構造変換等によって、言い替え、拡大、応用する能力を養うこと。
- (7)様々なドイツ語テキストの基礎的読解力を養う。

以上の目的を達成するためには、授業の予習復習は言うに及ばず、それを越えた自立的な学習が必要不可欠である。年間目標を考えた場合、授業への規則的かつ積極的な参加は、目標達成のための必要最低限の条件となる。

Wir wünschen Ihnen viel Erfolg !

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16101 16105	ドイツ語（講読）Ⅰ・Ⅱ	必	1	各1	前期 後期	横 田 忍
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 初級文法の進捗に合わせたグリム童話の抜粋をテキストにしたものを読む。有名な歌やドイツ語圏のさまざまな情報もプリントやビデオを使って紹介する。

【評価方法】 出席、試験などの総合評価

【テキスト】 『グリムで学ぶドイツ語』

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16111 16115	ドイツ語（作文）Ⅰ（A）・Ⅱ（A）	必	2	各1	前期 後期	D. Herberg
他の科目 との関連	ドイツ語（視聴覚）Ⅰ（A）・Ⅱ（A）と一貫授業。			他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 Weiterführung der Konversations- und Kompositions-Übungen aus dem 1. Studienjahr Kombiniert (zusammenhängender Lehrstoff) mit 16171 bzw. 16175 (siehe dort)

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16112 16116	ドイツ語（作文）Ⅰ（Ｂ）・Ⅱ（Ｂ）	必	2	各1	前期 後期	W. A. Steitz
他の科目 との関連	ドイツ語（視聴覚）Ⅰ（Ｂ）・Ⅱ（Ｂ）と一貫授業。			他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 Weiterführung der Konversations-und Kompositionsübungen für Deutsch aus dem ersten Studienjahr.
Ausbildung aller Sprachfähigkeiten (Lesen, Schreiben, Hörverstehen und Sprechen) mit Schwerpunkt auf kommunikativen Übungen.

【講義計画】 Fortsetzung des im ersten Studienjahr begonnenen Lehrstoffs.
Diese Lehrveranstaltung bildet mit der Lehrveranstaltung 16172 bzw. 16176 (audiolingual/audiovisuell) einen zusammenhängenden Kurs.

【評価方法】 Schriftliche Zwischenprüfungen und Semesterabschlußprüfungen.

【テキスト】 Themen neu. Lehrwerk für Deutsch als Fremdsprache. Kursbuch 2 , Arbeitsbuch 2 und Hörkassetten 2 . Ismaning:
Max Huber Verlag 1993 .

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16121	ドイツ文化概論Ⅰ	必	1	1	前期	林 田 雄 二
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 将来、ドイツ、ドイツ文化について専門的に研究するための基礎的な情報を与えるのが講義の目的です。

取り扱われる内容は、

1 図書館の利用法（図書館案内）に始まり、

2 風土

3 生活

4 政治

5 社会

5－1 教育

5－2 労働

5－3 環境問題

5－4 社会問題

5－4－1 ネオナチ

5－4－2 外国人問題

5－4－3 犯罪

5－5 女性解放

ビデオ、新聞、雑誌の記事、映画などを使っておこないます。

必要に応じて、受講者に口頭発表を課します。

（歴史、経済に関しては、後期の授業で詳しく取り扱われます）

【評価方法】 出席と受講態度を重視します。

発表。

学期末テスト。

【テキスト】 レポート

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16125	ドイツ文化概論Ⅱ	必	1	1	後期	R. Szimpl
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【講義内容】 本講義では、ドイツの文化を歴史的に考察していく。ドイツ史の流れの中のドイツ文化の発展を考えながら、各時代の文化を考察していく。主なテーマとしては、中世の文化、宗教改革と文化、啓蒙思想時代の文化、19世紀の文化、大衆文化の成立、ワイマル文化、ナチスと文化、戦後の文化などを取り上げて、ドイツ文化についての理解を深めていく。

【講義計画】 講義では、次の順序で、ドイツ文化を考察していく。
 ①序文として、ドイツ史の大きな流れの中のドイツ文化の発展を概観してから、
 ②各時代の文化を考える
 ◎中世のドイツ文化
 ◎宗教改革とドイツ文化
 ◎啓蒙時代のドイツ文化
 ◎19世紀のドイツ文化
 ◎ドイツ大衆文化の成立と発展
 ◎ワイマル文化
 ◎ナチスとドイツ文化
 ◎戦後のドイツ文化

【評価方法】 学期中提出一回のレポート・期末の論述式の試験・授業への参加姿勢によって総合的に評価する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16131 16135	中級ドイツ語文法Ⅰ・Ⅱ	必	2	各1	前期 後期	石 井 賢 治
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【講義内容】 まずは練習問題を通してドイツ文法の基礎固めをし、次いで中級以上の段階に属すると思われる文法項目を目指す。

【講義計画】 最初は基礎的文法項目を取り上げ解説し、説明内容を練習問題によって確かなものとしていき、基礎固めが済んだのち中級ないしそれ以上の段階の項目を取り上げる。問題は頻繁に行う。

【評価方法】 定期試験を中心に、小テスト、質疑応答や出席も考慮し総合的に評価する。

【テキスト】 副教材として中島・平尾・朝倉著『必携ドイツ文法まとめ』白水社1996(1985)¥1,500を用意すること(学校内の紀伊国屋書店で購入できます)。
 プリント

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16141	ドイツ語学概論Ⅰ	必	1	1	後期	石 井 賢 治
他の科目との関連	ドイツ語学概論Ⅱ、ドイツ語学基礎演習、独文演習Ⅰ1～Ⅳ1			他学科履修	不可	重複履修 不可

【講義内容】 言語の考察の基本問題や言語を広く理解する上で必要な基本概念をまず下記の項目に関連して紹介していこうと思います。

【講義計画】 「言語」とは何か?／コミュニケーションとは何か?・／人のコミュニケーション／言葉によるコミュニケーションと言葉によらないコミュニケーション／社会的な慣習／話し言葉と書き言葉／ドイツ語の歴史／ドイツ語の分類／語とは何か?／言語記号／語場／語親族／意味素性／メタファー／文法とは何か?

／何のために文法知識が必要なのか？といった項目を取り上げ解説していきます。

【評価方法】 定期試験を中心に、小テスト、質疑応答や出席も考慮し総合的に評価します。

【テキスト】 必要になればプリントを配付

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16145	ドイツ語学概論Ⅱ	必	2	1	前期	石 井 賢 治
他の科目との関連	ドイツ語学概論Ⅰ、ドイツ語学基礎演習、独文演習Ⅰ～ⅣⅠ			他学科履修	不可	重複履修 不可

【講義内容】 この授業のねらいは、まずドイツ語学の下記の領域に関する基礎知識を習得することにあります。

【講義計画】 「発音」、「文字と正書法」の領域を取り上げます。比較的平易なドイツ語で書かれたテキストをもとに、これらの領域における基本概念や考え方を学んでいきます。テキストの重要事項に関してはレポートを課すことがあります。

【評価方法】 定期試験を中心に、発表、質疑応答、出席も考慮し評価します。

【テキスト】 プリント

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16151 16155	中級ドイツ語講読Ⅰ・Ⅱ	必	2	各1	前期 後期	生 野 芳 徳
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【講義内容】 比較的平易な文学作品や評論を精読しながら文法的な知識の補充・拡大とドイツ語の読解力の養成に努める。

【講義計画】 前期は、M.L.Kaschnitz, H.Böll などの Kurzgeschichte を読むことから始める。
後期は、もう少し長い作品を読む予定。

【評価方法】 小テストと期末の筆記試験による。

【テキスト】 前期はプリントで配付の予定

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16161	ドイツ文学概論Ⅰ	必	1	1	前期	生 野 芳 徳
他の科目との関連				他学科履修	不可	重複履修 不可

【講義内容】 この授業は、2年次の「概論」とは異なり、理論については、ごく簡単に触れるだけである。ドイツ文学の史的概観を行った後、小説・詩・演劇の各ジャンルから幾つかの作品を、邦訳で読み、作品解釈の初歩的な実習を行う。（1年前期であるから、原文は、残念ながら、ごく一部の抜粋を見てもらうにとどめる。）

【講義計画】 1. ドイツ文学の史的概観（2回）
2. 作品を読む（8回）
3. 理論（2回）

【評価方法】 レポートによる。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16165	ドイツ文学概論Ⅱ	必	2	1	後期	生 野 芳 徳
他の科目との関連	ドイツ文学基礎演習			他学科履修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 ドイツ文学研究法入門

【講義内容】 ドイツ文学研究のための不可欠の基礎知識を伝達することによって、学生諸君の方法論的意識を高め、自立的な研究能力の基礎作りをすることがこの講義の目的である。「ドイツ文学基礎演習」では、作品を読み解く具体的な作業に重点が置かれるが、ここでは理論的な概観を行い、文学作品のテキストの特性と、個々の作品の特徴を記述するための基礎的な概念について学ぶ。
ただし、作品のテキストを読まないでは具体的な理解が成立しないので、基礎演習と並んでかなりの量の原文を読みこなしていかなばならない。ドイツ語を始めて2年目であるから、ドイツ語の読解力の訓練の意味も当然ながらもつ。

【講義計画】 (1)小説を分析・解釈するための基礎知識（語りの形式、語りの状況、視点、登場人物の内面描写の方法など）
(2)韻律論に修辭学のごく初歩的知識
(3)演劇作品の構造についての初歩知識

【評価方法】 レポート及び授業での積極的参加度による

【テキスト】 プリント配布

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16171 16175	ドイツ語（視聴覚）Ⅰ（A）・Ⅱ（A）	必	2	各1	前期 後期	D. Herberg
他の科目との関連	ドイツ語（作文）Ⅰ（A）・Ⅱ（A）と一貫授業。			他学科履修	不可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 Weiterführung der Konversations- und Kompositionsübungen aus dem ersten Studienjahr für Deutsch.
Ausbildung aller Sprachfähigkeiten (Lesen, Schreiben, Hörverstehen und Sprechen) mit Schwerpunkt auf kommunikativen Übungen.

【講義計画】 Fortsetzung des im 1. Studienjahr begonnenen Lehrstoffs.
Diese Lehrveranstaltung bildet mit der Lehrveranstaltung 16111 bzw. 16115 D (Aufsatz) einen zusammenhängenden Kurs.

【評価方法】 Schriftliche Zwischenprüfungen und Semesterabschlußprüfung.

【テキスト】 Themen neu. Lehrwerk für Deutsch als Fremdsprache 2. Kursbuch, Arbeitsbuch und Hörkassetten. Ismaning: Max Hueber Verlag 1995.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16172 16176	ドイツ語（視聴覚）Ⅰ（B）・Ⅱ（B）	必	2	各1	前期 後期	W. A. Steitz
他の科目との関連	ドイツ語（作文）Ⅰ（B）・Ⅱ（B）と一貫授業。			他学科履修	不可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 Weiterführung der Konversations- und Kompositionsübungen aus dem ersten Studienjahr für Deutsch.
Ausbildung aller Sprachfähigkeiten (Lesen, Schreiben, Hörverstehen und Sprechen) mit Schwerpunkt auf kommunikativen Übungen.

【講義計画】 Fortsetzung des im ersten Studienjahr begonnenen Lehrstoffs.

Diese Lehrveranstaltung bildet mit der Lehrveranstaltung 16112 bzw. 16116 (Aufsatz) einen zusammenhängenden Kurs.

【評価方法】 Schriftliche Zwischenprüfungen und Semesterabschlußprüfungen.

【テキスト】 Themen neu. Lehrwerk für Deutsch als Fremdsprache. Kursbuch 2, Arbeitsbuch 2 und Hörkassetten 2. Ismaning: Max Huber Verlag 1993.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16181	ドイツ文学基礎演習	選・必	2	2	前期	横 田 忍
他の科目との関連	ドイツ文学概論Ⅰ・Ⅱ			他学科履修	不可	重複履修 不可

【副 題】 ドイツ文学研究入門

【講義内容】 文学の基礎知識獲得及び3, 4年次文学演習のための研究法入門。常識程度の文学理論と作品解釈。

【講義計画】 1) 文学研究法: グリムのメルヘンを使って様々な研究法を紹介する。
2) 文学のジャンルと作品の分析・解釈: 小説・ドラマ・詩の各ジャンルから有名な作品を選んで分析、解釈する。

【評価方法】 筆答試験および授業参加貢献度による。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16185 16186	ドイツ語学基礎演習	選・必	2	各2	前期 後期	石 井 賢 治
他の科目との関連	ドイツ語学概論Ⅰ・Ⅱ、独文演習Ⅰ1～Ⅳ1			他学科履修	不可	重複履修 不可

【講義内容】 ドイツ語学概論Ⅰのと主として「語史」、Ⅱの「発音と表記」、独文演習Ⅰ1～Ⅳ1の「文章論」と関連してここでは「詞論」(Wortlehre)を取り上げます。

【講義計画】 この授業の主役は受講生のみなさんです。テキストはこちらでこのテーマに添った読みやすいものを用意し、順次担当してもらいます。事項に即した練習問題も必要に応じて課します。予め当てられた人は担当部分について、一年次に習得した知識を生かし内容をよく理解しておいて、担当時間に解説して質問を受けます。他の受講生もきちんと勉強してきて質問するなど授業に積極的に加わってください。

【評価方法】 定期試験を中心に、発表、質疑応答、出席も考慮し評価します。

【テキスト】 プリント

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16187	ドイツ文化基礎演習	選・必	2	2	後期	R. Szimpl
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 不可

【講義内容】 ドイツ文化、特にドイツ史の基礎知識獲得、そして3・4年次のドイツ文化演習のための研究法入門として、近代ドイツ史の基本問題の概観とドイツ文化研究の基本資料の紹介を通してドイツ文化についての理解を深めていく。そして、3・4年次の演習の準備として、口頭発表やレポート作成などの練習をする。

【講義計画】 本基礎演習では、下記の項目のもと、ドイツ文化を研究していく。

- ①近代ドイツ史が抱えている基本問題の概観
- ②ドイツ文化研究の基本資料の紹介
- ③研究方法の練習
- ④口頭発表の練習

参加者が受け身的に講義を聞くだけでなく、口頭発表とレポート作成の練習によって、積極的な参加をすることも期待する。

【評価方法】 演習時間内の参加姿勢、発表資料、発表内容、レポートから、総合的に評価する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16191 16195	中級ドイツ語作文Ⅰ・Ⅱ	必	2	各1	前期 後期	林 田 雄 二
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 一年次で習得した基礎的な文法知識を深化、拡大し、それを様々の状況の中で具体的に使用できる能力をつける。

【講義計画】 前期は1年次で習得した文法事項を確認しつつ、様々の文を作っていく。
後期は語彙力をつけることに全力をあげる。

【評価方法】 1 授業への積極的な関与。授業出席は絶対的条件。
2 小テストを重視する。
3 学期末試験は数ある小テストの一部と見なす。

【テキスト】 プリントを配付する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16201 16205	ドイツ文学史A・B	必	2・3	各2	前期 後期	金 子 章
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 作品にできるだけ直接触れる機会をもちながら、歴史のなかでドイツ文学の流れを追ってみる。

【講義計画】 1. 近代以前の文学
2. ゲーテ時代の文学
3. ロマン派の文学
4. リアリズムの文学
5. 世紀末の文学と表現主義
6. 亡命文学
7. 第二次世界大戦後の文学

【評価方法】 筆答の定期試験と、授業中の作品鑑賞の報告に基づいて評価する。

【テキスト】 プリントを配付
参考書『増補ドイツ文学案内』（岩波文庫）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16211 16215	上級ドイツ語作文・翻訳Ⅰ（A）・Ⅱ（A）	必	3	各2	前期 後期	D. Herberg
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

- 【講義内容】 Fortgeschrittene Konversations-und Kompositionsübungen
Ausbildung aller Sprachfähigkeiten (Lesen, Schreiben, Hörverstehen und Sprechen) mit Schwerpunkt auf schriftlichen Übungen.
- 【講義計画】 Weiterführung des Sprachunterrichts im 1. und 2. Studienjahr.
- 【評価方法】 Schriftliche Zwischenprüfungen und Abschlußprüfung über den ganzen Lehrstoff.
- 【テキスト】 Themen neu. Lehrwerk für Deutsch als Fremdsprache 2, Kursbuch, Arbeitsbuch, Hörkassetten, Ismaning 1995.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16212 16216	上級ドイツ語作文・翻訳Ⅰ（Ｂ）・Ⅱ（Ｂ）	必	3	各2	前期 後期	W. A. Steitz
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重複 履 修 不可

- 【講義内容】 Fortgeschrittene Konversations-und Kompositionsübungen
Ausbildung aller Sprachfähigkeiten (Lesen, Schreiben, Hörverstehen und Sprechen) mit Schwerpunkt auf schriftlichen Übungen.
- 【講義計画】 Weiterführung des Sprachunterrichts im 1. und 2. Studienjahr.
- 【評価方法】 Schriftliche Zwischenprüfungen und Semesterabschlußprüfung.
- 【テキスト】 Themen neu. Lehrwerk für Deutsch als Fremdsprache. Kursbuch 2, Arbeitsbuch 2 und Hörkassetten 2.
Ismaning: Maz Hueber Verlag 1993.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16221 16225	上級ドイツ語講読Ⅰ（Ａ）・Ⅱ（Ａ）	必	3	各2	前期 後期	金 子 章
他の科目 との関連					他学科 履 修	可 重複 履 修 不可

- 【副 題】 文化とことば
- 【講義内容】 ドイツの言語学者とともに、文化と社会のなかの日本語について考えてみる。われわれがいただいているかもしれない、日本語やドイツ語に対する誤解や偏見を解く手がかりにしたい。それに併行してドイツ語を読む練習を大に行いたい。
- 【評価方法】 筆答の定期試験と、授業中に担当する訳読に基づいて評価する。
- 【テキスト】 クルマス／新田：外から見た日本語（朝日出版社）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16251 16261 16271 16281	独文演習Ⅰ 1・Ⅱ 1・Ⅲ 1・Ⅳ 1	必	3・4	各2	前期 後期	石 井 賢 治
他の科目 との関連	ドイツ語学概論Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語学基礎演習				他学科 履 修	不可 重複 履 修 不可

- 【講義内容】 ドイツ語学概論Ⅰの語史などとドイツ語学概論Ⅱの発音と表記（Aussprache.Schreibung）、ドイツ語学基礎演習の詞論（Wortlehre）と関連して、ここではドイツ文章論（Satzlehre）を取り上げます。今まで習って

きた文法規則の枠に納まらない言語現象にも目を向けてみましょう。従って原則的な規則はしっかり頭に入れておいてください。

【講義計画】 授業の主役はゼミ生のみなさんです。テキストを用いて毎時ゼミ生に順番に担当してもらい、内容の解説をしてもらいます。重要な用語などはしっかり調べてきてください。また例外なども取り上げてみんんで考えてみましょう。発表担当者はあらかじめ資料をゼミ担当者に見せてください。夏休み明けからは4年生の卒論の中間発表を予定していますが、3年生にも任意のテーマで発表してもらいます。

【評価方法】 定期試験を中心に、発表、質疑応答、出席も考慮し評価します。

【テキスト】 プリント

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16252 16262 16272 16282	独文演習Ⅰ 2・Ⅱ 2・Ⅲ 2・Ⅳ 2	必	3・4	各2	前期 後期	金子 章
他の科目 との関連					他学科 履 修 不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 文学と日常のなかのジェンダー

【講義内容】 現代ドイツの、メディアにおける性差別表現、子供の育て方に対する意識、婦人の参政権、女性の教育水準など、身近なテーマでジェンダーを考える。
その一方で、19世紀後半に成立するドイツの近代家族における男女（夫と妻と子供）の役割を、抒情詩を通して読む。

【評価方法】 筆答の定期試験の結果と、授業中のレポートに基づいて評価する。

【テキスト】 リヒター／小川：ジェンダーを考える。（朝日出版社）
プリントを配布

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16253 16263 16273 16283	独文演習Ⅰ 3・Ⅱ 3・Ⅲ 3・Ⅳ 3	必	3・4	各2	前期 後期	R. Szimpl
他の科目 との関連					他学科 履 修 不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 日独交流史の研究

【講義内容】 本演習日本とドイツとの交流の歴史を研究対象とする。日独関係の歴史は実に長く、とくに明治時代に交流が盛んであったが、この日独関係の中には、経済的・社会的な交流ばかりではなく、文化的・人物的な交流もあった。演習では、参加者が研究テーマを選択し、資料を集めて研究し、口頭発表、質疑応答、レポート作成などを通して、ドイツと日本との関係の歴史についての理解を深めていく。

【講義計画】 本演習では、下記の項目のもと、日独交流史を研究していく。

- ①日独交流史の概観
- ②研究テーマの選択
- ③研究方法の説明
- ④口頭発表（質疑応答を含む）
- ⑤レポート提出

参加者が自分の研究分野だけでなく、皆のテーマに関心を持ち、幅の広い知識と理解を深めるために、発表の質疑応答への積極的な参加を期待する。

【評価方法】 演習時間内の参加姿勢、発表資料、発表内容、レポートから、総合的に評価する。

【テキスト】 テキストや参考文献については、講義中に指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16254 16274 16264 16284	独文演習Ⅰ 4・Ⅱ 4・Ⅲ 4・Ⅳ 4	必	3・4	各2	前期 後期	生 野 芳 徳
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 物語散文の分析と解釈

【講義内容】 私の守備範囲は、1830年以降の小説であるので、卒業論文の対象作品としても、その範囲のものを選ぶ予定の人を歓迎する。

小説をそのテキストに即して、できるだけ精密に分析し、言語化された明示的な作品の層（表層構造）をまず、十全に理解して後、作品の作者における内的な成立や作者の志向性に係る層（深層構造）をも明らかにしてゆくことが、本演習の目的である。

まず一人の読者として想像力を総動員して作品と向かい合うことが何より大事です。

具体的な方法としては、同一素材による異なる作品テキストや、間テキスト性（Intertextuality）も手がかりとなります。またStanzelやPetersenの物語理論も基礎となり、登場人物の発話の諸形態（Personenrede）などの極めて具体的な叙述方法の検当も手がかりとなります。

【講義計画】 共通テキスト：A.Stifter:Granit,

前期：1. 導入作品として H.v.Hofmannsthal:Das Erlebnis des Marschalls von Bassonpierre
H.Böll:Wanderer, kommst du nach Spa...

2. 参加者の希望による日本語小説（できるだけ一人称小説を）

3. A.Stifter: Granit

後期：1. 4年次の参加者が卒業論文で扱う作品についての発表を主として行います。

2. H.Carossa:Eine Kindheit

【評価方法】 各Seminarsitzungにおける積極的参加度（質問、意見）とReferatおよび単位の無い授業での貢献度によって行う。

【テキスト】 プリント配布

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16255 16265 16275 16285	独文演習Ⅰ 5・Ⅱ 5・Ⅲ 5・Ⅳ 5	必	3・4	各2	前期 後期	横 田 忍
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 グリムのメルヘンとドイツ文化

【講義内容】 「ヘンゼルとグレーテル」や「白雪姫」などのメルヘンを読みながら、そこに表現されている庶民の生活、ゲルマンの民俗、キリスト教文化などを読み解く。

【講義計画】

- 1) 蛙の王様
- 2) 狼と7匹の子山羊
- 3) ヘンゼルとグレーテル
- 4) いばら姫
- 5) 白雪姫

6) その他、学生希望作品

【評価方法】 出席、発表、レポートなどの総合評価

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16256 16266 16276 16286	独文演習Ⅰ 6・Ⅱ 6・Ⅲ 6・Ⅳ 6	必	3・4	各2	前期 後期	W. A. Steitz
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 Das politische System der Bundesrepublik Deutschland.
Einführung in Grundfragen zur Struktur eines demokratischen Systems.
1 .Verfassung und die Verfassungsorgane.
1 .1 .Grundgesetz
1 .2 .Verfassungsorgane
2 .Föderalismus und Selbstverwaltung
2 .1 .Bundesländer, Bundesrat
2 .2 .Kommunale Selbstverwaltung
3 .Parteien und Wahlen
3 .1 .Funktion der Parteien
3 .2 .Wahlrecht
4 .Rechtsordnung

【講義計画】 Für Studenten ab 5 . Semester bzw. 3 . Studienjahr und für Examenskandidaten/Diplomanden.

【評価方法】 Referat(Report)

【テキスト】 Tatsachen über Deutschland. Frankfurt: Societäts-Verlag 1998 .
ドイツの実情。フランクフルト:ソシエター出版 1998
Textvorlagen des Seminarleiters

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16257 16267 16277 16287	独文演習Ⅰ 7・Ⅱ 7・Ⅲ 7・Ⅳ 7	必	3・4	各2	前期 後期	D. Herberg
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 Geschichte des deutschen Films von den Anfängen bis zur Gegenwart.

【講義計画】 Technische und künstlerische Entwicklung des Films seit Beginn des 20. Jahrhunderts, Stilanalyse der Epochen anhand einzelner Filmbeispiele

【講義計画】 Einführungsvortrag
Kursteilnehmer sollen an Hand von Filmszenen und Texten einzelne Themen zur Filmgeschichte bearbeiten.

【評価方法】 Schriftliche Seminararbeit

【テキスト】 Texte zur Filmgeschichte aus verschiedenen Werken.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16258 16268 16278 16288	独文演習Ⅰ 8・Ⅱ 8・Ⅲ 8・Ⅳ 8	必	3・4	各2	前期 後期	林 田 雄 二
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 18世紀のドイツ演劇

- 【講義計画】
1. 18世紀のドイツ演劇の歴史的展望
 2. 18世紀のドイツの歴史的、社会的、政治背景
 3. 演劇と社会
 4. 演劇作品解釈法

前期、後期を通じて演劇と社会という点に焦点を合わせていきたい。
講義は、教師中心ではなく、学生の発表を中心に進めてゆきたい。
講義の傍ら、邦訳されているドイツ演劇作品を網羅的に読んでもらう。
毎回、ゼミの最初に、読んだ作品の感想を述べてもらう。

- 【評価方法】 ゼミへの積極的な参加（議論への参加）
ゼミでの口頭発表
レポート

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16631	ドイツ史	選	3・4	2	前期	R. Szimpl
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 ドイツ近代史（18世紀～19世紀のドイツ）

- 【講義内容】 ドイツの近代史は、大変厳しい政治・社会・経済の変化に特長づけられている。また、19世紀の国家統一や勢力拡大、帝国主義はヨーロッパの歴史だけでなく、世界の歴史にも大きな影響をおよぼしたものである。

講義では18世紀からドイツ帝国時代までのドイツの歩みをたどる。それぞれの時代の主な動きに焦点を合わせ、近代ドイツ社会の成立を考察していく。主なテーマとしては、ナショナリズムと統一の問題、自由主義と民主主義の発展、ドイツ帝国の成立とその政治的・社会的構造、国際関係などを取り上げて、近代ドイツ社会の歴史の流れについて理解を深めていく。

- 【講義計画】 講義では、次の順で、18世紀からドイツ帝国時代までのドイツ史の主な動きを考える。

- ①神聖ローマ帝国の構造、国境と民族の問題
- ②プロイセンの興隆
- ③フランス革命、ナポレオン帝国の影響
- ④Vormärz（3月革命前期）の政治、社会、経済
- ⑤1848年3月の革命
- ⑥ドイツの統一、ドイツ帝国の成立
- ⑦ドイツ帝国時代の経済、政治、社会
- ⑧ドイツ帝国時代の国際関係（ビスマルク体制・Weltpolitik〔世界政策〕）
- ⑨第一次世界大戦とドイツ帝国の崩壊

- 【評価方法】 学期中提出一回のレポート・期末試験・授業への参加姿勢によって総合的に評価する。

- 【テキスト】 木谷勤、望田幸男著『ドイツ近代史』ミネルヴァ書房

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16632	ドイツ史	選	3・4	2	後期	R. Szimpl
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 可

【副 題】 ドイツ近代史（20世紀のドイツ）

【講義内容】 ドイツの近代史は、大変厳しい政治・社会・経済の変化に特長づけられている。特に、20世紀のナチス党の独裁政治と国際政策、第2次世界大戦、敗戦後の分割を通して、ヨーロッパの歴史だけでなく、世界の歴史にも大きな影響を及ぼしたものである。

講義では、ワイマル時代から東西統一までのドイツの歩みをたどる。それぞれの時代の特長に焦点を合わせて、近代ドイツの成立を考察していく。主なテーマとしては、ワイマル共和国時代、ナチス独裁時代、第2次世界大戦後のドイツ、などを取り上げて、近代・現代ドイツ社会の歴史についての理解を深めていく。

【講義計画】 講義では、次の順序で、ワイマル時代から東西統一までのドイツ史の主な動きを考える。

- ①ドイツ帝国の崩壊、ワイマル共和国の成立
- ②ワイマル共和国の政治・経済体制
- ③ワイマル共和国の社会
- ④ワイマル共和国の崩壊とナチス党の権力掌握
- ⑤ナチスドイツの経済
- ⑥ナチスドイツの社会、反ナチス運動、ユダヤ人の虐殺
- ⑦ナチスドイツ外交政策と第2次世界大戦
- ⑧敗戦、占領下のドイツ、ドイツの分割
- ⑨東西両ドイツの歩み、ドイツ統一

【評価方法】 学期中提出一回のレポート・期末試験・授業への参加姿勢によって総合的に評価する。

【テキスト】 木谷勤、望田幸男著『ドイツ近代史』ミネルヴァ書房

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16635	ドイツ思想	選	3・4	2	前期	立 松 弘 孝
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 可

哲学科開講科目11621「哲学特殊講義CⅠ」を参照。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16636	ドイツ思想	選	3・4	2	後期	立 松 弘 孝
他の科目との関連	Ⅱの履修にはⅠの履修が前提とされる。			他学科履修	可	重複履修 可

哲学科開講科目11625「哲学特殊講義CⅡ」を参照。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16641 16642	ドイツ文学特殊講義	選	3・4	各2	前期 後期	金 子 章
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 詩と自然

【講義内容】 自然が詩のなかでどんな役割をしているか、どんな意味をもたされているか、考えてみたい。自然詩を読みながら、そこに見られる自然の変形、対自然態度・自然認識の形態、つまり、内部と外部の関係を追ってみる。

【評価方法】 筆答の定期試験の結果と、授業中のレポートの基づいて評価する。

【テキスト】 プリントを配布。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16643	ドイツ文学特殊講義	選	3・4	2	前期	横 田 忍
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 バラード「水の精」

【講義内容】 「ローレライ」や「ウンディーネ」とは違って、男性の水の精が登場し、そこへ嫁入りした人間の女性の悲劇が歌われている。
様々なヴァリエーションを比較検討し、民俗学的考察も加えたい。

【講義計画】 Erk-Böhme編纂の『Deutscher Liederhort』を使って読み進む。

- 1) ドイツ語テキストの読解
- 2) 学生による報告（ローレライ、ウンディーネ、人魚姫など）

【評価方法】 講義への参加度、レポートなどの総合評価。

【テキスト】 プリント配布

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16644	ドイツ文学特殊講義	選	3・4	2	後期	横 田 忍
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 子殺しのドイツ文学——ドラマ——

【講義内容】 ドイツ文学には子殺しを扱った一連の作品がある。ファウストのグレートヒェン悲劇をはじめシュトルム・ウント・ドラングの時代は特にその傾向が強い。この時代の特殊な社会背景と結びついた様々な子殺し文学の中から特にドラマに焦点を当てて考察し、更に19、20世紀にも書き続けられるドラマ作品を読み解きたい。

【講義計画】

- 1) ゲーテ：ファウスト
- 2) ヴァーグナー：子殺しの女
- 3) ヘッベル：マリア・マグダレーネ
- 4) ハウプトマン：ローゼ・ベルント
- 5) ハックス：子殺しの女

【評価方法】 出席、レポートなど総合評価

【テキスト】 プリント配布

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16645	ドイツ文学特殊講義	選	3・4	2	集中	林 捷
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 文学における象徴と形象—カフカを例として—

【講義内容】 思想や理念がただ理論的に表明された文学は、意外にはやく精彩をなくしていく。時の流れに強靱に抗していける文学は、思想や理念がしばしば深いイメージ（象徴や形象）で語られている。イメージが読者に共有されることより、思想や理念がたんなる理論としてではなく、生きて熱をもった実質として、いわば体で感じとられるのであろう。象徴や形象に委託されるイメージとは、そんな生氣や熱気を伝達する重要な機能を持ち、文学を文学たらしめている最も重要なファクターといえよう。この講義では、ユングやバシュアールの想像力論を援用しつつ、カフカを例として、文学における象徴と形象の意味するところを考察する。

【評価方法】 出席およびレポートの総合評価

【テキスト】 おもにカフカの短編を扱うので、予めそれらを読んでおくことが望ましい。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16651 16652	ドイツ文化特殊講義	選	3・4	各2	前期 後期	W. A. Steitz
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【講義内容】 Grundlinien der deutschen Geschichte im 19. und 20. Jahrhundert

1. Nationalstaat und Industrialisierung
 - 1.1. Industrialisierung
 - 1.2. Reichseinigung-das Kaiserreich bis 1918
2. Die Weimarer Republik
3. Der Nationalsozialismus
4. Der verlorene Krieg und die deutsche Teilung
 - 4.1. Währungsunion und die Gründung der Bundesrepublik
 - 4.2. Die DDR
 - 4.3. Westintegration der BRD
 - 4.4. Europäische Union
 - 4.5. Die deutsche Wiedervereinigung

【講義計画】 Für Studenten ab 5. Semester bzw. 3. Studienjahr, Examenkandidaten/Diplomanden

【評価方法】 Referat (Report)

【テキスト】 Tatsachen über Deutschland. Frankfurt: Societäts-Verlag 1998.
ドイツの実情。フランクフルト：ソシエター出版 1998
Textvorlagen des Seminarleiters

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16653 16654	ドイツ文化特殊講義	選	3・4	各2	前期 後期	野 田 宣 雄
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 ドイツ政治史概説

【講義内容】 ドイツの成立から現代に至るまでのドイツ政治史を社会史や文化史の領域も視野に入れつつ、時代の許す範囲で出来るだけ詳細に論述する。ドイツ政治史をヨーロッパあるいは世界の歴史の大きな脈絡の中で捉えることに努力する。

【講義計画】

1. ドイツ史の始まり
2. 中世のドイツ
3. 宗教改革の時代
4. 領邦絶対主義と普墮二元主義
5. フランス革命とドイツ
6. ドイツ連邦からドイツ帝国へ
7. 第二帝政期のドイツ
8. ワイマル時代のドイツ
9. ナチス時代のドイツ
10. 第二次世界大戦後のドイツ

【評価方法】 定期試験の結果に出席のチェックを加味して行う。

【テキスト】 特に一冊のテキストを指定せず、講義の過程で参考書を紹介する

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16661 16662	ドイツ語学特殊講義	選	3・4	各2	前期 後期	石 井 賢 治
他の科目 との関連	独文演習Ⅰ 1・Ⅱ 1・Ⅲ 1・Ⅳ 1			他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【講義内容】 形態論

【講義計画】 形態素レベルの分析（Ⅰ）と記述（Ⅱ）の順に取り上げます。ドイツ語および日本語のテキストを用いて形態素について学ぶことにする。練習問題もやります。

【評価方法】 定期試験を中心に、小テスト、質疑応答や出席も考慮し総合的に評価する。

【テキスト】 プリント

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16691 16695	商業ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	選	3・4	各2	前期 後期	W. A. Steitz
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【講義内容】 Einführung in die deutsche Wirtschaftssprache.

【講義計画】 Für Studenten ab 5. Semester bzw. 3. Studienjahr

【評価方法】 Referat (Report)

【テキスト】 Dominique Macaire / Gerd Nicolas: Wirtschaftsdeutsch für Anfänger.

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16701	ドイツ事情	選	3・4	2	前期	R. Szippel
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 可

【副 題】 第2次世界大戦のドイツの歩み

【講義内容】 現代ドイツは50年前の敗戦の時から、変化の激しい道を歩んできた。現代ドイツを理解するために、戦後のドイツの歩みを考えていきたい。主なテーマとして、敗戦後の分割、2つの異なった政治・社会・経済体制の成立、「冷戦」中のドイツの国際的位置付け、東西ドイツの関係、東西ドイツの統一などを取り上げる。

【講義計画】 講義では、現代ドイツ事情の背景として、次の順序で第2次世界大戦後のドイツを考察する。

- ①第2次世界大戦の敗北とその直後のドイツ
- ②戦勝国の占領政策と利害衝突
- ③ドイツの分割
- ④東西両ドイツ国家の成立
- ⑤ドイツ連邦共和国の社会・政治・経済
- ⑥ドイツ民主共和国の社会・政治・経済
- ⑦「冷戦」中の東西ドイツの国際的位置付け、東西ドイツ間の関係
- ⑧1989年の革命
- ⑨東西ドイツの統一

【評価方法】 学期中提出一回のレポート・期末の論述式の試験・授業への参加姿勢によって総合的に評価する。

【テキスト】 参考書：ヴェルナー・マーザー著『現代ドイツ史入門』講談社現代新書

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16702	ドイツ事情	選	3・4	2	後期	R. Szippel
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 可

【副 題】 現代ドイツ事情

【講義内容】 本講義では、ドイツの政治・経済・社会の現状を考察して行く。敗戦の歴史を共にする日本との比較も参考にして、現代ドイツ社会の発展を考えながら、近年の東西統一を巡るいくつかの問題を考える。主なテーマとして、東西ドイツ統一後の政治的、経済的、社会的統合、統一ドイツの国際関係などを取り上げて、現代ドイツについての理解を深めていく。

【講義計画】 講義では、次の順序で、現代のドイツ事情を考察していく。

- ①ドイツの地理上の状況、ドイツ連邦州の特色
- ②ドイツの基本法と政治体制
- ③ドイツの経済体制
- ④ドイツの社会構造
- ⑤ドイツの国際関係、ドイツとヨーロッパ
- ⑥東西ドイツ統一の問題

【評価方法】 学期中提出一回のレポート・期末の論述式の試験・授業への参加姿勢によって総合的に評価する。

【テキスト】 『ドイツの実情』ソシエテーツ出版

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16711 16715	ドイツ語演劇研究Ⅰ・Ⅱ	選	1～4	各2	前期 後期	D. Herberg
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【講義内容】 Lesen, Interpretieren und Aufführen eines Dramas.

【講義計画】 Auswahl des Stücks, Kürzung des Texts, Verteilung der Rollen, Erklärung und Interpretation der Texts, dann Einübung der Rollen.
Teilnahme auch außerhalb des regulären Unterrichts ist notwendig.

【評価方法】 Mündliche Prüfung.

【テキスト】 Drama, nach Absprache mit den Teilnehmern.

【講義内容】 演劇作品を、読み、解釈し、上演する。

【講義計画】 作品の選定、台本の編集、役の配分、台本の解釈の説明に基いて、役の練習にはいる。
通常の授業時間外の参加も必要となる。夏期集中は、夏休み中の合宿で行う。

【評価方法】 口答試験

【テキスト】 参加者と相談して決める。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
16721 16722	ドイツ語新聞講読	選	3・4	各2	前期 後期	林 田 雄 二
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【講義内容】 科目名は新聞講読とあるが、新聞記事に限らず、文学テキスト以外の様々の種類のテキストを読みたい。新聞、雑誌の記事を読む場合、文化的、政治的、社会的背景の知識が不可欠になるが、それは講義である程度説明する。しかし、受講生も特にこの一年、日本で報道されるドイツニュースに鋭敏になり、様々な情報を集めてほしい。可能であれば、ZDFニュース、Deutsche Welle（ドイツ短波ラジオ放送）なども聴いてほしい。ドイツの最新情報の収集にはINTERNETもふるに活用する。

【講義計画】 1. 新聞（“Die Frankfurter Allgemeine”, “Die Zeit”, 地方新聞）
2. 雑誌（“Die Spiegel”, “Focus”, “Die Stern” u.s.w.）
3. 自然科学、心理学、社会学などのテキスト
4. その他

【評価方法】 講義への積極的な参加を主に評価します。ただドイツ語テキストを訳せるだけでなく、その社会的、政治的、文化的背景の理解が、この講義の主な評価基準になる。

【テキスト】 プリントを配付します。
参考図書としては、伊藤光彦：現代ドイツを新聞で読む。 白水社 1992

文 学 部

国語学国文学科

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17101 17105	国語学概論Ⅰ・Ⅱ	必	1	各2	前期 後期	丸 山 徹
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 観念としての「ひとつの統一、日本語」を表すものとして明治の人々がまず選んだ表現、それは「日本語」ではなく「国語」であった。それにはそれなりの非言語的文脈があったといえる。本講義では、この「国語」ということばにこだわりながら、「国語学」「日本語学」「言語学」三者の関係について考える。

次に、現代日本語の音声・音韻論、日本語音韻史、現代日本語文法、日本語文法史を共に学ぶ。

- 【講義計画】
1. 「国語」ということばと「国語学」
 2. 現代日本語文法
 - ①「文法」とは何か
 - ②文法の単位
 - ③形態論・統語論
 - ④現代日本語形態論
 - ⑤現代日本語統語論
 - ⑥（術語の有する）文法カテゴリー
 - a. ヴォイス
 - b. アスペクト
 - c. テンス
 - d. モダリティ
 - e. 文法カテゴリーの層状構造
 3. 現代語の音声・音韻論
 4. 日本語音韻史
 - ①「上代特殊仮名遣い」
 - ②「五十音図」と「いろはうた」
 - ③母音・子音の変遷
 - ④「清濁」「音便」「オ段長音の開合」
 - ⑤アクセントの変遷
 5. 古代語の姿と日本語の歴史的変遷
 - ①音の変遷
 - ②形態論
 - a. 動詞活用成立と変遷
 - b. 連体格と連用格
 - c. ヴォイス、アスペクト、テンス、モダリティ
 - ③統語論
 - a. 係結び
 - b. とりたて
 - c. 接続

【評価方法】 平常点と学期末試験の成績による。出席も重視し、「欠席過多」は不合格（S）とする。

【テキスト】 『日本語要説』（ひつじ書房）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17111 17115	国文学概論Ⅰ・Ⅱ	必	1	各2	前期 後期	助 川 徳 晃
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 構造主義について、概説し、近代文学研究の方法について、夏目漱石の文学を例にして説明する。

【講義計画】 4月～7月 構造主義について説明する。
9月「坊ちゃん」
10月「三四郎」
11月「こころ」

12月「道草」

【評価方法】 平常点とペーパー・テスト。「欠席過多」を適用する。

【テキスト】 「坊ちゃん」「三四郎」「こころ」「道草」いずれも新潮文庫。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17121 17125	漢文AⅠ・AⅡ	必	1	各2	前期 後期	原 田 直 枝
他の科目 との関連	漢文AⅠは漢文AⅡ履修のための前提科目。			他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

【副 題】 漢文入門

【講義内容】 日本人にとって漢文との付き合いの歴史は古い。当初は、近代以降の日本における各国語文同様に、一つの外国語（＝中国語）文であった「漢文」を、原音によらず日本語音によって読みこなしてしまう、という稀有な読解・翻訳技術である訓読法。その便利さや奥深さについて、さまざまな角度から漢文文献に接する経験を通じて再確認を促すことをめざす。むろん、その一環として漢文学史・中国古典文学の基礎事項についても講じる予定である。

【講義計画】 AⅠ・AⅡともに、講義前後の自習を前提とし、かつ期待する。AⅠにおいては、中国語原文に訓点をほどこすことの意義からはじめ、比較的短い例文をできるだけ多量に活用して、訓読の法則の基礎を習得することに重点を置く。

AⅡにおいては、漢文学史・中国古典文学史の背景を視野に入れつつ、その理解をより深め得るような、まとまった分量と内容を持つ文献の読解を主として進める。

【評価方法】 平常の受講態度及び期末試験の結果による。

【テキスト】 江連隆『漢文語法ハンドブック』（大修館書店）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17131 17135	国文学基礎講読Ⅰ・Ⅱ	必	1	各2	前期 後期	安 田 文 吉
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 国文学研究の入門的事柄について講義するとともに、国文学研究の基礎となる、中古から近世までの写本・版本の読解力を養成するため、変体仮名・くずし字の読み方を訓練する。

【講義計画】 毎回印刷物を配布して、写本・版本を読み進める。また、毎回宿題を課す。

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 「仮名変体集」（新典社）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17141 17145	国文学基礎講読Ⅲ(A)・Ⅳ(A)	必	2	各2	前期 後期	辻 本 裕 成
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

【副 題】 王朝末期物語講読

【講義内容】 まだ現代語訳のついていない王朝末期物語の翻刻本文を講読して、王朝仮名散文読解の訓練と基礎的調

査のやり方の学習を行う。

【講義計画】 毎回、次回に読む箇所とレポーターとを指定しておくので、全出席者はテキストを通読して意味を取っておくこと。(レポーター以外出席者には順不同で当てて、朗読と訳をやってもらう)
レポーターは出典、引歌、その他の考証などをやってもらうこと。(資料を作って発表してもらう)

【評価方法】 試験と、平常点による。平常点は主に発表の内容によるが、レポーターが発表をすっぽかした場合には単位なし。当てられた時に欠席していたり予習していなかったりすると大幅減点。

【テキスト】 前期は兵部卿物語、後期は八重葎を読む予定。テキストについては最初の授業で指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17142 17146	国文学基礎講読Ⅲ(B)・Ⅳ(B)	必	2	各2	前期 後期	美濃部 重克
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

【副 題】 九条兼実の日記『玉葉』を読む

【講義内容】 平安時代の最末期から鎌倉時代の初頭にかけて活躍した九条兼実の日記『玉葉』は漢文で書かれた日記のなかでも、もっとも内容に富む、面白いもののひとつである。記録体の漢文を読む能力は、古典文学を研究する者にとって必須のものと言ってよい。その能力を開発することを目的とする授業である。

【講義計画】 寿永から文治にかけての日記のなかから面白そうなところを選び出し、それを講読する。

【評価方法】 筆記試験による。

【テキスト】 プリント配布。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17152 17162	国文基礎演習Ⅰ(B)・Ⅱ(B)	必	2	各2	前期 後期	丸 山 徹
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 天草版伊曾保物語

【講義内容】 現代語の源としての中世の口語日本語について、天草版伊曾保物語を読みながら、共に考える。
天草版伊曾保物語は、宗教関係を除けば、西洋古典邦訳の最初のものである。口語資料の少ない当世にあって、ポルトガル語綴をもとにしたローマ字表記をもって口語体で書かれた天草版伊曾保物語は、当時の口語日本語の様子を知る上で、極めて貴重な資料であると言える。

【講義計画】 はじめにキリシタン文献の概略と天草版伊曾保物語について簡単に紹介し、発表の仕方の参考となる形を示す。その後一人ずつ担当箇所を決め、各自考察の結果をクラスで発表し、その内容を皆で検討する。
担当者はその発表要旨を一週間前までに全員に配布すること、また、毎回全員の出席が求められる。

【評価方法】 参加者各自の口頭発表の内容、授業中の議論への参加の度合、期末レポート・期末試験の成績による。

【テキスト】 天草版伊曾保物語

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17153 17158 17163 17168	国文基礎演習Ⅰ(C)・Ⅱ(C)	必	2	各2	前期 後期	辻 本 裕 成
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 『風葉和歌集』の研究

【講義内容】 鎌倉時代に大宮院姫子の命で藤原為家によって選ばれた物語和歌集である『風葉和歌集』を、問題のある和歌を抄出して輪読する。『風葉和歌集』は『源氏物語』をはじめとする平安時代の物語や、成立の時代が近い鎌倉時代の物語から和歌を抄出して部立した歌集で、現在散逸している物語の和歌をも多く含んでおり、物語史研究のもっとも重要な資料の一つとされている。

【講義計画】 発表担当者には散逸物語の和歌を一首ずつ担当してもらい、詞書・和歌の解釈、物語の粗筋の復元などをやってもらう。この輪読を通じて、王朝文学を学問の対象として解説するには、どのような基礎的手続きが必要かを学ぶ（輪読分担者がやむをない事情で発表担当日に欠席する場合はなるべく早くに授業担当者に連絡を入れること）。また、輪読の合間にくずし字を読む訓練をも行う。学期当初は授業担当者が講義・発表を行う。

【評価方法】 発表の内容により、平常点を加味する。学期末にテストを行う。

【テキスト】 コピーを配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17154 17164	国文基礎演習Ⅰ(D)・Ⅱ(D)	必	2	各2	前期 後期	美濃部重克
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 『愚管抄』の研究

【講義内容】 承久の乱の前後の時期に天台座主であり歌人でもあった慈円の手になった歴史書が『愚管抄』である。神代のことを省いて神武天皇の事績から筆を起し作者の生きる現代までの歴史をたどる。その書は日本で初めて自らの史観をはっきりと打ち出して纏めあげられた通史であって、しかも内容に即した文体上の工夫も凝らして文学的な興味をもって扱うことのできる面白い作品となっている。『平家物語』との密接な関係が推定されるもので、その面からも精読し十分な解釈が必要とされるものである。

【講義計画】 講義は教科書に岩波の古典大系本を用い、その頭注と補注を手がかりに発表者が自ら資料を収集整理したうえで解釈を加えて、その結果を発表することを中心とする。講義担当者はその際に助言者としてクラスに参加することをたてまえとする。資料の収集とその解釈のしかた、そしてそれを通してどのような問題をたてればよいのかに受講生はちからをそそがねばならない。発表資料は発表の一週間前に受講生に配布され、受講生はそれに十分眼を通したうえでクラスにのぞまねばならない。

【評価方法】 評価は、発表資料と発表内容そして他の発表者の発表時における発言にもとづいて行われる。

【テキスト】 岡見正雄・赤松俊秀校注『愚管抄』（岩波書店刊）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17155 17159 17165 17169	国文基礎演習Ⅰ(E)・Ⅱ(E)	必	2	各2	前期 後期	安 田 文 吉
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 曾我物（前期）・義経物（後期）の研究

【講義内容】 歌舞伎の狂言は、素材によって、筋の骨組や登場人物が決まっているという類型の枠の中で仕組まれた。それが世界である。「曾我物語」「義経記」は歌舞伎の世界の一つである。現在、上演されている曾我物は『助六』『寿曾我対面』『外郎売』『矢の根』『根元草摺引』『夜討ち曾我』、義経物は『義経千本櫻』『船弁慶』などであるが、これらは「曾我物語」「義経記」を始め、謡曲・幸若など先行文芸作品や芸能を取り込んで成立している。この演習では、『助六』『寿曾我対面』（前期）、『義経千本櫻』（後期）を取り上げ、その成立に至る種々の先行作品の検討を含めて、江戸歌舞伎の特色を考え、あわせて近世文学・文化のありようを追及する。

【講義計画】 毎回、2～3人のレポートを指定、その報告をもとに全員で検討する。
「曾我物語」・「義経記」の梗概と研究
謡曲の曾我物・義経物の梗概と研究
幸若（曲舞）の曾我物・義経物の梗概と研究
浄瑠璃の曾我物・義経物の梗概と研究
歌舞伎の曾我物の梗概と研究
『助六』・『吉野山道行』の研究（VTR鑑賞）
『寿曾我対面』・『河連法眼館の段』の研究（VTRの鑑賞）
上記2作品それぞれの構成
歌舞伎特有の衣裳・セリフ廻し・隅取り・下座音楽・大道具・小道具
御園座の四月の歌舞伎興行夜の部の鑑賞と研究（前期）
中日劇場の六月興行「市川猿之助歌舞伎公演」夜の部の鑑賞と研究（前期）
御園座の十月興行「吉例顔見世」夜の部の鑑賞と研究（後期）近世芸能文化の特色

【評価方法】 口述試験

【テキスト】 『歌舞伎入門』（おうふう）
『歌舞伎のたのしみ』（北白川書房）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17156 17166	国文基礎演習Ⅰ(F)・Ⅱ(F)	必	2	各2	前期 後期	細 谷 博
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 近代文学をどう読むか

【講義内容】 眼前にある書物を繙き、ある作品を読む。この何気ない日常の行為が、ときに我々をつよく動かすものとなる。閉じられた書物を前に、動かされた心をかかえて読み手はあらためて自らに問うだろう、いったい何が読まれたのか、また、いかに読み込まれたのか。これが我々の出発点である。そこから様々な確認と検討、論文読解、比較考察等が始まる。各々の読みをかかえつつ、さらにゆたかな理解と表現へ向けて。すなわち、「論」の勉強のはじまりである。

【講義計画】 太宰治等の作品を対象として読解を行なう。具体的な作品本文を逐語的に丁寧に読みとることと、また、作品全体を端的にとらえることを同時にめざす訓練の場とする。

1. 作品読解、研究方法入門
2. 担当課題、発表日程の決定
3. 口頭発表、質疑応答
4. 面接による個別指導
5. レポート提出

【評価方法】 担当発表、レジュメ、質疑応答、試験等から総合的に評価。出席も重視する。

【テキスト】 太宰 治『女生徒』（角川文庫）
その他

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17157 17167	国文基礎演習Ⅰ(G)・Ⅱ(G)	必	2	各2	前期 後期	西 岡 淳
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 陸游詩研究

【講義内容】 陸游（りく・ゆう）は南宋の人。中国歴代の詩人の中で最も多くの作品を現在に伝える。本演習で用いるテキストは、文化八年（一八一）、村瀬栲亭の手を経て刊行された『（増補）陸放翁詩選』七巻（訓点付き）。詩体別にまとめられた各巻から適宜作品を選んで読み進める。
中国古典詩の読解力を養うことを目的とし、その方法は主として訓読によるが、「外国文学の古典」という視座をも保ちつつ、和刻本以外にも利用可能な資料の紹介に努めたい。

【講義計画】 授業の最初に、陸游の作品や時代状況などに関して概述し、次にテキストと参考資料について説明した上で、発表に必要な作業について述べ、演習に移る。
受講者は、予め担当部分について指示を受けた上で、授業に先立って発表資料を作成し、これを全員で検討する。発表資料の内容は、詩語の用例や典故、訓読、現代日本語訳などで、資料作成に必要な工具書（辞書等）は、別途指示する。なお、授業では現代中国語を参考として用いることがあるが、中国語の履修経験が無くとも理解できる内容である。

【評価方法】 発表資料とその成果を含む平常点により、場合に応じてレポートを課す。

【テキスト】 和刻本『陸放翁詩選』七巻（訓点付き）のコピー。参考資料として『剣南詩稿校注』（中華書局）の該当部分などを用いる。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17251 17261 17271 17281	国文演習Ⅰ(A)・Ⅱ(A)・Ⅲ(A)・Ⅳ(A)	必	3・4	各2	前期 後期	田 島 優
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 方言研究

【講義内容】 昨年に引き続き、愛知県・岐阜県・長野県の三県境域を方言研究のフィールドとして、言語地理学や社会言語学的な面からの調査を実施する。今年度は、特に愛知県北設楽郡稲武町を中心に行なう予定である。調査項目の選定や調査の仕方、調査結果の分析法など、方言調査法を身につける。

【講義計画】 最初に言語地理学や社会言語学について概説する。それから稲武町の調査のために、調査項目や質問文の選定、調査票の作成などの準備をする。
夏休みに、3泊4日程度の調査を実施する。
後期には、その調査結果の資料をもとに、興味を持った項目について発表する。

【評価方法】 調査への取り組みや口頭発表の内容。そしてレポートの成績によって評価する。

【テキスト】 なし

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17252 17262 17272 17282	国文演習Ⅰ（Ｂ）・Ⅱ（Ｂ）・Ⅲ（Ｂ）・Ⅳ（Ｂ）	必	3・4	各2	前期 後期	丸 山 徹
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 Don C. Bailey 著 The Rakuyōsyū（落葉集）

【講義内容】 Don C. Bailey 氏の手になる下記の下二論考を読みながら、イエズス会士編纂の「落葉集」について共に考える。
 "Early Japanese Lexicography"
 "The Rakuyōshū"
 （共に Monumenta Nipponica XVI 所収）

【講義計画】 前期－はじめに日本辞書史とキリシタン文献の概略を簡単に紹介し、発表の仕方の参考となる形を示す。
 その後一人ずつ担当箇所を決め、各自考察の結果をクラスで発表し、その内容を皆で検討する。
 担当者はその発表要旨を一週間前までに全員に配布すること。また毎回、全員の出席が求められる。
 後期－国語学の分野で各自現在抱えるテーマについて発表し、その内容を皆で検討する。

【評価方法】 参加者各自の口頭発表の内容、授業中の議論への参加の度合、期末レポート・期末試験の成績による。

【テキスト】 上記二論考のコピーと「キリシタン版落葉集」（勉誠社文庫）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17253 17263 17273 17283	国文演習Ⅰ（Ｃ）・Ⅱ（Ｃ）・Ⅲ（Ｃ）・Ⅳ（Ｃ）	必	3・4	各2	前期 後期	辻 本 裕 成
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 王朝文学の諸問題

【講義内容】 前期
 及び 源氏物語夕顔巻をダイジェストで輪読する。輪読担当者は、担当箇所について、研究者がするのと同じやり方で調査し、訳注をつけないといけない。

後期
 レポーターの学生が、自分が面白いと思う学術論文を取り上げてその内容を紹介する。（可能なら批判的に取り上げてよい。また、その論文を理解するのに必要な基礎的なことがらの説明も求める）。担当者は意地の悪い一聴講者として出席する。その論文の趣旨に反対する立場から（内心ではその論文の内容に賛成していてもそういう芝居をする）反論したり、その論文がよく理解できないふりをして（本当に理解できない場合もある）質問したりする。

また、三年生には各自の興味に従って、レポートを書いてもらう（締め切りは秋頃）。レポートは学術的な内容を備え、学生自身の見解が述べられているものでなければならない。

猶、本授業で扱う範囲は、原則として中古から中世にかけての王朝物語・日記文学・和歌とする。また、受講者数他によって授業の進め方を変える可能性があるため、その点了承されたい。

【評価方法】 主に発表内容とレポートによる。

【テキスト】 新潮古典集成『源氏物語一』

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17254 17264 17274 17284	国文演習Ⅰ（D）・Ⅱ（D）・Ⅲ（D）・Ⅳ（D）	必	3・4	各2	前期 後期	美濃部重克
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 中世文学研究

【講義内容】 『平家物語』『閑居友』『とはずがたり』『方丈記』『平家公達草子』を分析的に解釈する訓練を通して中世文学について論文を書くための涵養を目的とする。そのいずれも、王朝の文学的な伝統の上に立ちつつ、中世的な歴史社会の現実とそこに生きる人々の感情の価値化を目的として、中世の文学様式を模索した結果としての表現であって、そこに中世の文学のさまざまな現れを見ることが出来る。そこからどのような文学に関する問題を引き出すことができるか、受講生は各人その試みをするようになる。担当者はクラスでは助言者として振る舞うことになる。

【講義計画】 はじめに担当者が上記作品のうちいずれかひとつを取り上げて、発表の仕方の手本を示す。あとは受講者が自らの能力をもって試行錯誤を繰り返し、かつ時間をかけての調査と思考の結果をクラスで発表することになる。

【評価方法】 評価は、発表内容そして他の発表者の発表時における発言に基づいて行なわれる。

【テキスト】 その都度指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17255 17265 17275 17285	国文演習Ⅰ（E）・Ⅱ（E）・Ⅲ（E）・Ⅳ（E）	必	3・4	各2	前期 後期	安田文吉
他の科目 との関連				他学科 履 修	不可	重 複 履 修 不可

【副 題】 近世演劇史研究

【講義内容】 近世（江戸時代）の歌舞伎・人形浄瑠璃作品を取り上げ、作品自体はもちろんのこと、作者・役者・観客・番付・評判記・太夫・三味線などを含めて、総合的に検討し、近世文学・近世芸能・近世文化について考える。また、歌舞伎や人形浄瑠璃は近世において人々の一番の娯楽であり、したがって農村や漁村・山村でも盛んに上演された。それらが現在地芝居として復活或いは再び盛んになりつつあるので、それらについても、芝居小屋や舞台の見学を含めて、近世芸能文化史の点から検討する。

【講義計画】 毎回、2～3人のレポーターを指定、その報告をもとに全員で検討する。
歌舞伎・人形浄瑠璃について概観する。
河竹黙阿弥『青砥稿花紅彩画』の梗概と研究
四代目鶴屋南北『東海道四谷怪談』の梗概と研究
上記2作品それぞれの構成
歌舞伎特有の衣裳・セリフ廻し・隈取り・下座音楽・大道具・小道具
御園座の四月歌舞伎興行の夜の部の鑑賞と研究（前期）
中日劇場の六月興行「市川猿之助歌舞伎公演」夜の部の鑑賞と研究（前期）
御園座の十月興行「吉例顔見世」夜の部の鑑賞と研究（後期）
近世芸能文化の特色

【評価方法】 口述試験

【テキスト】 『歌舞伎入門』（おうふう）
『歌舞伎のたのしみ』（北白川書房）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17256 17266 17276 17286	国文演習Ⅰ (F)・Ⅱ (F)・Ⅲ (F)・Ⅳ (F)	必	3・4	各2	前期 後期	細 谷 博
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重 複 履 修 不可

【副 題】 近代・現代文学研究

【講義内容】 近代・現代文学の読解、研究を行なう。なにより作品を丁寧に読みたいと思う者、読むこと、そして書くことを通して、何事かをたしかに考えてみようと思う者を対象とする演習である。自己の＜小説読み＞の力——言葉による人間形象の把握力と、他者へむけての表現と討論の力をつちかう場としての参加を望む。

【講義計画】 前期は川端康成の作品他を読み、後期は各自のテーマにそって進める（四年生を優先）。
 1. 作品読解、研究方法入門
 2. 担当課題、発表日程の決定
 3. 口頭発表、質疑応答
 4. 面接による個別指導
 5. レポート提出（前期は課題作品、後期は自己のテーマ）

【評価方法】 担当発表、レジュメ、質疑応答、レポート等から総合的に評価。出席も重視する。

【テキスト】 川端康成『伊豆の踊子』『禽獣』『雪国』『山の音』（新潮文庫）他

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17257 17267 17277 17287	国文演習Ⅰ (G)・Ⅱ (G)・Ⅲ (G)・Ⅳ (G)	必	3・4	各2	前期 後期	山 本 和 義
他の科目 との関連					他学科 履 修	不可 重 複 履 修 不可

【副 題】 嘉永2年刊『枕山詩鈔』の研究

【講義内容】 幕末から明治にかけて江戸・東京の漢詩壇にあって、森春濤（1819～89）とともに双壁を成した詩人に大沼枕山（おおぬま・ちんざん。1818～91）がある。枕山は、尾張国丹羽村（現・一宮市丹羽）に漢学塾「有隣舎」を開いた鷺津幽林の孫であり、若い日に有隣舎に寓して学んでいる。嘉永2（1849）年に刊行された『枕山詩鈔』1冊（『枕山詩鈔』初～3編、計9巻とは異なる）には、19歳から25歳に至る間の七言絶句を収める。枕山はその自序に「詩の道為（た）るや、精を費びて多きを費ばず、簡に在りて繁に在らず」と記しているように、渾身の力を注いだ力作であり、絶句の名手として知られた枕山の力量を窺うに足る作品群である。

【講義計画】 講義は、まず枕山の人と文学を概説することから始め、研究方法の概略を講じて後、前・後期を通じて作品を努めて精緻に読み進める。本演習では、毎時発表者を定めて、用意された注解稿（発表資料）にもとづいて検討してゆく。特に典故（詩語の拠りどころを含めて）を重んじて、それぞれの詩世界の拡がりを読み取ることに努める。発表資料（草稿）は1週間前に担当者に提出しなければならない。また、永井荷風『下谷叢話』（枕山の詳伝を含む）と、日野龍夫注『成島柳北・大沼枕山』（岩波・江戸詩人選集10）は、参考文献として重視される。

【評価方法】 評価は、発表資料と発表内容、また必要に応じて提出を求めるレポートにもとづいて行う。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17601 17605	国語史Ⅰ・Ⅱ	必	2・3	各2	前期 後期	齋藤文俊
他の科目 との関連	国語史Ⅰ・Ⅱを連続して履修することが望ましい。			他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 異文化受容と日本語

【講義内容】 異文化を受容し、また新しいメディアと出会うことによって、日本語はこれまでどのように変化し、またこの先どのように変化していくのか。このような主題の下、下記 1～4 の項目につき概説する。

1. 漢字の受容とかなの創造

現代我々は漢字・ひらがな・カタカナ・romaji と、4 種類もの文字を使用して文章を書いている。その文字の過去・現在・未来について考えていく。

2. 日本語とコンピュータ

コンピュータの使用により、日本語は変化するのか。漢字とコンピュータとのかかわりを中心に、日本語および日本語で記された資料をコンピュータで扱う上での問題点について考察する。

3. 和語と漢語と外来語

最近、「外来語の氾濫」ということがよく言われる。その外来語を中心に、和語および漢語使用の変遷をたどる。

4. 和文の創造と翻訳

漢文の影響下から和文がいかにして誕生したのか。また、平安時代から明治時代初期までの日本において翻訳がどのようになされてきたか、について概説する。

【講義計画】 前期（国語史Ⅰ）に 1・2 を、後期（国語史Ⅱ）に 3・4 を講ずる予定でいる。

【評価方法】 下記課題図書の手評、講義中に行う小テスト、期末レポートにより判定する。

【テキスト】 国語史Ⅰの課題図書＝鈴木孝夫『日本語と外国語』（岩波新書）
国語史Ⅱの課題図書＝清水義範「言葉の戦争 1・2」（『ことばの国』集英社文庫）
随時必要に応じてプリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17611 17615	国文学史Ⅰ・Ⅱ	選	2・3	各2	前期 後期	小倉 齊
他の科目 との関連	国文学史Ⅰ・Ⅱ を連続して履修することが望ましい。			他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 近代文学の諸相

【講義内容】 日本の近代文学の諸相を、いくつかのテーマを設定しながら、かなめとなる作家・作品・思潮を検討することによって理解し、あわせて日本文学における「近代」とは何かを考える。なお、授業は下記の各テーマにしたがっておこなう。テーマごとに取り上げる作品について事前に指示し、受講者が読んでいることを前提に講義を進める。

【講義計画】 <前期>

- 1 問題の所在—「書く」と「語る」こと—
- 2 言文一致体と言文一致体
- 3 近代文学と活字世界—「模写」の意味—
- 4 「一人称小説」への模索—「私」の発見—
- 5 「自然」の発見—風景への眼差し—
- 6 近代文学の成熟①—「自然の昔」の再現—

<後期>

- 1 近代文学の成熟②—反自然主義的方法の模索—
- 2 近代文学の成熟③—「家」不在のドラマ—
- 3 観念の崩壊と「新感覚」
- 4 「小説の小説」という形式
- 5 新しい話体の成立
- 6 現代小説の方法

【評価方法】 前・後期とも自筆ノート持込み可の論述式試験を実施し、その結果によって評価する。

<前期>

『風の歌を聴け』（村上春樹・講談社文庫）
『舞姫・うたかたの記』（森鷗外・岩波文庫）
『破戒』（島崎藤村・新潮文庫）
『蒲団・一兵卒』（田山花袋・岩波文庫）
『それから』（夏目漱石・岩波文庫）

<後期>

『門』（夏目漱石・岩波文庫）
『齒車』（芥川龍之介・岩波文庫）
『機械・春は馬車に乗って』（横光利一・新潮文庫）
『春琴抄』（谷崎潤一郎・新潮文庫）
『遷東綺譚』（永井荷風・岩波文庫）
『千年の愉楽』（中上健次・河出文庫）
『トパーズ』（村上龍・角川文庫）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17631 17635	書道AⅠ・AⅡ	選	2・3	各1	前期 後期	高 田 眞 菊
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 漢字の書—その歴史と実技

【講義内容】 中国における漢字に起源とその時代背景を考える。
文房四宝についての理解を深める。
漢字五体（楷・行・草・篆・隸）の種類を把握する。
作品鑑賞をしながら審美眼を養い、書と人間性・美しい書とはどんな書かを考える。

【講義計画】 前期

- ・中国書道史
- ・文房四宝についての知識を深める
- ・漢字五体（楷・行・草・篆・隸）の基本練習

後期

- ・実用書の練習
- ・作品鑑賞
- ・書作品の色々な作品形式・形態を知り創作する

【評価方法】 出席・実技作品・レポート等により総合評価する。
「欠席過多」を適用する

【テキスト】 『書の手帳』 小学館
必要に応じてプリント・手本のコピーを配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17641 17645	書道BⅠ・BⅡ	選	2・3	各1	前期 後期	飯 田 実
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 BⅠ “かな書道”（毛筆）・BⅡ “ペン習字”

【講義内容】 BⅠ かな（毛筆）

- （1）かなの種類。（イ）カタかな・（ロ）ひらがな・（ハ）万葉仮名・（ニ）変体仮名
- （2）わが国独自の“かな文字”誕生の起因とその時代背景。（特に平安初期から中期にかけての時代背景）
- （3）ひらがなの字源の理解を通して、ひらがなの正しく美しい書き方の説明

- (4) 変体仮名の読解の徹底をはかる
- BⅡペン習字
- (1) 字形の整え方
- (2) かな、漢字（楷・行・草書）の特徴と基本点画
- (1)(2)の理解を基礎に、現代の実用書の書式を学び、美しく、整ったペン字が書ける様にする。

【講義計画】 上述の目標に向けて、書論の講義を通しての知的理解をはかると共に、併行して“かな文字”“ペン習字”の実技指導を行う。

BⅠかな

- (1) かなの発生、展開とその種類
- (2) いろは48文字の字源の把握と効用
- (3) 代表的変体仮名の読解と実技練習
- (4) 連綿の基礎十二法について
- (5) 執筆法について
- (6) かな単体および連綿体の基礎的履修

以上の様なかなに関する知識を伝えとと共に、小筆によるかなの美しい書き方を指導する。

BⅡペン習字

- (1) はがき・便箋・封筒・年賀状・その他実用文の書法
- (2) 上記のそれぞれの書式について
- (3) 自分の住所氏名を楷・行・草体で正しく美しく書ける様に指導

以上等ペンによる実用書の指導を行う。

【評価方法】 原則として数回提出の実技作品の平均点と、平常点（出席日数など）の総合評価とし、ペーパーテストを行う場合は、これを含めた総合評価とする。「欠席過多」を適用する。

【テキスト】 『梅雪かな帖』上巻（松林堂〔株〕）、『ペン習字』（中日文化センター）

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
17651 17655	国語学講読AⅠ・AⅡ	選	2～4	各2	前期 後期	釘貫 亨
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 可

【副題】 日本語学史の諸問題

【講義内容】 日本語研究は、平安時代末期に発足した日本古典研究における語学的技術の中にその淵源を求めることができる。鎌倉時代の京都貴族が平安王朝の古典テキストに接近する語学的技術が「仮名遣い」と「てにをは」であった。他方、音声言語に関する学問的考察は真言宗と天台宗の教学の一貫である悉曇学の枠内で行われ、中世後期になって韻鏡注釈の世俗化に伴って五十音図の知識が仏教教学の枠を越えて一般の知識世界に広がりを見せた。近世になって五十音図の知識がてにをは研究と合流して日本文法学が近代化する前夜の様相を独力で実現した。近代以後伝統的にてにをは研究と西洋文法学が統合され、古典語研究から次第に近代口語を対象とする独自の国語学が確立するに至った。

【講義計画】 日本語研究は伝統的に古典注釈の中に包摂される形で発展してきた。平安時代末期の古典研究の発足から近代的日本語学確立に至る道筋を論理的に辿ることが本講義の目的である。授業ではテキストを読み進めることを通じて、日本語学史の重要事項を学生が発表する。

【評価方法】 発表内容に基づいてレポートを提出させる。

【テキスト】 釘貫 亨「日本文法学における「規範」の問題—学説史的考察—」『名古屋大学文学部研究論集124』1996・3「日本語学史における「音韻」の問題」『名古屋大学文学部研究論集125』1997・3、ほか

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
17661	国語学講読BⅠ	選	2～4	2	前期	田島 毓堂
他の科目との関連	後期・国語学講読BⅡを受講しようとするものは必ず受講すること。			他学科履修	可	重複履修 可

【副 題】 語彙論概説

【講義内容】 語彙論のうち特に語彙総体論について概説する。音韻論・文法論にくらべてみた時の、語彙論の偏頗な発達、語彙を総体として把握することの未開性を見据えた上で、その原因、その用語、語の単位の問題、体系の問題、語彙分類のこと、個々の語の問題等について考え、語彙論という分野、特に語彙総体論の開拓を目的とする。

【講義計画】 (以下は大体の目安であり、毎回、次回について指示する)

- 第1回 用語の説明、日本語・国語・母語・母国語・日本語学・国語学等。
教職の単位として受講する学生のために、また、国語科そのものについて注意喚起のために、教科としての「国語」のあり方について説明
- 第2回 日本語について、世界の他言語との関係においての大略の説明。
- 第3回 語彙論の用語について。「語彙」といふ用語の誤用及びその原因。
- 第4回 語彙論における単位、音韻論・文法論と比較しつつ。
- 第5回 語彙論的語の単位について。異なりと延べ。これに先立ち、語彙の特性の種々について。
- 第6回 語彙論の課題。その集団的規範の側面と個別の実現の側面について。ラング・パロールの論と並行して。
- 第7回 語誌と辞書。語構成論及び語源論。
- 第8回 語彙体系論について。
- 第9回 語彙分類について。『分類語彙表』・ROGET"THESAURUS"について。
意味コード付けに付いて。
- 第10回 比較語彙論について。
- 第11回 個別語彙分析における意味構造分析。意味構造分析とは。
- 第12回 集団的規範としての語彙と個別の実現としての語彙、及び、その取り扱い、研究目的について。
- 第13回 個々の言語資料・言語作品すなわち個別語彙の分析の方法。その視点のいろいろとその視点の効果。
- 第14回 個別語彙分析のためのC50・D10について。
- 第15回 単位としての語の組合せ、「臨時一語」について。
その他、随時、基本語彙・基礎語彙・基幹語彙・基調語彙等について講義する。

【評価方法】 毎回、講義の中で10分程度で小テスト行い出席に代えたとともに、合計して評価とする。

【テキスト】 テキスト：『語彙研究資料集』（95 新訂版）（田島毓堂編）2500円
参考文献：築島裕『国語学』 田中章夫『国語語彙論』『図説日本語』（角川小辞典シリーズ）等

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者		
17665	国語学講読BⅡ	選	2～4	2	後期	田 島 毓 堂		
他の科目との関連	前期開講の国語学講読BⅠを受講すること。コンピュータの一応の使用法はすでに承知しているものとして進めるので、講習会などには出席しておくように。			他学科履修	可	重複履修	可	

【副 題】 語彙研究資料作成のためのコンピューター利用

【講義内容】 語彙論については、すでにおおまかな知見を習得したものととして、語彙研究におけるデータ作成のために、コンピュータ使用法を学び、その作業に習熟する。但し、授業時間内にできる実際の作業は僅かであり、そのデータ作成法（索引作成法に通じる）を習得することを主たる目的とする。

- 【講義計画】
- 第1回 語彙論の概略と講義の目的内容等につき説明（資料集を用意する）
 - 第2～4回 語彙研究の資料作成のためのコンピュータ使用について
 - 1) 使用するプログラムとその使用法の説明と実行
 - 2) テキストエディタ（Wordによる）使って入力（練習問題）（原文ファイル）
 - 3) ファイル名について（?????.txt）
 - 第5．6．7回 前回の練習結果を用ゐて
 - 3) 単位語に分割する（ファイル名 ?????C.txt）（Cファイル）
 - 4) Voca Systemの説明と利用 単語レコードを作る（ファイル名 ?????V.txt）（Vファイル）
 - 5) ?????V.txtを補充訂正する（単語集の完成）（完成ファイル Tファイル）
 - 6) Voca System [Gengo1]により「単語集（ファイル名 ?????v.txt）」から「異語表（ファイル名 ?????K.txt）」（Kファイル）を作る（他のデータベースソフトにても可）
 - 7) 「異語表」を種々操作・分析する（度数順・度数別統計 [Gengo3] による）
 - 8) 「異語表」に品詞・語構成・語種・意味コードを付加し、品詞別・語種別・語構成別・意味分野別語彙表・統計表を作る

- 9) 他資料と比較検討する(言語資料としては今泉源氏を用ゐる予定)
意味コード付けについて実践する(課題を与へる)
- 第8・9・10回 課題1について、各自実習し、前記の、2)から5)までを行ふ。
- 第11回 意味コード付けについて実践する(課題を与へる)、『分類語彙表』を用ゐる。
- 第12・13・14・15回 課題2について、前記の2)から8)を実行し、完成結果をレポートとして提出する。
- その他、随時5)から9)までの作業をする。また、既に作成してある源氏物語の語彙表・宇治拾遺・今昔物語の語彙表などについても検討する。また、意味構造分析も行ふ。

【評価方法】 時間中の課題1・2及び他の宿題によって行なう。

【教科書】 国語学講読B Iで使用した『語彙研究資料集』を使用する。

【注意事項】 ○不明な点、理解出来ないことについては、その時間内に質問して必ず解決しておくこと。
○出席自体は厳密にはしないが、欠席した時間のことについては、各自の責任で補っておくこと。後の時間にそのことについての質問には応じない。

【テキスト】 テキスト：『語彙研究資料集(改訂版)』(田島毓堂編)を用意する。

【参考文献】 参考文献：田中章夫「国語語彙論」S53.2 明治書院
国立国語研究所「分類語彙表」S38 秀英出版

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17681	漢文学講読 I (A)	選	2~4	2	前期	山 本 和 義
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 可

【副 題】 李白の紀行詩と望郷詩

【講義内容】 中国盛唐期の詩人李白(り・はく、701~762)の紀行詩と望郷詩を努めて細やかに講読し、延いてその人と文学の特色を考察する。

【講義計画】 まず中国詩史における李白詩の位置づけ、同時代の詩人杜甫(と・ほ、712~770)との比較を講じ、続いてその紀行詩と望郷詩の精粹を選読する。

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 和刻本『分類補註李太白詩』二十五卷(延宝7<1679>年刊)をコピーして用いる。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17682 17686	漢文学講読 I (B)・II (B)	選	2~4	各2	前期 後期	西 岡 淳
他の科目との関連				他学科履修	可	重複履修 可

【副 題】 『陶靖節集』講読

【講義内容】 陶淵明(靖節)は東晋の人。古来「田園詩人」として知られ、夏目漱石『草枕』の冒頭にその作の一節が引かれる。テキストとして用いる和刻『陶靖節集』(一〇巻首一卷 寛文四年[一六六四])は、宋李公煥撰『箋注陶淵明集』(『四部叢刊』所収)を基本としたもの。この中から五言詩を選び、諸注釈を含めて読み進める。

中国古典詩の読解力を養うことを目的とし、その方法は主として訓読によるが、「外国文学の古典」という視座から利用可能な、中国語資料の紹介にも努めたい。

【講義計画】 授業の最初に、陶淵明の作品やその時代状況などに関して概述し、次にテキストと参考資料について説明した上で、購読に移る。前期(I)・後期(II)それぞれ異なる箇所を選んで読み進めるので、そのいずれかのみを選択してもよい。

なお、授業では現代中国語を参考として用いることがあるが、中国語の履修経験が無くとも理解でき

る内容である。

【評価方法】 平常点と筆記試験による。

【テキスト】 和刻本『陶靖節集』のコピー。参考資料として『陶淵明集校箋』（上海古籍出版社）の該当部分などを用いる。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17685	漢文学講読Ⅱ（Ａ）	選	2～4	2	後期	山 本 和 義
他の科目との関連					他学科履修可	重複履修可

【副 題】 [後期] 蘇軾の紀行詩

【講義内容】 中国北宋期の詩人蘇軾（そ・しょく、東坡居士、1036～1101）の紀行詩を、わが室町期の抄物『四河入海』（禅僧たちの蘇軾詩の注解を集成する）を参考にしつつ講読する。

【講義計画】 蘇軾の生涯を旅人としての視点から略述して後、その紀行詩の佳什を選読する。その際、『四河入海』（別してそこに含まれる桃源瑞仙の「蕉雨余滴」）を併せ読んで、その学術的価値を考える。

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 和刻本『王状元集註分類東坡先生詩』（明暦2〈1655〉年刊）、古活字版『四河入海』（慶長元和間刊、江戸初中期書込）を適宜コピーして用いる。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17691	国語学特殊講義A 1	選	3・4	2	前期	舩 山 洋 介
他の科目との関連					他学科履修可	重複履修可

【副 題】 現代日本語文法の基礎

【講義内容】 現代日本語の文法（形態論・統語論〔構文論〕）の基本的な項目を具体例を通して理解し、この分野の基礎的な知識および研究方法を身に付けることを目指す。

形態論では、形態素・語・語彙、活用、語構成などの項目を取り上げ、具体的に検討する。

統語論では、単文の基本構造、態（受動態・使役態・可能態）、複文（補文、名刺修飾節、接続助詞を伴う従属節）などについて具体的に検討する。

受講するに当たって、この分野の予備知識は必要としないが、現代日本語の文法現象について自分の頭で考えることが楽しいと思えることが望まれる。

【講義計画】

1. 形態論
 1. 形態論とは何か
 2. 形態素・語・語彙
 3. 活用
 4. 語構成：単純語・合成語（派生語・複合語）
2. 統語論
 1. 統語論とは何か
 2. 単文の基本構造
 3. 態：受動態・使役態・可動態
 4. 複文：補分・名刺修飾節・接続助詞を伴う従属節

【評価方法】 筆記試験および平常点

【テキスト】 プリントを配付する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17693	国語学特殊講義 A II	選	3・4	2	後期	粂 山 洋 介
他の科目との関連				他学科履修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 現代語「ところ」「もの」「こと」「の」の分析

【講義内容】 「ところ」「もの」「こと」「の」の各語は、現代日本語の語彙の中で最も基本的なものであると共に、多様な意味・機能を有する多義語多機能語である。特にこの4語に注目し、多角的に詳しく検討していく。なお、この4語を分析していく過程で、多義語・類義語・モダリティ・文の構造などの一般的問題についても随時検討する。

【講義計画】 1. 名詞「ところ」「もの」「こと」
2. 文末の「ところだ」「もの・ものだ」「こと・ことだ・ことだろう」「のだ」
3. 補文標識の「ところ」「こと」「の」
4. 接頭辞の「もの」

【評価方法】 レポートおよび平常点

【テキスト】 プリントを配付する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17711 17713	国文学特殊講義 A I ・ A II	選	3・4	各2	前期 後期	加 藤 洋 介
他の科目との関連				他学科履修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 『物語二百番歌合』の研究

【講義内容】 『物語二百番歌合』は、左方に源氏物語の和歌を、右方に狭衣物語の和歌を配する前半部と、左方に源氏物語の和歌、右方に夜の寝覚以下十の物語の和歌を配する後半部とから成る。和歌は既存の物語和歌を使用したにすぎないが、左右の和歌の選択およびその配列、また詞書の書式には、編者である藤原定家の創造性が発揮されている。本講義は『物語二百番歌合』から読みとれる定家の行為を意義づけるとともに、彼の源氏物語研究との関わり、本文書写上の問題点にも言及する。

【講義計画】 1. 『物語二百番歌合』の成立
2. 物語和歌の選択と配列
3. 詞書の問題点
4. 前半部と後半部の差異
5. 定家の源氏物語研究との関わり

【評価方法】 筆記試験による。

【テキスト】 プリント配布

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17715 17717	国文学特殊講義 B I ・ B II	選	3・4	各2	前期 後期	辻 本 裕 成
他の科目との関連				他学科履修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 婚姻史と日本文学

【講義内容】 周知の通り、日本文学は、古来より結婚生活や男女の恋愛を描くことが多かった。しばしばそれは、

情緒的なものとして読み流されがちである。しかし、それは当然、その時代時代の結婚制度や恋愛倫理のあり方を反映する。現実の結婚制度や恋愛倫理の変化が、日本文学にどのように表現されているのかを考える。

【講義計画】 担当者の専攻は平安から鎌倉の貴族文学なので、そのあたりが講義の中心となると思うが、出来れば古代から近代までを通時的に俯瞰したい。当然のことながら作品・史料を原文で読むが、国文以外を専攻の人もそれを厭わないで欲しい。猶、1998年度の講読Cの内容（2コマ分程度）と一部重なるところがあるので了承されたい。

【評価方法】 試験とレポートによって行う。

【テキスト】 コピーを配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17721 17723	国文学特殊講義CⅠ・CⅡ	選	3・4	各2	前期 後期	美濃部重克
他の科目 との関連					他学科 履 修 可	重 複 履 修 可

【副 題】 お伽草子研究

【講義内容】 室町後期から江戸前期にかけて盛んに享受された、文学史上の一ジャンルをなすお伽草子について論じる。テキストのかたち注目して、様式論的に捉えることを主眼とする。

【講義計画】 作品としては、ジャンルを代表するものである「ものくさ太郎」を講読する。それ以外は、講義を中心とする。講者が既に発表している論文のなかから幾つかを選び、それをもとに話をする。

【評価方法】 筆記試験による。

【テキスト】 プリント配布。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17725 17727	国文学特殊講義DⅠ・DⅡ	選	3・4	各2	前期 後期	安田文吉
他の科目 との関連					他学科 履 修 可	重 複 履 修 可

【副 題】 近世歌舞伎研究

【講義内容】 江戸時代の歌舞伎は、明治以後の新歌舞伎とは大いに異なって、筋立てや時代考証等が実に巧みにしかも面白く構成されている。今回は『仮名手本忠臣蔵』をとりあげて、一つの事件が、どのように浄瑠璃・歌舞伎に取り込まれ、しかも人々にどのように影響をおよぼしていったか、などについて詳しく検討する。本講義では、江戸歌舞伎の代表的作品『仮名手本忠臣蔵』を取り上げて、VTRを参照しながら、その構成・構造を考え、あわせて近世芸能の特色を検討する。

【講義計画】 歌舞伎の成立
歌舞伎の舞台
VTR『仮名手本忠臣蔵』の鑑賞（前期）
VTR『仮名手本忠臣蔵』以外の忠臣蔵物の鑑賞（後期）
それぞれの作品の構成
それに先行する説話・文学作品・文化の研究
歌舞伎特有の衣裳・セリフ廻し・隈取り・下座音楽・大道具・小道具
歌舞伎の音楽
御園座の四月興行「陽春大歌舞伎」夜の部の鑑賞と研究
中日劇場の六月興行「市川猿之助歌舞伎公演」夜の部の鑑賞と研究（前期）
御園座の十月興行「吉例顔見世」夜の部の鑑賞と研究（後期）
近世芸能文化の特色について考える。

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 「歌舞伎入門」おうふう・「歌舞伎のたのしみ」北白川書房

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17731 17733	国文学特殊講義EⅠ・EⅡ	選	3・4	各2	前期 後期	助 川 徳 晃
他の科目 との関連					他学科 履 修 可	重 複 履 修 可

【副 題】 ——夏目漱石の文学——

【講義内容】 漱石の作品のうち、代表的なものを作品論的に講じる。二、三の作品については、私が考えている時間論を適用したい。

【講義計画】 4月「三四郎」
5月「それから」
6月「門」
7月「坊ちゃん」
9月「吾輩は猫である」
10月「行人」
11月「こころ」
12月「道草」

【評価方法】 平常点とペーパーテスト。「欠席過多」を適用する。

【テキスト】 「吾輩は猫である」「坊ちゃん」「三四郎」「それから」「門」「行人」「こころ」「道草」いずれも新潮文庫

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17735 17737	国文学特殊講義FⅠ・FⅡ	選	3・4	各2	前期 後期	松 田 良 一
他の科目 との関連					他学科 履 修 可	重 複 履 修 可

【副 題】 現代女流文学の研究

【講義内容】 現代文学の世界において重要な役割を果たしている山田詠美、吉本ばなな、向田邦子、干刈あがた、幸田 文などの作品を分析し、現代女流作家の感性と文学的特質を追求する。
それにあわせて小説表現史についても考察する。

【講義計画】 前期は文庫本のテキストを使って、山田詠美、吉本ばなな、干刈あがた、向田邦子ら個々の作家の作品を分析し考察する。後期はプリントを使って彼女たちの文学表現を可能にさせた歴史的経緯について考察したい。なお、講義の中で、しばしば引用箇所を提示しますので、テキスト（文庫）は指定のものを用意して下さい。

【評価方法】 定期試験を中心に、出席点などを加味して総合的に評価。欠席過多を適用する。

【テキスト】 山田詠美『ベットタイムアイズ』（福武文庫）、吉本ばなな『キッチン』（福武文庫）、幸田 文『台所のおと』（講談社文庫）、向田邦子『思い出トランプ』（新潮文庫）干刈あがた『アンモナイトをさがしに行こう』（福武文庫）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17741 17743	国文学特殊講義 G I ・ G II	選	3・4	各2	夏期 集中	赤 瀬 信 吾
他の科目 との関連	国文学特殊講義 G I ・ G II を連続して履修することが望ましい。			他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 『新古今和歌集』と本歌取り

【講義内容】 八代集の掉尾を飾る『新古今和歌集』は、和歌のひとつの到達点を示している。新古今時代の歌人たちは複雑で難解な和歌を多くのこした。その基本的な技法は本歌取りである。本歌取りの基盤には、本意の形成という問題があった。本意が形成されてゆく史的な様相を、具体的にたどってみる。また、本歌取りが及ぼしたさまざまな影響を、『新古今和歌集』における和歌の配列などに関連づけて考えてみる。さらに、『新古今和歌集』には本歌取りとは関係のない歌も見られることを指摘して、『新古今和歌集』の目指したものを考察する。

【講義計画】

1. 新古今時代の概観
2. 『新古今和歌集』の成立と諸本
3. 本意の形成と本歌取り
4. 藤原俊成とその周辺
5. 俊成から定家へ
6. 本歌取りの諸相
7. 和歌の配列と本歌取り
8. 『新古今和歌集』の世界
9. 真名序、仮名序、隠岐序
10. 後鳥羽院

【評価方法】 出欠状況及び筆記試験

【テキスト】 新古今和歌集（新日本古典文学大系11、田中裕・赤瀬信吾校注、岩波書店）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17751	漢文学特殊講義 I	選	3・4	2	前期	山 本 和 義
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 白氏文集の世界－諷諭と閑適－

【講義内容】 中国唐代の詩人白居易（はく・きよい、772～846）の詩世界を諷諭詩と閑適詩を中心に考察し、延いて中国文明における「詩」の位置づけに及ぶ。

【講義計画】 まず白居易が友人元稹（げん・しん）に与えた書簡「元九に与うる書」に見える詩論の概要を紹介し、ついで作品の即して諷諭詩・閑適詩について考察する。論の展開が大胆なるをためらわない。

【評価方法】 レポートを課する。

【テキスト】 適宜、プリントを配布する。
〔参考文献〕『白居易研究講座』全7巻（勉誠社）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17755	漢文学特殊講義 II	選	3・4	2	後期	山 本 和 義
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 田園詩の流れー陶淵明・王維・范成大ー

【講義内容】 中国における田園詩の諸相を、六朝東晉の陶淵明（とう・えんめい、365?～427）、唐の王維（おう・い）、南宋の范成大（はん・せいだい、1126～93）らの作品の読解を通じて考察する。その際、農事詩・山水詩・自然詩の名で称される文学をも視野に収める。

【講義計画】 中国詩史の中で、陶淵明・王維・范成達の田園詩を中心に、「流れ」として捉えようと試みる。その際、作品の読解に努めて重さを置き、かつ広い視野からすることに留意する。

【評価方法】 レポートも課する。

【テキスト】 適宜、プリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17761 17763	国文学講読AⅠ・AⅡ	選	3・4	各2	前期 後期	田中喜美春
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 古今集購読

【講義内容】 古今集についての我々の理解、認識は、その実態とは違い所にある。成立経緯、諸種の本文の存在理由、歌われた内容、さらには歌人、あるいは政治的状況などについて論証、実証に基づいた新見を開陳する。両序、および一首一首の歌について、本文異同をふまえたうえで、一字一句ゆるがせにせぬ方法で可能なかぎり多くの量を講読する。その結果として、詩文に対し、歌が日本語の文芸としていかに日本文化を先導し、人々がいかなる世界観の中に、いかに生きたかをとらえることを目的とする。単位のみ取ればよいという考えでの受講はお断りします。勉強してもらいます。

【講義計画】 前期では、まず、主たる研究分野の現段階を概説する。次いで、本文資料を用いつつ、テキストとして用いる定家本は、撰者の本文を考える一資料にすぎないことを証明した後、歌の理解の代表的方法を実践してみせる。後期は、具体的な歌について、多面的な考察をし、その歌から導かれるさまざまな問題を指摘し、我々にとっての可能性を視野に入れつつ講読する。

【評価方法】 試験による。ただし、提出は任意のレポートを各期、数回課す。

【テキスト】 片桐洋一著『古今和歌集』（創英社）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17765 17767	国文学講読BⅠ・BⅡ	選	3・4	各2	前期 後期	辻本裕成
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 『蜻蛉日記』の研究

【講義内容】 出来れば輪読を行いたい、三年生の選択者が多ければ担当者の講義で授業を進める（輪読は、担当者が担当箇所について、研究者がするのと同じやり方で調査し、訳注をつけなければならない）。猶、前期を選択せず、後期から授業を受けるには、『蜻蛉日記』を全編通読しておくことを条件とする。

【評価方法】 輪読を行った場合は発表とレポートによる。担当者の講義で進めた場合は試験とレポートによる。四年生については発表のかわりのレポートを課する。

【テキスト】 新潮古典集成『蜻蛉日記』

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17771 17773	国文学講読CⅠ・CⅡ	選	3・4	各2	前期 後期	美濃部重克
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 『平家物語』 講読

【講義内容】 『平家物語』を巻一の冒頭から読んでゆく。句ごとに力点を一箇所ないし二箇所もうけ、それに関する資料を用意して、できる限り読みに幅と深みをもたせて講読したい。この作品は高い山のように、その裾野は広い。裾野にあたるような、たとえば享受の問題に関する資料の呈示をも行い、それについて説いてもみたい。

【講義計画】 1コマないし2コマで一句を終えるというスピードで読んでゆく。プリントを配布して、補足的にテキスト世界を捉えることに心がける。

【評価方法】 筆記試験による。

【テキスト】 高橋貞一校注『平家物語』（上・下）講談社文庫

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17775 17777	国文学講読DⅠ・DⅡ	選	3・4	各2	前期 後期	高 木 元
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【副 題】 読本研究

【講義内容】 近世小説の中で最も格調の高いジャンルである「読本」について、代表作の講読を通じて、その史的展開を中国典拠や考証随筆との関連を視野に入れつつ跡付けたい。

【講義計画】 最初に読本ジャンルに関する史的展開についての概説を講義し、そのあと受講者が各作品について分担して翻刻と注釈をして発表する演習形式で授業を進める。原則的には翻刻のないテキストを板本のコピーを使って読み進めたいので、受講に際しては板本に使われている〈崩し字〉が読めることが不可欠であり、また典拠研究では中国語が読めないと思われ。尤も通俗本が備わっている場合には、漢文の訓読に堪能でさえあれば、敢えて中国語が読めなくても差支えない。

【評価方法】 出席は勿論のこと、毎時間指示する課題の提出状況をも成績に加味する。さらに、担当発表を必須とし、その内容と方法などを評価する。その上、前期末にはテストを後期末には原稿用紙30枚程度のレポートを課す予定。

【テキスト】 受講生の人数によって扱う作品を決めたいので授業が始ってから指示する。いずれにしても、上田秋成『雨月物語』と山東京伝『忠臣水滸伝』と曲亭馬琴『南総里見八犬伝』をあらかじめ読んでから授業に出席することが望ましい。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17781 17783	国文学講読EⅠ・EⅡ	選	3・4	各2	前期 後期	佐藤房儀
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 可

【講義内容】 近代詩を読んでゆく。近代詩は明治時代にそれまでにない新しい文芸として誕生した。今日の詩と呼ばれるものは、不思議なことに記紀万葉から江戸時代までなかった。とは言え、古代には長歌や旋頭歌があり、江戸時代には俳諧詩のようなものがあった。が、それらは創作意識において、まったく異なっていた。むしろ形体は異なるが漢詩の方が、内容において近代詩と類似している。そこで講義においては、

近代詩という新たに発生した文芸形体が、どのように展開して来たかを読んでいきたい。発生から順次時間を追うことで、近代詩の歩んできて道筋をたどり、さらに近代という時代にどのような問題が内在していたかを考えられればと思っている。

【講義計画】 EⅠ（前期）発生から展開期たる明治の詩を読んでゆく。どのような時代状況のなかで発生し、それが如何に発展したか、順次作品にあたることで明らかになるであろう。明治という時代がダイナミックに展開する様相は、詩と言う文芸を通じても読み解くことが出来る。

EⅡ（後期）展開から完成にいたる大正期の作品を読む。この時代は、急速に発展してきた新文芸たる詩が、早くも完成期を迎える。そこでは文学の可能性が試され、人間の心理の深い闇を表現することが求められ、言葉がそれまでになかった意味を持ち始めたと言える。

【評価方法】 出席と期末試験によって評価する。「欠席過多」を適用。

【テキスト】 教科書として適当な文献がないため、授業の開始時期にまとめて、当該学期で使用するだけの印刷物を配付する。学生諸君はそれを整理して各時間ごとに持参すること。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
17785 17787	国文学講読FⅠ・FⅡ	選	3・4	各2	前期 後期	藤 森 清
他の科目 との関連					他学科 履 修	可 重 複 履 修 可

【副 題】 ジェンダー理論からみる日本近代文学

【講義内容】 日本の近代文学（この講義では、明治、大正を範囲とする）を、日本近代のジェンダー（文化的性差）構成という文脈から分析する。日本の近代文学は、男／女、あるいは男らしさ／女らしさの文化的構築とどのように関係しているのだろうか。この問題を文学という具体性のある素材について考察することは、われわれの意識ばかりか、身体にまで刷り込まれた性差の刻印を自覚することにもつながるだろう。

【講義計画】 前期は、おおそ明治、後期は、おおそ大正を範囲とする。前期に扱う文学テキストは、清水紫琴「こわれ指環」、樋口一葉「にぎりえ」、与謝野晶子『みだれ髪』、森鷗外「半日」、田山花袋「蒲団」、長島武郎『或る女』、菊池寛「父帰る」、谷崎潤一郎『痴人の愛』、宮本百合子『仲子』。前期後期とも、はじめにジェンダー理論の解説をする。

【評価方法】 各期末試験によって評価する。欠席過多を適用する。

【テキスト】 前期・後期共通 中山和子編『ジェンダーの日本近代文学』（翰林書房）